滿鐵の籠拔け犯人
兩署の見込相異
小崗子署は駒田に全力集中
大連署は一笑に附す

その手口といひ、その大膽さといひ滿洲犯罪史上に初めて姿を現した滿鐵を舞臺に演ぜられた貴金屬大詐欺事件は、近來珍しい獵奇的犯罪として百パーセントの興味を唆り、捕物陣はとみに緊張、各署刑事連は腕によりかけて犯人逮捕に蹶起の大活動に入つてゐるが、こゝに端しなくも所轄小崗子署と犯罪地大連署との間に捜査上意見の根本相違を來し「犯人は果して何人か」といふ疑問符を投げ、獵奇の眼は果然捕物陣營に向けられてゐる

▽…所轄小崗子署司法係では既報の如く詐欺犯人を大阪生れ市内乃木町十一番地前科四犯駒田兼輔（二七）と殆んど九分通りの斷定を下し、同人を指名犯人として寫眞附で全滿に手配し目下捜査の主力を駒田の身邊に注集してゐるのに對し

▽…犯罪地の大連署司法係では、頭から駒田の犯人説を否定し、同人に對しては全く捜査上問題にせず、小崗子署とは全然異にせる捜査方針を執つてゐる

兩署捜査の根據

卽ち小崗子署が駒田を指名犯人とせる主なる理由は

彼が目下窃盜及び詐欺容疑者として刑事の追跡を受けてをり、大金を摑んで高飛びせんとしてゐること、被害者森洋行及び質屋の證言によつて駒田の人相に酷似してゐる點及び前科四犯の彼は犯罪度胸が据つてをり、これ位の犯行は平氣でやつてのける手腕を持つてゐる

等々の理由を綜合し駒田を指名犯人としたものであるらしく、之に對し大連署司法係では次の反證を擧げて駒田犯人説を否定してゐる

一、駒田は左頰に四形の痕跡があるも滿鐵の犯人にそれがない、（關係者の證言によつて明かである）

二、駒田は背丈五尺二寸位であるが詐欺犯人は五尺四、五寸の背丈であること

三、駒田は大阪辯でペラ／＼と口早に話をするが詐欺犯人はどちらかといへば關東辯で無口の方であつたこと

四、駒田は滿鐵内部の事情にあれほど精通してゐないこと

五、駒田は窃盜四犯を重ね質屋で顔を知られてゐるから決して自から入質しない

六、駒田は浮薄な男で主任に成り澄すほど沈着であり得ない

等々を理由に擧げ全く駒田の犯人説は問題にせず犯人は意外な方面に潜んでゐると見て、極秘裡に活動を開始し一兩日中には逮捕する自信ありと刑事連は頓に元氣付いてゐる

なほ昨年五月ごろ滿鐵情報課と稱し市内西通シネサービスから撮影機一脚を詐取し、更に伊勢町櫻村洋行から滿鐵總務部調査係の者と稱し寫眞機一臺を詐取せんとして未遂に終つた事件の犯人が未だ捕へられず迷宮入りとなつてゐるが、今回の事件も前記迷宮入りの事件と一脈關係ありとの見込みを大連署ではつけてゐる

酷い目に逢つた―
渡邊諒氏語る

獵奇の籠拔犯人に氏名を利用された資料調査係主任渡邊諒氏は「えらい目に會ひましたよ」と滾しながら語る

僕はほんの一寸奉天に出張したのでその日僕が不在だといふ事を知つてゐるものは社内にも數へる程しかなく、係の人も何で休んでゐるのか知らなかつた程だ、それを知つてあれ程大膽な仕事をしたからには餘程僕を個人として知つてゐる奴かも知れぬ、森洋行の主人もリットン卿の時に一寸交渉があつたので僕を知つてゐたのだが、何分犯人があまり落着いてゐるので、運惡く僕の名前と顔をちぐはぐに覺えてゐたそうで、あれほど疑ひながら來た森洋行側を最後に完全に安心させた賊の力は驚くほかありません

八田副總裁の友情
罪の友を訓す
高野山電鐵の小林專務
飜然悟つて懺悔の自首

【大阪特電四日發】手形僞造の嫌疑で二日夜府刑事課に留置された高野山電鐵專務小林遜氏に絡み、八田滿鐵副總裁の美談が傳へられてゐる

小林氏は諸會社の重役で慶大講師をも兼ね數十萬の富を持つてゐたが、不況に祟られた苦し紛れに株に手を染め更に損失を大きくした結果理事者の地位と信用を惡用し十四萬圓の同社手形を出して穴埋めを行つたものであるが

大學の同窓で親友の八田氏に宛て手紙でその事情を告白し救ひを求めたところ、その誤れる行爲を懇切に悟し

「一切を清算して正道に立つなら更生のために力にならう」

との強い正義感と厚い友情に滿ちた返事を送つたので飜然と悟つて總てを懺悔自首したものである

意外に少ない
忠靈塔獻金額
篤志家の奮起待望

【新京特電三日發】滿洲建國の人柱となり永久に守護神として祭らるべき名譽ある皇軍戰死者の遺骨を合祀する忠靈塔については、同建設委員により着々として準備を進めつゝあるが新京、ハルビン、吉林、承德の四忠靈塔建設に要する費用は二百五十萬圓で、内官邊より支出されるものと豫想されるべき金額を控除した殘額七十萬圓を一般の寄附に求めることゝなり過般來日滿を通じて全日本人に向つて募集してゐるが、今日までの成績は内地方面が意外に思はしからず、その總額なほ六萬圓程度であつて所定額には前途遼遠の憾みがあるので建設委員當事者はこの際篤志家の奮起を促すべく更に一段の努力を試みつゝある

河童連に嬉しい
夏家河子開く
十日から臨時列車

河童連が太陽の直射の下に跳躍する夏となつたが、この海水浴シーズンのトップを切つて滿鐵夏家河子海水浴場が來る十日に開場することになつた、そして恒例により滿鐵々道部では六月末から臨時列車を運轉するが、今年の海水浴客サービスとして先づ大連から夏家河子に行く鐵道運賃を六月十五日から九月十五日まで往復、三等大人二十錢、小人十錢といふ大割引を行ふことに決定した、この割引運賃は昨年滿鐵が客車の不足から止むなく貨車を改造して天幕列車を動かした結果行つた割引で、今年は客車もあり貨車を使用することもないので運賃は當然一昨年の三十錢に復活するべきであるが、所謂旅客サービスの立場から昨年通りとなつたものでまあ鐵道部のこの割引は賞められて好いわけだ

なほ夏家河子への割引は大連、周水子、沙河口（以上往復大人二十錢、小人十錢）金州、旅順（以上大人往復五十錢、小人二十五錢）の五驛發客に行はれるものでそれより遠い沿線旅客にはこの恩典はない、なほ恒例により七、八月の日曜祭日、九月一日は夏家河子行の滿鐵社員にパスの使用を禁止する

鄧鐵梅
連山關に護送

【鳳凰城特電四日發】不棚溝の民家に於て逮捕された匪首鄧鐵梅は四日朝七時發中列車にて連山關〇〇隊本部に護送された

實滿戰豫想投票
讀者懸賞募集

何回戰でどちらが勝つか
リーディングヒッターは誰

本社主催の大連實業團對滿洲俱樂部定期野球戰は愈々來る九日を第一回戰として擧行するが、本社では左記規定に從ひ興味ある豫想投票を行ふことゝなつた

▼課題　（1）何回戰でどちらが勝つか　（2）リーディングヒッターは誰か（但し打數が最高打數者の半數に滿たざるものは除外す）

▼投票方法　本紙刷込みの投票用紙を使用し各課題とも一名一枚限りとす

▼投票場所　本社營業局販賣部宛

▼投票締切　六月十五日限

▼抽籤　正確者多數の場合はリーディングヒッターに依り抽籤を行ふ

▼發表　六月二十五日本紙上

▼賞品　（1）の部　一等金時計一名、二等電氣スタンド二名、三等滿日購讀券（四ケ月）五名　（2）の部　一等冷藏庫一名、二等硝子セット二名、三等日傘五名

注意……なほ回答は左の如くせられたく他の者は除外す

（1）滿俱或は實業（勝數）——

（2）實業或は滿俱選手名

實滿戰豫想投票紙
何回戰でどちらが勝つか
住所
氏名

實滿戰豫想投票紙
リーディングヒッターは誰
住所
氏名

東郷元帥追慕記念會（けさ大連商業で）

女學生大會
午前中の成績

關東廳體育研究所及び關東州學校體育聯盟共同主催の關東州内女子中等學校體育大會は四日午前九時より大連運動場に於いて旅順、神明、彌生、羽衣四高女、女子商業、旅順高公の六校約四千餘名參加の下に開催定刻全參加生徒中央役員席前に整列し、日滿兩國歌合唱裡に兩國旗の掲揚、開會の辭等型の如くあり、後全參加生徒の體育運動歌合唱、合同體操等あり、直ちに各競技場にそれ／＼分れて競技に移つたが若葉薫る絶好の運動日和にミス・滿洲勇躍、接戰につぐ接戰に好記錄續出す午前中の戰績左の如し

陸上競技

◇六十米

▲一年の部　A組1山本房子（旅）九秒三、2今明繁子（彌）、3幸福峰子（旅）、B組1小島敏子（彌）九秒四、2須藤久美子（旅）3阪本清子（彌）、C組1高橋久美子（神）九秒二、2末次幸子（神）、3清水ふさ子（彌）

▲二年の部　1岩崎靜江（彌）八秒九、2徳丸春枝（彌）、3小西幸代（羽）、B組1岩井ヤス（彌）九秒二、2中川滿子（神）3津頭見美津子（羽）

▲三年の部　1黒瀬嘉子（神）九秒一、2宮崎滿子（彌）、3松岡國子（旅）、B組1原マツ（神）九秒一、2久米和子（旅）、3有田田鶴（彌）

▲四五年の部　1枝元テル（旅）八秒九、2多田シゲ子（神）、3六郷政子（彌）

◇百米

▲一年の部　A組1島田美佐子（彌）一四秒四、2吉岡信子（羽）3臼井洋子（旅）、B組1横山美佐子（神）一五秒四、2田代喜美子（彌）、3片岡滯子（彌）、C組1淺田善子（神）一五秒、2楢原八代子（商）、3日高津慧子（彌）

▲二年の部　A組1大西壽美子（彌）2中野久代（彌）3岡田千惠子（神）、B組1砂崎葉末（彌）一五秒、2勝弘勝子（神）、3金丸敏子（旅）

▲三年の部　1日野房江（神）一四秒四、2熊谷利子（彌）、3村上月子（彌）

▲四年の部　A組1小林愛子（旅）一四秒二、2木村秀子（旅）、3山森數枝（神）、B組1高橋宇多佳（神）一四秒二、2粟原道子（神）、3保谷梅子（彌）

◇走巾跳

▲一年の部　1寺坂智惠子（旅）三米七七、2三田照子（神）三米七六、3石川雅子（旅）三米七五

▲二年の部　1岩田良子（旅）三米八五、2正木和子（羽）三米八四、3安部綾子（彌）三米七六

▲三年の部　1三田茂子（神）四米二八、2宮田花枝（旅）、3宮崎サカヱ子（彌）三米九〇

◇四百米繼走

▲一年の部　1神明六〇秒二、2旅順、3彌生

▲二年の部　1彌生五八秒二、2神明、3羽衣

▲三年の部　1神明五八秒、2彌生、3旅順

▲四年の部　1神明五八秒三、2彌生、3旅順

籠球

▲一年の部
旅順22（12—3、10—4）7羽衣
神明15（9—1、6—4）5彌生

▲二年の部
彌生14（8—0、6—6）6神明
彌生10（8—4、2—6）10旅順

▲三年の部
旅順6（6—0、0—2）2神明
旅順9（6—4、3—2）6彌生

▲四年の部
旅順28（10—6、18—12）18神明

排球

▲一年の部
神明2（21—15、2?—22、21—4）1羽衣
彌生2（21—14、21—16）0旅順

▲二年の部
旅順2（21—18、21—13）0彌生
羽衣2（21—1?、17—21、21—12）1神明

▲三年の部
彌生2（21—9、21—11）0神明
旅順2（21—18、21—12）0羽衣

▲五年の部
彌生2（21—9、21—12）0羽衣
彌生2（21—9、21—12）0羽衣

庭球

▲二年の部　喜澤美見崎（女）3—2土屋糸原（旅）、小野松尾（神）3—1武田岡（旅）、文桑永井（商）3—1山本石井（彌）、阿部小梨（旅）3—1大橋今村（商）、松園蜂（神）3—2川野松橋（彌）

▲三年の部　鐘ケ江和田（商）3—1金井平島（彌）、三田下田（神）3—1峰原（神）、金井渡邊（彌）3—2岡島宮田（旅）、横田竹内（神）3—0小田山内（商）

▲四五年の部　齋藤片岡（神）3—0中久保山田（旅）、村井新納（神）3—2相川相馬（彌）、横佩松崎（旅）3—2齋藤片岡（神）、石井小笠原（旅）3—0吉村山下（彌）、相馬相川（彌）3—0酒井久保（旅）

女學校體育大會……スタート

間島共匪のテロ陰謀
未然に大檢擧

【龍井三日發國通】間島各地に於ける共匪は數次の討伐のため森林地帶に追ひ詰められて宛然森のギヤングと化するとゝもに著るしくテロ化し、殊に本年のメーデー以後は東滿特委の指導の下に全鬪爭を五・三〇記念日の暴動計畫に集中し、各地區の游擊隊から選拔した黨員を間島各地に派遣して日滿政治經濟施設をテロ手段によつて破壞せんとしたが、この程間島ソウエート區の中でも最有力として知られてゐる三道溝に根據を有する春山一派の黨員二名を逮捕し取調べの結果、上三峰、開山屯間の國際鐵橋の破壞及び日滿高官の暗殺、鐵道破壞、間島重要都市の襲擊等の恐るべき陰謀が暴露するに至つた、逮捕された黨員名次の如し

所屬東北人民革命軍第二軍第一獨立師團
自稱春山派所屬少年先鋒隊員　金哲俊（二五）
同　金明龍（二六）
同黨員　李必洙（二五）

りを受けて離連した

大連醫院休業　五日は故東郷元帥の國葬日につき大連醫院及各分院は休業するが、但し急患重病は平常通りである

松根東洋城氏　俳句雜誌「澁柿」の主宰者として著名な松根東洋城氏は今回滿鐵弘報係並に地方部社會係の招聘（鐵路總局を含む）に依り來る六日入港うらる丸にて來連市内榊町六八、滿鐵監理課長谷川善次郎氏邸に數日間滯在の上、月餘に亘つて奧地俳諧行脚の豫定で滯連中のプログラムは左の通りである

六日　午後五時より歡迎晩餐會並に研究會（中央公園南華園）
七日　旅大往復
八日　午前八時より一旬一請東洋城百詠百短冊展覽會（滿鐵社員俱樂部）
同日　午後四時半より俳句講演會（一般來聽歡迎、社員俱樂部）

沙河口神社遷座祭　沙河口神社に於いては來る七日午後七時三十分より假殿遷座祭を執行するが當日雨天の際は九日に延期すると

訂正　四日附朝刊（市内版）第二面「防空標語を選して」と題する記事に「堤少佐」とあるは堤中佐の誤り、又末尾より六行目「同樣不徹底のため不成功に終つたが」とあるは「一部不徹底の件もあつた樣に聞き及んでゐるから」の誤りにつき訂正す

扶桑丸

政界の動搖に
歸心矢の如し
呉越同舟の代議士連

政界急行の急變は、夫々異つた立場から滿洲を縱横に視察中だつた衆議院議員濱田國松氏等一行に歸心矢の如き刺戟を與へたが四日出帆扶桑丸で濱田國松、清瀬規矩雄、田子一民、豐田收各代議士、大木操書記官、荻野良平、柿澤善四郎兩屬一行七名が歸京したが、出發に際し濱田代議士は

まあ船中ゆつくり作戰を練つて行くさ、軍機は密なるをよしとすだ、昭和六年十月事變直後に來てから僅かな間に動いた滿洲の歩み方には驚いた、いづれにしてもこの旅行が非常にしつかりした認識を摑ませてくれた事を喜ぶ、在滿の皆樣によろしく

こゝもと呉越同舟、政雲急な東京へ定刻出帆した

佳木斯移民の
遺骨寂しく

昨年佳木斯武裝移民團員として來滿以來、匪賊の來襲を物ともせず開墾のため血と汗の努力を續けつゝ遂に匪彈に殪れたチヤムス屯墾軍第二大隊齋藤、伊藤、淺沼三團員の遺骨は四日出帆扶桑丸で故山に歸還したが、誰一人見送る人もなく二等食堂の一隅に忘れられた樣に安置され、僅かに尾野氏以下五名の僚友の淋しい瞳に見守られてゐた有樣が心ある人々の胸を打つてゐた

小原控訴院長　過般來滿各地視察中であつた東京控訴院長小原直氏は司法關係者多數の見送

天氣予報　五日
南の風晴一時曇り
滿潮（午前三時三十分　午後四時）
干潮（午前九時五十分　午後十時四十五分）

各地溫度（四日午前十一時）

大連	二六	奉天	二四
旅順	二三	新京	二三
營口	二二	新義州	二五

今日の小洋相場（十一時半）金百圓につき百二十六圓三十五錢

新講談 丹下左膳 (125)

林不忘作　小田富彌畫

旅は道づれ（二）

「成程、爭はれねえものだ。あつしの茶碗は、ちやんとこゝにあらアへゝゝ」

なんかと與の公、何が爭はれねえものなのか……頻りに感心してゐる。

ガブリと一つ茶を飲んで、何やかや一人で騷ぎ出した。

口前ひとつで人にとり入ることは、天才と言つていゝほどの鼓の與吉。

武家奉公で世間も狹く、年も若い儀作は、これが機會となつてうまく丸め込まれたと見える。

「旅は道づれ、世は情てえことがありまさあ」

與吉のやつ、古い文句をならべて、

「オウ、姐さん、茶代はこゝへ置くよ。このお侍さんの分もナ」

チヤリンと二つ三つ、小粒を盆へ投げ出す。

儀作は驚いて、

「イヤ、私の分まで置いて貰ふ譯はない。どうぞ、左樣な心づかひは御無用に願ひ度い」

與吉は平手で額を叩いて、

「さうお堅いことを仰言るもんぢやあ御座んせん。ナニ、ほんのお近づきのおしるし、へゝへゝ手前の志でございますよ」

相手にものを言はせまいと、與吉は大聲に、

「へらへらへつたら、へらへらへ！へらへつたら、へらへらへ、—サア、來りやせう。あつしやアれ、眞實、旦那の氣性に惚れ込みやした。實にどうも、お若いに似ず大したもので。さすがはお侍樣……あつしみてえな下司な者と同道しやすのは、さぞ御迷惑では御座りませうが、そこがソレ、只今もいふ旅は道づれ、へらへつたら、へらへら……」

先に立つて腰掛けを離れた與の公は、極く自然に包へ手を出して

「お荷物、お持ちしやせう」

と包を取り上げやうとするから儀作は膽を潰し、

「アイヤ、それは主君よりお預りの大切なお品。手を觸れては相成らぬぞ」

旦那さかお侍さか、盛んにおだてられて、若黨儀作、ちよいと好い氣持になつてしまつた。一ぱしの武家らしく、言葉使ひも急に角張つて來たのは、與吉のおべんちやらが卽效を奏したので御座いませう。

人間の弱點。

それを見拔いてゐる與吉は、

「マア／＼さう仰言らずに。持ち逃げしやうとは申しません。旦那の家來と思召して、あつしにお荷物を擔がせてお呉んなせえ」

止める暇はなかつた。

謹んで包の包みを持つて、與吉のやつ起ち上がつてしまつたから儀作も仕方がない。ナニ、すこしでも怪しい節が見えたら、その時取つて押へればいゝのだと、

「面白い町人だ。では、ソロ／＼參るとしやうか」

いつも家來の身が、急に家來が出來たのですから、俄にそつくり返つて、茶店を後にしました。

袖すり合ふも他生の緣。

躓く石も緣の端。

色いろ便利な言葉がある……この場合、與吉にとつて。

そんなことをペラ／＼騷ぎ立てながら、與吉は儀作から一歩退つて、お追從たら／＼に尾いて行く。

無論、氣を許しはしない。變な素振りが見えたら、拔き討ちに……儀作が心を配つて行くと、

「オヤツ！あれはツ！」

不意に手を上げて、與の公、前方を指さした。

「何ぢや？何が見える」

儀作が釣り込まれて、爪立ちして道の向うを望み見た時、パツと元來たはうへ驅け出したんです、與吉の野郎。

キネマと演藝

街の暴風　蒲田の豪華版

日活が映畫化を目論でゐた三上於菟吉原作の「街の暴風」の映畫化權は松竹蒲田が獨占獲得し、來るべき八月の映畫界に發表する事に決定した、旣に脚本部のアダプテーションも脫稿、第一線幹部スターを網羅してのオールスターキヤストを配するサウンド版とし、城戸所長自ら總指揮の任に當り、總費五割增し製作を斷行して他社を席捲する豪華版にすると　なほ擔當監督は近く決定するが三上於菟吉原作もの、蒲田映畫化はこれが二回目で第一回は昭和二年八月の「炎の空」であり今度の「街の暴風」が八年目の八月に發表される事は面白い現象である

スポーツマン　ステツプ　イン・ダンス

ダンスもスポーツなり！はどうかと思ふが、由來スポーツマンのダンスフアンは可成り多いばかりでなく、もと／＼運動神經の人一倍發達してゐる人達だけに器用にこなす、先づ野球選手の中に探すと滿俱の荒木君、實業の野原、岩瀨、小安、武居君等を擧げればなるまい、荒木君のダンスは端麗なスタイルでアカデミツクな踊り方は、さすが横濱で本格的にやつただけにその邊の敎師も及ばぬ堂々たるもの、おそらく滿洲のスポーツ界でダンセンナンバーワンだらう、又彼氏のギヤラントな擧措はあの雄辯と相俟つてオチコチのダンサー連から衆望の的▲これに次いで野原君もなか／＼の巧み、しかしさすがグラウンドにおける敏捷隼の如き面影はホールにも現れて彼氏遊擊猛ゴロを摑む時のやうな腕のひねり方で時に熱してはエロダンスになるとは某君の惡口、岩瀨君のは得意のアウト・ドロップを投げる時のやうな巨軀を擁して大風なチドリ方でホールを泳ぎ廻る　武居君はオトナシイ、小安君に至つてはテキサスが三壘打になつた時、壘を走る慌て方よろしくフロアを跳んで行く▲その他では陸上の浦野君、スケートの池見君、前實業の木下君も相當なもので、又柔道六段の二宮君が重い腰を器用にふつてゐるが最後に我が運動の神樣岡部平太君を落すことは出來ない▲彼氏何でも人並以上に出來なければ承知しない氣性も手傳つてか以前よくホールに現れたものだ、しかも彼氏踊るダンサーにきつと一度は足を踏んでみる、ダンサーが痛いといつたら最後「君そりや靴が惡いんだ、僕んとこで作つた靴なら大丈夫」と例の押しで口說き立て、靴の註文、市內各ホールの古いダンサーには未だこのヒガイシヤが相當ゐる筈。

八洲東天四日讀物

大連劇場における八洲東天の浪曲は久方ぶりの齒切れの良い江戸辯の啖呵で浪曲フアンの好評を博してゐるが四日の讀み物は次の如くである

雷電小田原情角力、清水次郎長（八洲東天）海國男子（燕太夫）義士の面影（秋月）水戸黄門（東湖）

松岡氏と鈴木大將『大號令』へ大獅子吼

大都映畫第一回オール・トーキー「大號令」は非常時國民の精神作興に資する國策映畫として近く完成、六月第三週（十四日より）日本劇場に封切られるが、同映畫へ松岡洋右氏が聯盟脫退の感想を、樞密顧問官帝國在鄉軍人會長鈴木莊六大將が非常時日本に對する國民の覺悟を促す大獅子吼を吹込まれ錦上更に花を添へた

私語

世界の英雄と讚へられた東鄕元帥の薨去と共に俄然新興、日活、松竹、JO太秦の各映畫會社が國葬のニユースを交へて元帥偉德を偲ぶ映畫の撮影に着手し始めた、しかし內務省ではその映畫化の態度に些少でも際物映畫の風が見えれば斷然禁止する筈▲中央映畫館では東鄕元帥の薨去と共に丁度ストツクしてゐた東鄕平八郎一卷を上映、元帥の生前をスクリーンにみせてゐる▲五日の國葬當日は映畫館はどうするか數日來各館の支配人が集まつて寄々協議してゐるが未だきまらない、結局五日晝間だけ哀悼の爲め休んで夜間は各館上映することになるらしい▲市內ダンスホールは國葬當日は謹んで休業

故元帥を偲び　各社が海戰もの

世界の英雄東鄕元帥の薨去にあひ全土悉く哀悼に滿つる時、本邦映畫界は故元帥を偲ぶ映畫の製作を計畫し着々準備を進めてゐるが

新興キネマ では早くも東上中の田中靜技師をして薨去前後の情報その他及び國葬實況をニユースとして撮影せしめんとし、また一方愛國美談「敵艦見ゆ」を製作する傍ら竹田敏彦氏が故元帥を偲ぶ脚本を執筆、小松勇又は松本泰輔が主演する豫定である

松竹蒲田 では「護國の英雄東鄕元帥」なる題下で同社脚本部が着稿し、主演は多分藤野秀夫がやる筈であるが、監督は齋藤寅次郎か佐々木恒次郎か〆擔任する豫定である

日活 は嘗て「擊滅」を製作した經驗もあり東京撮影所で企畫中で山本嘉一の主演が豫想されてゐる

更にJ・O太秦でも「青年よ起て」と同型の元帥のトーキーを計畫してゐたこともあり別な企畫のもとに製作するであらうし赤澤、映音等の群小プロも着手するらしく、隨つて內務當局は際物的映畫は避ける方針であるから各社とも豫め當局の諒解を得なければならぬ譯である

謹みて哀悼の意を表し
明日晝間休演
夜間は平常通り靜肅に營業仕候

イロハ順
日活館
常盤座
中央館
寶館
映樂館
帝國館

滿洲日報

發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

秩父宮殿下隨員

林式部長官

植田陸軍中將

津田海軍少將

桑島亞細亞局長

武井式部官

滿洲國接伴員

沈宮內府大臣

許總務處長

張掌禮處長

高木侍書府秘書長

加藤宮內府秘書官

蔡掌禮官　張掌禮官　遠藤總務廳長　前田宮內事務官　高山拓務書記官　山下步兵大佐

奉迎・秩父宮殿下

秩父宮雍仁親王殿下には五日大連に御入港遊ばされ、六日御上陸、一路新京へ向はせられる。我聖上陛下の御名代として、滿洲國皇帝陛下御卽位のお祝ひを申さるゝ爲めである。抑々滿洲國は創立當時より我邦とは同胞も啻ならざる關係にある。日滿議定書により政治的並に法律的に共存共榮を規定されたのであるが、實は政治や條約を離れて、實際上の不可分關係が始めから出來上つてゐる。元來滿洲の土地は、古來日本と深い關係を持つのであるが、特に關係の深くなつたのは三十七八年戰役後である。此時實際上の不可分の關係が出來て、それから年々密接の度を增した。滿洲國の創立を見るに及んで、その關係は愈々不可分のものとなつた。日滿議定書によりて更にそれが法律的關係となり、共存共榮といふよりも更に深い關係になつた。

されば我聖上陛下に於かせられては、滿洲國々家の確立發育に關して、極めて深い御思召を掛けさせられることは申すまでもない。此事は臨時の聖勅にも表現され、滿洲國の獨立を尊重し、その隆昌を謀るのが我帝國の國策たるべき旨を宣明し給うてある是の故を以て帝政になりては、此の關係深き國土に君臨し給ふ滿洲國皇室に對せられて、特に御親密なる御思召を抱かせられることは申すまでもない。殊に滿洲國皇室は曾て友邦清國の君主として、我皇室と御交誼深厚なりし御關係もあらせられる。特に立國の精神に於て、一は皇道、一は王道。均しく東洋精神に基準して國を治め、世界の平和に寄與せんとする宏謨に於て相通ずるものがある。是を以て、去る三月一日、滿洲國皇帝御卽位の際には、我聖上陛下より御鄭重なる御祝電を寄せさせられ、之れに對して、滿洲國皇帝陛下の御返電には、殊に「陛下の愛助を佑荷し」と宣はせられてある。その後、滿洲國皇帝陛下より、鄭、熙兩特使の御差遣ありて、我皇室に御禮を申され、兩特使は我皇室より特別の御優遇を賜はつたなど、兩皇室御親睦の狀を拜察し奉るに餘りある。

今次秩父宮殿下が、御名代として御訪問あらせられるによりて、兩皇室ゝ御親睦は更に益々强化さるゝは申すまでもない。而して兩皇室の御親睦は滿洲國皇室の無窮御繁榮の因ともなり、皇室の無窮御繁榮は、滿洲國永久隆昌の保障ともなる。卽ちそれが東洋和平の基礎を固めることにもなり、世界平和の實現を期し給ふ神祖以來の我皇室の洪謨に副ふ所以ともなる。斯樣に考へて來ると、吾人はそれからそれへと、はてしなき瑞祥を期待す可く、東西將來の光明赫耀たるを想見し得る。曩に殿下御渡滿の議が決定されたとの快報を拜して、在滿邦人並に滿洲國人一同、欣喜雀躍措く能はざりしもの、誠にその故あることである。之れによりて爾來各方面共、熱誠を籠めて御歡迎の準備を調へ、一日千秋の思ひにてお待ち申し上げたが、今や愈々その佳日を迎へた。在滿邦人並に滿洲國人一同の歡喜想望するに餘りある。吾人亦謹みて、玆に御歡迎の微意を表し奉る。

軍人の龜鑑と仰ぐ 勤務の御精勵
秩父宮殿下御逸話

秩父宮殿下は士官候補生として麻布の第三聯隊に御勤務遊ばされてから永らく同隊勤務として御精勵遊ばされ、その御高徳は軍人の龜鑑として既に東京兵書刊行會から「噫戴」秩父宮殿下御高徳集が發行されてゐる程である、いま殿下の麻布聯隊御勤務中の御逸話の一つ二つを紹介して如何に殿下が軍人としても立派な御勤務振を示させられたかを明らかにする

演習を御督勵

大正十一年八月三十日麻布聯隊の將士が下志津廠營中のことである、第二大隊は櫻並木附近に集合し前進を開始したが、殿下の屬し給ふ第六中隊は更に千五、六百米を迂廻して敵の左翼に迫るべく命を受けた、時に暑熱灼くが如く驅歩また驅歩の追撃に、中隊の將士は流汗淋漓、士卒の行動また漸く鈍つたが、殿下には常には隊の先頭に立たれ御督勵遊ばされた、演習終了後兵士は我れ先を爭つて水筒を傾け、しかもなほ頻に水を求めてゐる姿を御覽になつた殿下には御自身の水筒を兵卒に分ち給ひ遂に御自らは一滴だに御口に遊ばされなかつた、この時のことを一兵卒は日記に左の如く記してゐる

水筒の水無くなりし時、殿下には御自身の水筒の水を兵卒に分たれ、殿下には一滴も御飲みにならざりき、殿下のこの御心を自分は深く〳〵頭に納め日々の演習を熱心に勵まずには居られません

御用務には 休暇を御利用

殿下は萬已むを得ない御用の他は全く休暇をお取りにはならない、各種運動に御興味をお持ち遊ばされる殿下ではあらせられるが、これも日曜公休を御利用されてのことであり、先年赤坂表町御殿へ御移りの際の如きも、岡崎中佐が途中御歸京を御勸めしたが御聽入れがなく、下志津廠營演習から御歸京まで御延期遊ばされ、その演習の慰勞休暇として聯隊休日があるのを御利用遊ばされて御移轉になつた、また已むを得ない場合の休暇の御實施に際しても必ず御自身御認めになり、中隊長を經て聯隊長に御提出遊ばされ聯隊長から「願の通り許可」の朱色奧書を御取りになるまでは決して御實施遊ばされなかつたのである

御親切で御氣輕

大正十二年一月十日、初年兵入隊の日のことである、殿下には入營兵一般の狀況御視察のため體操場に向はせられる時入營兵附添人の帽子が折柄の烈風に吹き飛ばされたのを御覽になるや、殿下は御自らこれを追かけてお拾ひになり莞爾として附添人にお渡しになつた御親切なしかも御氣輕な殿下の御心がこゝにもよく現れてゐる

特務曹長の感激

またかうした話もある、永らく殿下の部下として精勵した某特務曹長が最先任の故を以て待命となつた、殿下にはこれを惜まれて記念品を下賜され、また軍旗祭の日、殿下御自身彼をその愛兒と共に御撮影遊ばされこれを御下賜になつた、特務曹長の感激が眼の前に浮んで來るではないか

【御寫眞說明】(上)演習に御參加の秩父宮殿下(中)御遠乘りに御參加の殿下(下)學生聯盟御檢閱の殿下

責任感御强く 職責御遂行
永田鐵山少將謹話

殿下はどんな御任務でも又如何なる場合でも最も積極的に、又極めて强い責任感を以て職責を御遂行になられます、富士の裾野の演習場に東宮塚といふ岡があります、その東南側の稜線には一帶に野バラが密生してゐます、そしてこの東宮塚に防禦してゐる敵を東の方から攻擊する場合、攻擊軍はどうしてもこの野バラの地帶へ斥候を進めないと防禦陣地の樣子を十分に偵察することは出來ません、しかし野バラの密生してゐる中へ入り込むことがなみ大抵の苦しみでないことは誰にも想像が出來ませう、そのために斥候なども多くは入り込むことを躊躇いたします、或る日、この地點で攻防演習が行はれた時殿下には將校斥候の命を受けさせられて敵情偵察に出向かはれました、時は夜でした、中空に懸つてゐる明月は水銀の樣な光を敵の上にも味方の上にも投げかけ闇にかくれて自由の行動を取ることは出來ませんでした、殿下には兵士をさある叢の中へお止めになり、單身野バラの地帶へ御進み遊ばされ敵に發見されぬやう地面にヒタ伏になられたまゝ野バラの中を匍匐前進遊ばされました、それから二時間の後攻擊軍は勇敢にこの野バラの稜線を乘越えて東宮塚の陣地を占領しましたが、その中に殿下のおいで遊ばしたことは勿論でありますが、かたく指揮刀を持たれた右の御手と輕く嚢を握つてゐらせられた左の御手の處々に針で刺したやうに血の滲んだ個所のあることは月の光の下でさへ判つきりと御見受け申すことが出來たといふことで御座います

禮儀に御厚き殿下

殿下が禮儀に御厚いことは非常なもので、上官に對しては常に道路の右側を讓り給ひ、朝な朝なの御出勤に際して必ず隊長の室に來られて「お早うございます」と御挨拶遊ばしたと、當時中隊長であつた友成大尉が感激して謹話してゐる、又殿下は御出勤は晴雨に拘らず御徒歩であつたが御通路の子供達は「あゝ宮樣がお通りになる」と口々に叫びながら列を正して最敬禮をすると、殿下は莞爾として御答禮を賜はるのであつた、殿下の御禮儀について北野中佐は左の如く謹話してゐる

殿下が陸軍大學校御入校の時でありました、聯隊長室に御申告になられ、一般將校がすると同樣の御態度御言葉で御申告遊ばされました、又私が所用のため時々殿下の中隊の將校室へ參りますと、その都度殿下には直ぐ椅子を御起立不動の姿勢をおとりになられて敬禮をなさいます、そして私が先づ椅子に腰掛けてからでないと決してお腰をかけられません、又夏季一般甲隊附將校と同樣に上衣を脫して居られます時など必ず上衣を御召になられてそれから御敬禮なされるのでありました

御觀察力 優れさせ給ふ
牛島少將謹話

申すも畏多いことながら殿下が如何に總ての點に優れた觀察力を御持ち遊ばされるか、適切な例として牛島少將は左の如く謹話してゐる

殿下は內務の實施に關しても隊長の希望を一番良く徹底的に御實行遊ばされました、大正十二年の震災の爲兵舍はバラックになつて將校以下不自由な生活をいたしました、その年の冬は非常に寒いだらうとの豫想でしたが、それ程でもありませんでした、けれどもその翌年の夏になつたところが室の中は殺人的の熱氣で將兵共に可なり苦しみました、そこで取敢ず各中隊に溫度の統計をとつてそれを報告する樣に要求いたしました、けれども餘り適切なものは出て來ません、然るに次の週になつて第六中隊から出されたのを見ると自分の豫想以上に精密に時期と溫度との關係が明瞭になつてゐました、自分はこれを基礎に上司に報告して應急防暑設備をしてもらつたのでありました

青年の心理を御理解
横山少尉謹話

殿下は或る時は思想問題に、或る時は國民教育問題に、或る時は時事問題に、日夜御研鑽遊ばされた御識害を傾け給うて愉快氣に御談笑遊ばされた、特に地方小學校教育の現狀、青年團處女會等の問題には御興味を持たれ御下問を賜つたことも幾度かあつた「青年の心理を知るものは青年なり、宜しく地方青年團の指導者は元氣溌剌たる青年たるべし」とは地方青年團長の問題に觸れた時の殿下の御言葉である

公私の別を御明らかに

その他殿下の御勇氣、御仁德、御質素について書くべきことは餘りにも多いが、殿下が如何に公私の別を明かにし給へるかを記してこの項を終る

山口縣下で演習のあつた時のことである、戰中の村落露營に殿下が御泊りになられるといふので官民共にその町の役場を掃除して、大隊本部卽ち殿下の御假泊所に準備してゐた、そして夕刻戰終つて副官等が「大隊本部です」と申上げて其處に御案內すると「何だか樣子が一寸變だ」然し大隊本部なら」といふ樣な御面持で二階にお上りになつた其處には町の人達が丹精こめた調度が用意されてあつたが、これを御覽になつた殿下はそのまゝ踵を返され、その側の間口の狹い格子の入つた薄汚い家をのぞかれ「こゝが好い」とつかつかと御入りになつた、勿論大隊長も後から來て家人に一宿を請うた、これなどは殿下は町民の眞心を御承知であらせられたのであるが、演習といふ公務をお考へになつてこの御處置をなされたもので並居るものを心から感激させたといふことである

奉天の獻上品

秩父宮殿下に奉天市民より御獻上申上げる品物については種々考究中であつたが、滿洲產特殊毛皮を獻上する事に決定した

日滿兩國親善史上に 更に輝く歡びの記錄
擧國奉迎、御名代宮殿下

新興滿洲帝國は建國尙日淺きにも拘らず列國驚異の裡に目覺しき成長を遂げ、去る三月一日を以て輝かしき皇帝御卽位並に帝制實施の大典を擧行するに至つた、依つて滿洲國皇帝陛下にはその御挨拶として嚮に親く訪日修聘特使鄭、熙の兩大臣を我が國に御差遣遊ばされ、兩特使はわが皇室に對し奉り、皇帝の御親書を捧呈した、右に對し我が皇室に於かせられては、今回特に秩父宮殿下を御名代として御差遣遊ばされ、御卽位並に帝制實施に慶祝の御意を表せられる事になつたが、去る二日帝都を御出發遊ばされた御名代宮殿下には御旅路御恙なく、愈々今五日御召艦足柄にて大連に御入港遊ばされ、六日御上陸直に御召列車にて國都新京に向はせられる御豫定である、いふまでもなく日滿兩國は遠き古より脣齒輔車の關係にあり、政治、經濟、軍事その他の上に於て密接な關係を有ち、所謂共存共榮の責務を相互に負擔するものであるが彼の滿洲事變を契機として新滿洲國出現するやその關係は一層緊密の度を加へ、今後益々相依存して東亞の平和保持、文化の復興に努めなければならぬ實情にある、その重大な折柄兩國の帝室が著るしく御親密を加へさせられ、以て兩國民融和の範を垂れさせ給ふことは申すも畏れ多き極みながら洵に意義深き御事で、今や御名代宮殿下御坐乘の御召艦滿洲に近づくに伴れ、滿洲國貴顯をはじめ日滿兩國民を含む在滿三千萬民衆は多大の感激を以て御待ち申上げ、殊に淸々しく新粧を凝らした國都新京を初め御召列車御通過の沿線各地並に御上陸第一歩を印せられる大連の日滿兩國民はいづれも誠實を籠めて奉迎の準備を整へて居る、大連港口御召艦の勇姿に接するは今五日の午後であり、御名代宮殿下の颯爽たる御英姿を仰ぐは六日の早朝である、今や瀰らんばかりの新綠に掩はれて居る大連の天地は、重き御使命を帶びさせ給ふ秩父宮殿下を奉迎して空前の榮光に輝くであらう

御召艦"足柄"一路平安
けふ午後大連に入港
奉迎驅逐艦が登舷禮式

日滿兩國の青史を飾る輝かしき御使命を帶びさせられて、二日午後六時四十分わが帝都を御發出遊ばされた秩父御名代宮殿下には三日午後三時下關に御到着、同三時半御召艦足柄に御乘艦、同五時下關を御出發遊ばされたが折柄季節の關係で海上は濃霧深けれど老巧なる横山艦長以下乘員の懸命なる奉仕によりて海路極めて平穩、御恙なく航行を續けられた、斯くて康德皇帝陛下を始め日滿朝野の要人並に三千萬民衆が鶴首して御待ち申上ぐる御名代宮殿下の御召艦足柄は愈々今五日午後大連港外にその勇姿を現はすことゝなつたが、これより先旅順要港部より迴航されて居る驅逐艦藤、蔦、萩、蓬の四隻は當日南三山島附近まで奉迎し、各艦とも御召艦足柄と四十五度の角度となるや登舷禮式を行ひ且つそれ〳〵艦長の發聲にて萬歲を三唱、御名代宮殿下の御安泰を祝し奉る事になつて居る、御召艦の御先導は藤が承はり約一〇〇米の間隔を置いて御誘導申上げ、御召艦に續いて藤以下の三隻が埠頭東口まで御警衛申上ぐる豫定である、また港內に於ては天龍及び淀が奉迎し就中天龍には將官旗を揭げて枝原司令官以下の要港部幕僚が奉迎申上げる事になつて居るが

御召艦は 入港するや一番ブイに碇泊、二番三番ブイには天龍、第二埠頭突端には淀、同蔦、藤、第一埠頭萩、蓬の順に橫づけして御警衛申上ぐる筈である、御名代宮殿下には同夜は御召艦に於て御休息遊ばされる御豫定になつて居るので枝原司令官は御召艦碇泊後直に幕僚並に所轄長(艦長)を隨行して御召艦に伺候して御機嫌を奉伺し、なほ六日御上陸前に一般伺候者と共に伺候する筈であるといふ

新京御滯在中の御日程

秩父宮殿下には六日大連御上陸、同日午後新京に御着、新京御滯在中の御日程は左の如くであらせられる

六月六日

午前大連御上陸、午後新京御着、夜提灯行列(日本人)台覽

奉迎の提灯行列 御着京當日の夜各學校團體一般市民約七千の大提灯行列を行ふべく關係者間に協議の結果、西公園前より中央通りに集合滿鐵より配られる提灯を手に市民の赤誠を七千個の提灯に籠めて御宿舍前に到り萬歲を唱和後、市內を練り廻り南廣場に到り散會することに決定したが、全市を火の海と化する七千人の大提灯行列の盛觀はさこそと推せらる

六月七日

午前滿洲國皇帝に御會見、御親書並に勳章御贈進、滿洲國皇帝御答訪、宮廷における御午餐會に御成、午後新京神社、關東軍司令部、駐滿海軍部司令部、駐滿大使館、國務總理大臣官邸へ御成

司令部御成次第 秩父宮殿下軍司令部御成の次第左の如し

一、殿下御着になるや軍司令官の御案內で御休憩室に入らせられ御小憩後單獨拜謁者に謁を賜ふ
二、次で軍司令官室に御成、軍司令官より軍狀を奏上す
三、右終つて列立拜謁を賜ひ軍司令官は殿下を營庭に御案內申上ぐ、殿下御座に御着席あらせられるや、塚田大佐の合圖で一同擧手注目の禮を行ふ(文官は最敬禮を行ふ)終つて殿下には軍司令官の御案內で玄關に御着、御歸還遊ばされる
四、この時單獨拜謁者は玄關左側に整列殿下を奉送申上ぐ
五、單獨拜謁者は親任官、勅任官及び同待遇者(菱刈大將、西尾參謀長、田代憲兵司令官、大村交通監督部長、佐野飛行隊長、岡村參謀副長、多田少將、梶井軍醫部長、渡邊獸醫部長、高屋少將、後宮少將、梅谷囑託、庄田作輔氏、植木壽雄氏)以上十四名で殿下御成の際軍司令部玄關右側で御迎へ申上ぐ
六、列立拜謁者は(高等官並びに同待遇及び判任官中の有位有勳者)で殿下御成りの際は玄關に向つて右側に堵列しその他は左側に御迎へ申上げる

なほ當日の服裝は武官は軍裝、文官は正服乃至フロックコートを着用し、勳章、記章は正服者は全部佩用のこと

海軍部御成次第

一、殿下御着遊ばされるや司令官初め職員一同は玄關に、その他當部勤務者は玄關前庭に御迎へ申上げ司令官御先導階上の公室に御案內申上ぐ
二、殿下には公室において司令官に單獨拜謁を賜はり、次で會議室に御成遊ばされ當部勤務の判任官以上のもの一同に列立拜謁を賜ふ
三、次に殿下を公室に御案內申上げ司令官軍狀を奏上す
四、右終つて司令官の御先導にて玄關に御案內申上げ殿下は御退出遊ばされる、司令官以下一同玄關及び玄關前に整列御見送り申上ぐ

六月八日

午前滿洲國觀兵式御成、賜謁及一般奉拜、特命全權大使主催の午餐會へ御成、滿洲國皇帝御親臨、午後御歡談、新京衞戍病院、關東軍司令官主催の晚餐會(日滿要人)へ御成

奉迎觀兵式次第 秩父宮殿下奉迎觀兵式は八日、新京附屬地中央通において擧行されるが、この光榮に浴する參加部隊は禁衞步兵團、新京地區警備軍、吉林步兵第四旅第十三團、騎兵第一旅第一、第二、第三團等在京部隊約一千名は徒步編成にて新京停車場より西公園前に至る道路兩側に整列して殿下を御待ち申上げる、この日皇帝陛下には大元帥の御正裝に數々の勳章を御佩用遊ばされ自動車鹵簿にて新京停車場前廣場の幄舍に着御あらせられる、この時軍樂隊は國歌を奏し參加部隊はラッパを吹奏して敬禮を行ひ參列諸員も亦最敬禮を行ひ、程なく秩父宮殿下には陸軍御正裝を召させ給ひ同じく自動車鹵簿にて御旅館より式場に御着、軍樂隊の君ケ代吹奏裡に諸部隊及び參列諸員の最敬禮を受けさせ給ひ幄舍に入らせられ給ひ、やがて陛下も御同列にて御座の上に立たせ給へば諸兵指揮官于琛澂中將恭々しく參加人員を御報告し奉る、次で閱兵式に移り皇帝陛下には秩父宮殿下と自動車に御同乘、金侍從武官の御先導にて御車を進ませられ植田中將、山下大佐以下隨員武官並びに王靜修指揮官、張侍從武官長馬を列ねて近く扈從し奉る、やゝ距離を置いて關東軍司令官菱刈大將を初め西尾同參謀長、張軍政部大臣等騎行、かくて禁衞步兵團より順次吉林第一旅への各部隊の御閱兵を遊ばされ、終つて新京神社前の御座に御起立遊ばされ軍樂隊の莊重なる樂の音につれて堂々分列行進を始める、禁衞團初め各隊の敬禮を受けさせ給ひ日滿帝國々交上意義深き觀兵式はこゝに滞りなく終了し、秩父宮殿下には諸隊及び參列諸員奉送裡に御旅館に向はせられ次で皇帝陛下には還御あらせられる、なほこの日滿洲國簡任官以上及び日滿兩國將校、大使館員等に謁を賜ふ由に承はる

六月九日

午前國都建設狀況御視察

六月十一日

午後滿洲國側運動會へ御成

陸上競技等台覽 御旅情を御慰め申上げ且つ滿洲スポーツ界の現狀を台覽に供する趣旨から滿洲體育協會主催で西公園において野球、ラグビー、排球、陸上競技及びマスゲームを盛大に擧行する筈

六月十二日

宮廷御午餐會に御成、午後日滿合同の園遊會(接伴關係)へ御成、宮殿下御主催の晚餐會へ御成、夜提灯行列(滿洲人)台覽

六月十三日

午前新京御發

秩父宮殿下奉迎の辭
滿鐵總裁 伯爵 林博太郎

本日茲に御差遣の宮として、畏くも御皇弟秩父宮殿下の御來滿を仰ぎ奉りますことは、誠に恐懼感激に堪へない次第であります。

今回秩父宮殿下御來滿の御使命は、申すも畏きことながら、先に滿洲國皇帝より親く、鄭熙兩訪日修聘特使を御差遣遊ばされたるに對し、我が皇室よりは帝政實施並に滿洲國皇帝御卽位慶祝の御意を表させ給はむが爲に特に秩父宮殿下を御差遣遊ばされたるものと拜承致して居ります、由來日滿兩國は政治上、經濟上並軍事上最も密接なる關係を有する許りでなく、又相互に相依存して東亞の和平復興の聖業に任じつゝある事實に鑑み、兩國の交情は更に更に親密なるを要するのでありまして、兩國帝室が斯の如く御親密を加へさせ給ふことは、謂ふまでもなく兩國民融和の範を垂れ給ふ所以と拜察するのであります。

今や方に建設期に入りたる滿洲國が、內に庶政を整備致し、外に國威を伸張しまするには、今後尙我が國との共力を必要とするもの多きことを信ずるのであります。斯かる重大時局に際して、殿下の御來滿遊ばされますことは、寔に深遠なる大御心によるものと拜察致します。殿下には、これより親く滿洲の官民に接せられ、その奉迎の熱誠な御見聞遊ばされますと同時に、各般產業及び文化の御視察を遂げさせらるゝことゝ拜察するのでありますが、殿下今次の御來滿により兩國帝室は固より兩國民の交情益々鞏固を加へ、敦厚を增すに至るべきことを信じて疑はないのであります。

今や殿下には、海路御平安裡に滿洲國の門口たる大連に御到着相成り、颯爽たる御英姿を拜しますることは、異邦內の民として、誠に欣幸に堪へないのであります。殊に我が滿鐵が、御差遣の宮殿下御乘用の光榮に浴しまするとは、我が帝國の大陸經營以來未曾有の盛事でありまして、四萬社員と共に誠に感激に堪へない次第であります。茲に、殿下御滯滿中諸事御意に適はせられむことを祈願し奉ると共に、大御心の存する所を體しまして、兩國帝室並兩國繁榮の爲に一層の至誠を竭さむことを誓ひ、謹んで奉迎の辭と致します。

御會見の日を 康德皇帝御待兼ね
御歡迎に御心遣ひ

【新京特電四日發】新興滿洲帝國は天皇陛下の畏き御思召しを奉ぜらるゝ秩父宮殿下を奉迎して空前の榮光に耀かうとしてゐる、康德皇帝陛下は滿洲建國以來日本帝國よりの深甚なる同情と支援とを感謝しゐられるが、特に我皇室の御殊遇に對し絕大なる感謝を表されて居る、また初めて御會見遊ばされる秩父宮殿下の御事については豫て側近奉仕者より種々御內聞に達してゐるのみならず、新聞雜誌等にても既に御承知あらせられるが愈々御名代宮として御渡滿の儀決定するや、更に側近奉仕者に對し殆ど連日に亘り御下問あり、また國賓としての殿下御歡迎について萬遺憾なきやう御自ら親く御下命の模樣と洩れ承る、皇帝陛下が如何に殿下との御會見を樂しみに御待ちかねかといふ事は拜察するだに畏き極みである

新京六萬市民 奉迎の熱誠
荒木地事所長

新京滿鐵地方事務所長荒木章氏は歡喜に面を輝かしながら重責を擔ふ附屬地市民代表として眉宇に緊張の色をひらめかし、謹んで語る

滿洲國皇帝登極慶祝の御名代として御差遣の秩父宮殿下の御旅の一路平安、御前途に光あれかしと祈念し奉るのみであります、殿下が新裝の國都新京に御越し遊ばされるといふことは、滿洲國にとつては勿論、我々新京附屬地市民にとつても限りなき歡喜と力强さと尊さとを感ぜしめらるゝ次第でありまして、我々は感激の外ありません、之により日滿兩國は益々固く結盟せらるべく、東亞の和平今後一段と豐かなるべきを確信するものであります、我々新京附屬地六萬市民は、意義深き空前の御盛儀に對し奉り、一意赤誠をこめて御歡迎の準備に萬遺漏なきを期して居ります

日本皇室に對し 康德皇帝御感謝
沈宮內府大臣謹話

秩父御名代宮東京御出發の報を齎せば宮內府大臣沈瑞麟氏は謹んで語る

今回畏くも日本天皇陛下よりわが滿洲國皇帝陛下御登極の大典を慶賀遊ばされる爲め、皇弟秩父宮殿下を御名代としてわが國首都に御差遣あらせられましたことは我國朝野上下を擧げて欣慶に堪へざる所であります、その上わが皇帝、皇后兩陛下に大勳章を御贈進遊ばされる旨承つて居りますが、わが皇帝陛下におかせられては殊のほか御喜悅、友邦日本國皇室に對し深く感謝遊ばされて居ります、不肖今回首席接伴員を仰付けられました事は非常に光榮と存ずる次第でありまして、他の接伴員と協力、特に愼重に準備を致し以てわが滿洲國皇帝陛下の御誠意に副ひ奉り度いと存じます、日滿兩國政府は今後益々協力し

奉迎に歡喜の新京
官民擧つて準備を整ふ

【新京特電四日發】滿洲國建國以來最初の國賓として秩父宮殿下を御迎へ申上げる滿洲國首都新京では既に奉迎の準備全く整ひ、日滿官民擧つて感激しつゝ御來京の日を御待ち申上げて居る、國賓殿下が國都に

第一歩を 印せらるゝ新京驛は貴賓室、皇族室の設備終り、その他ホームの塗り替へ待合所の淸掃等も十分行はれ、殊に御小憩を仰ぐ皇族室にはテーブル、椅子等淸々しく裝はれ、室內の趣きを添へるため新綠の楓が青磁の鉢に生き〳〵飾られ、これが金無地の四双屛風に照り映えてゐる、一步驛を出づれば附屬地市民の赤誠になる大奉迎塔が紅白の彩りの中に「奉迎 秩父宮殿下」の七文字を電飾に浮き出し塔の周圍は綠滴る植込みで驛前を飾つて居る、なほ殿下奉迎の大園遊會場たる西公園もまたあづまや、ベンチ、柵等いづれも淸々しく塗り替へられ、池の浚渫、散步道の補修等悉く遺憾なく行はれ、一方當日會場に於て殿下の

御旅情を 慰め奉るため特に選定したる滿洲獨特の高脚踊りや芝居の準備も着々整ひ出演者も既に全部入京、その練習に餘念がない、更に滿洲國官吏や民間代表の榮ある謁見場たる新京商業學校に於ても既に總ての改修なり、御休憩遊ばされる校長室の調度品も亦全部新規に整ひ、斯くて國都新京は今や、殿下の御着京を感激の裡に只管御待ち申上げて居る

滿鐵資料獻上

滿鐵では秩父御名代宮殿下の御渡滿に際し滿鐵の組織および事業概況を示した刊行物を御內意を伺つたうへ獻上することゝなつたが、最近急速に膨脹して來た滿鐵の實狀を御說明申し上げるためには現在のものを多少補正する必要があるので總務部資料課では目下新編輯を急いでなり正確最新なものを印刷することゝなつた

日本刀獻上
大連市民から

大連市役所では御名代宮殿下御來滿を奉迎する市民の赤誠を披瀝し奉るため滿洲產の原料を以て作された見事な日本刀一振を獻上することとなる、著名なる特殊鋼で製する筈である、なほ遞信局においては日露戰爭當時の野戰郵便所時代以後、管內で使用した記念スタンプ七十六種の印影を書帖に作成して獻上することになつてゐる

御盛事に 眞に感激
遠藤總務廳長

今日いよ〳〵秩父御名代宮殿下には日地御出發、我滿洲國御訪問の御途に上らせられるに當り我々奉迎接伴員一同襟を正して殿下の無事御着滿を御待ち申上げる次第です、思へば親交愈々固き滿日兩國に斯る未曾有の御盛事を控へ、我々一同眞に感激に堪へませぬ

關東廳滿鐵の 扈從者

秩父御差遣宮殿下に對し關東廳側からは大場警務局長及鹽原秘書官が御在滿中扈從申上げることに決定、御召列車御乘車に際しての滿鐵側扈從者は左の如く決定したがなほ綠陸司令部員實一田において滿鐵陸託將校一名が職務乘車する筈である

總裁 林博太郎 理事 村上義一 鐵道部長 羽田公司

御上陸當日は 國旗を揭揚

御召艦足柄入港當日たる五日の大連市は各戶奉迎旗を揭げ且つ提灯行列をなして遙かに御旅情を慰め奉るべき豫定であつたが當日は恰も故東郷元帥國葬日に決定したのでこれを取り止め當日は大正元年勅令第二號に依り歌舞音曲を慎み停止し弔旗を揭げて遙かに弔意を表することになつた、然し六日は御名代宮殿下御上陸新京に向はせられる當日であるから各戶一齊に奉迎旗を揭げて重き御使命を帶びさせ給ふ殿下の御無事を祈り奉ることになつて居る

奉迎者心得

御差遣宮殿下の大連御上陸當日の一般奉迎者心得は左の如くである

一、不體裁に亘らざる服裝をなすこと
二、「ステッキ」類は携帶せざること 雨天の外傘を携帶せざること
三、一般奉迎者は警察官の指揮により一定の場所に集合整列すること
四、殿下御通過の際は脫帽敬禮をなすこと
五、酒氣を帶び又は喧騷の言動は愼まること
六、屋上、階上、車馬上、板塀、柵、樹木等の高所より奉拜せざること
七、奉拜者は他人に迷惑を及ぼす物件を所持し又は犬等を連行せざること
八、御沿道の飼犬者は當日犬の繫留を嚴にすること
九、沿道奉拜者は小旗を打振り又は萬歲を奉唱することは遠慮せられたきこと
一〇、沿道居住者は窓を閉鎖し、階下に下り尙奉拜せんとする者は一般奉拜者の列に加はること
一一、特に許可を受けたるもの丶外寫眞(活動寫眞を含む)を撮影せざること從つて寫眞機を携帶せざること

奉迎の歌

南滿洲教科書編輯部作歌

一
薫風萬里初夏の 光かゞよふ滿洲に
かしこき宮の御姿を 拜がみまつるめでたさよ

二
友邦永久の慶びに 大君の詔を傳ふべく
五百重の潮路はるばると いでまし給ふ尊さよ

三
豐榮登る日の本の 竹の園生の御榮を
いのる心の一すぢに いざや謳はん聲高く

日滿修交の概觀

難波勝治

今や新興滿洲國の基礎漸く固く、本春溥儀執政が輿望を納れて九五の位に登り、元を改めて康德の大御代をひらかせ給ふた事は、獨り東洋史上に於てのみでなく、世界近世史に特筆さるべき一大洪蹟である、之に對してわが皇室におかせられては、畏くも今次皇弟秩父宮雍仁親王殿下を、國都新京に御差遣遊ばされ親しく慶祝の聖旨を御傳達あらせられる、かくの如きは光彩奕々たる滿洲肇國の劈頭に於ける前代未聞の盛儀である。惟ふに滿洲國の獨立に就ては環堵の列强なほ未だその眞因を解せず、率先して之を承認したるわが日本帝國の外、僅かに最近中米サルヴアドル共和國の確認を見たのみだ、それは滿洲が久しく東北亞細亞に蟠在し、前淸愛親覺羅氏發祥の地なりといふのみにて、未だ國際的に何等確乎たる面目を發揮しなかつた爲であるが、而も彼等諸外國もそこに數千年來の原有種族があつて、別箇の史的變遷を經たことを思はぬからであらう、就中近世文明の中樞を以て自任する歐米諸國民と、夙に居然たる輪奐を備へ居たる滿洲諸民族の歷史とは之まで全く沒交渉であつた、日淸戰役の當時まで日本の東洋に於ける史的位置さへ知らなかつた彼等には、滿洲最近の獨立は地から湧き出た蜃氣樓の如く感ぜられやう、それもその筈だ、肝腎の支那民國すら久しく化外の邊域として滿洲を取扱ひ、その化外の化外たる所以は、或る獨自の史的源流を有した點にあることを顧みないのだ、夫の辛亥武漢の革命勃發當時、彼等が擧つて內外に呼び懸けた標語は「滅滿興漢」の四字であつた、而もこの運動はそれ自體滿洲の特殊性を表白したもので、最近の獨立宣言を民國への反逆視したのは大なる矛盾である、さはれ、この種の議論は今更之を繰返す必要もない、寧ろ問題は滿洲帝國出現の事實が、今後の東洋全般に如何の役割を有するかを靜觀すべき點にある。それにはこの新興地域の過去を檢討して、內外諸國民に諷ふ所を知らしめることが急務だ、それは滿洲國の責任であり、同時に日本善隣の大義である。

滿洲との交涉
高勾麗の時代に始まる

由來日本と滿洲とは國際的にこそ左程緊密な關係を有たなかつたが民族的には隨分永い深い交際を有つて居た、殊に神功皇后の新羅御遠征以後、同國及び百濟などが加羅、任那に倣うて官家の列に加つて以來、それ等諸域と長白山の西麓を根據として崛起した高勾麗との關係は、わが國をして漸次後者との

接觸 を頻繁ならしめた、朝鮮問題がわが國史と如何に密接な連繫を續けたかは事新しくいふ迄もない、而してその發端は遠く所謂神代の昔時にあつて、皇祖神武帝の御代に先だつ數世紀に於て、既に半島南部の一角に國土を兼有して居た、卽ち新羅、任那とわが本州並に九州との間柄は、種族的にも政治的にも宗支不可離の關係にあつた、神話に記載された伊弉諾、伊弉冊の二神が殿馭盧島に降臨ましまし、淡路洲を生み、大倭豐秋津洲を生み、更にその他の島々を生み給ふとあるは、天孫人種の統治下に漸次版圖が擴充鎭撫されたことを語り、大日靈貴、月夜見、素戔嗚の三貴子をなして、高天原、夜國及び海原を分治せしめ給ふとあるは、軈て本國と南方領土と新羅とを意味するとは、近代史學の相一致した定說である、かうした時代の

半島 には北部に沃沮、辰番、樂浪の諸族が居り、中部に濊貊、卞韓の諸族が割據して居た、南部新羅を繞つて辰韓族が居り、浿水、卽ち今の鴨綠江の彼方には、遼河との間に扶餘と貊とが盤屈し、遼西には北部に鮮卑あり、南部に山戎あり、更に北支那との間に燕國が雄を唱へて居た、この中最も優秀な種族は女眞に屬する扶餘であつて、同種族と目せられる濊貊及び黑龍江域の挹婁の如きは、慓悍な遊畋種族ではあつたが遂に農牧の定着力を發揮し得なかつたといはれる、扶餘はその初期の植民地を松花江東南部の沃野に占め、西方匈奴と相角逐して一時の雄強を稱したが、その一支族は南下して鴨綠江の上流に進入し、古代滿洲中最も卓越した高勾麗王國の基を開いた

國祖 東明王の登祚は西紀前三十七年、今を距る約千九百年の昔時であつた、最後の寶藏王が唐將李勣に降服したまで、二十八世七百五年間の唱覇は何といつても比類ない一大偉業であつた、勿論高勾麗建國前においても滿洲と周漢との交涉あり、それに先だつて箕子の北朝鮮入も傳說に遺つて居る、殊に前漢武帝が道を今の遼陽興京諸域に假り、驅軍萬里、威を朝鮮西半の大部に振ふたこともあるが、實質的には概れ黃渤の瀕海に融貫の便をひらき、一時の貢物を奉納させたぐらゐで、居然たる獨自の王業を確立したのは高勾麗に及ぶ者はない、少くとも日本と滿洲との交涉はこの東扶餘であつた、國史の語る所によれば、わが國化の御代は各地に爭亂が紛起して相當

多事 であつた、それが崇神天皇の英邁なる御方略に依つて戡定され、垂仁帝を經て景行帝、成務帝の御代には復び關東及九州の物情騷然を見、仲哀帝に至つて殊に九州方面の統治策に大御心を惱まされたやうだ、當時は支那に於ても三國の分裂を合併した司馬晉の統制亂れ、中原を擧げて五胡の爭奪に委せられたが、その影響は滿洲及び朝鮮半島に大なる波紋を描かせた、慕容部の侵略に困憊した高勾麗及び百濟は、國勢一跌新羅をして隣邦の釁隙に乘じて蠶食を縱にさせ、更にわが筑紫熊襲と結んで邊疆を亂さんとさせた、日本武尊の血を享け給ふ仲哀天皇が、奮起して筑紫へ遠征を試み給ふたのは之が爲である、しかしその海外事情に通じ給ふ點に於て、神功皇后の御坤德は最も明徹し宏遠なものであつた、不幸その御勸告を容れさせ給はで仲哀帝の崩御に會ふたが、この危急の際に於て皇后は決然新羅膺懲の志を定め、神籌鬼策、海を渡つて强敵を挫き新羅、百濟、高麗の諸族を鎭撫し筑紫を平定してその後三百年の

隆運 を啓かせ給ふたのだ之は間接的ではあるが、日本と滿洲との交涉は、この時を嚆矢とすると斷言し得るであらう。

渤海修交の眞意
大陸の平和を基調

百濟が始めて來附したのは新羅內屬後六十餘年のことだが、當時最も富强であつた同國は、高勾麗の衰運に乘じて爲す所あらんと欲し款をわが國に通じて北伐したが、之が動機となつて高勾麗も眞に協調の惱を日本に寄せるやうになつた、その後わが國の對半島政策は常に重きを右の

三國 に置いたが、高勾麗との外交には特に硬軟兩面の諸現象が反映されて居る、高勾麗百濟も同じく扶餘族であり、わが外交問題は一に半島の內に利害範圍を局限されたが、支那及び印度の文化を最も早く攝取したものが高勾麗であつたゞけ、後者から寄與された工藝的影響は頗る大であつた

從來わが國と滿洲諸族との往來は日本海を通じて夙に盛に行はれたやうだが、神功皇后西征以後に於て高勾麗人の來仕者は一層多くなつた、勿論新羅及百濟は嚴乎たるわが附庸であり、その地域また相近接する關係上、彼我の交通最も深廣ではあつたが、專の滿洲に關する者より見て高勾麗と我國との國交は特筆に値する、仁德紀に日鷹吉士を高麗に遣はして技工を召させられたことや、高麗王の裔孫が本朝に投歸したことや、更にその淪落後亡民の投歸するもの多く靈龜年間千八百人を收容して武藏に置き、高麗郡を建てしめられた史實の如きその一斑を推想するに足りる、高勾麗征服後の南滿洲一帶は、約四十餘年間唐の行政下に支配されたが、高勾麗の遺臣大祚榮が渤海郡王となるに及んで、

渤海 國二百十五年間の基礎は据ゑられた、而してその版圖は殆んど高勾麗故地に均しといはれ、聖武帝の神龜五年武藝は始めて禮を具へて聘を我國に通じたがその際の貢進物は名產人參などであつた、之はその後の數世間絕えず、往々にして使節船か北陸蝦夷の境に到着したことがある、されぱわが朝廷に於ても常に藩國を以て之を待遇し、屢々親書を傳賜して懃諭し給ふた、孝謙帝の時の皇輸に「來啓を見るに臣名を稱するなし、仍て高麗舊記を檢したるが高氏上表はいふ、親はこれ兄弟にして義は則ち君臣なりと、或は援兵を請ひ、或は踐祚を賀し、朝聘の恒式を修し、忠欵の懇誠を效せり、禮を以て進退するは彼此共同なり、王熟ら之を思へ」とあるが如きそれだ、想ふに渤海修交の眞意は「隣交を訂し、聲援を假つて貿易の利を興し、虞慎高勾麗の舊誼を保續せんと欲した」のであらうがそれは同時に契丹その他强隣の間に伍して國力の强化を圖つた爲でもあらう、兎に角渤海と日本との通交ほど、大陸關係の

平和 に終始し續けられた例は稀であり、それだけ彼我の文物工藝を相補益したことは確だ、醍醐帝の時唐亡び次ぐに五代の亂を以てしたが、渤海が强隣契丹に併呑されてからはこの方面との通聘は斷絕した、渤海の滅亡は同時に滿洲に於ける種族の消長であつた、契丹卽ち後の遼も、それに續いた元も蒙古族である、曾て女眞系の諸族就中扶餘の掌裡に收攬された滿洲は、今や鮮卑卽ち蒙古族に依つて覇權を把握されたのだ、これはその後の日本に取つても非常に影響ある變化で、東部滿洲及び朝鮮に緣故深い種族と、西北の沙漠地帶に崛起した種族とには、民情傳統自づから親疎の別があつた、この點元に代つて支那の宗主權を掌握した明にも、純滿洲諸族との間に馴致されたほどの接近力はなかつた、殊に元の如きは放浪無智の遊牧人種を以て成つた爲か、飽くまで慓悍强暴な偏武方針を縱にした、道を朝鮮東北部の王氏高麗に假つてわが博多に入寇したが、之に對して國民上下の嘗めた苦楚は實に言語に絕する者があつた、幸ひに君民一致の奮鬪に依つてこの國難を擺脫することを得たが、擧國の人心は之が爲に北方の强族に對する傳統的警戒心を植ゑられた

【寫眞說明】 向つて(右)好太王碑の一部(中)契丹文字(左)滿洲文字

元に代つた明は流石中原の文化に陶治され、力めて前朝の覆轍を鑒したやうだが、わが國

足利 の方針また力めて逆合主義で押通された、しかしそれは我國と明との直接關係であつて滿洲の孰れの種族とも最早連繫はなかつた、これは永い將來に色々な國際事故の遠因を醞釀させたがその中最も著るしい障碍は滿洲と他の諸域就中日本とを隔絕させたことだ、若し各部扶餘族君臨當時に於ける通交狀態が繼續されたらその後の東洋史は餘程變つた面目を發揮したであらう

豐太閤の征韓は
淸朝の中原進出促進

而してこの滿洲と他諸域との絕緣時代を來さしめたのは元である、偏武主義を以て急劇に勃興した同國は、また同じ主義方針の爲に速積し覆滅した、而して彼女が後代に貽した業蹟は、滿洲大陸を外界から封鎖して發達の步武を鈍らし日本をして北方民族に對する深怨を懷かしめたのである、一代の英雄豐太閤が毅然

征韓 討明の師を起したのはその趣旨一に戰亂後の內國不平を外に轉嚮せしめ、かれて英雄兒に有り勝ちな四方の志を成すにあつたが、而も北夷の南下、遂に如何なる國難を將來に惹起するや測られぬことを默識した爲でもある有體にいへば戰國時代の雰圍氣中に育つた秀吉の壯畧は、それ自體怨必烈の南侵と同じく、何等見るべき功果を齎さなかつた、しかしそこに永い將來に跡附けられた民族移動の新基調があり、滿洲が支那本部と對比して特異の事情を有した歷史的地理的素因が[illegible]かくて滿洲は對外的に忘れ[illegible]に至つたが、對內的にはその地方事情に復歸しつゝあ[illegible]それはこの地原住種族た[illegible]の勃興であつて支那中原に[illegible]朱明の漸衰狀態に反し、そ[illegible]に乘ぜんとする諸胡の勢[illegible]しつゝあつた、就中最も[illegible]は愛親覺羅氏の發達振り[illegible]全土を統一した餘威を以て[illegible]百五十年の國礎を奠めた[illegible]な奇緣ともいふべきは、明[illegible]ける滿洲族活動の際に方[illegible]國豐太閤兩次の朝鮮經略[illegible]れたことだ、半島の征服[illegible]

滿洲 への脅威で[illegible]を接する[illegible]それは結果において却て[illegible]氏の中原進出を手傳ふた[illegible]それは日滿兩國の直接關[illegible]の影響ないが、豐臣氏滅[illegible]幕府が、明朝を顚覆させ[illegible]淸廷に對して、國交恢復[illegible]上に或る口實を寄與した[illegible]ぬこともない。

滿洲の特殊性
漢民族の對滿政策

爾來風霜二百有餘年間、東洋自體の國際的形勢は無風狀態を持續したが、歐洲文明の東漸に依つて日本も大陸も均しく多事多端となつた、地方的に忘れられて居た滿洲は露國の進出に刺戟されて一大風雲を捲起し、歐洲大戰後の世界事情は、遂に東北亞細亞の廣域を國際治亂の焦點たらしむるに至つた、その間の經過は事新しく茲に述ぶるに及ばぬが、それは總て二千年來の史蹟に起因したと言ひたい、何となれば滿洲の自然が昔から重大なる特異點を有したからだ、人種學より見た東北亞細亞は人類移動の一廣衢である、ツラニアン種族が東進し初めてから、東洋に於ける彼等分散の大域は西比利亞及び滿蒙に約束されて居た、就中滿洲は彼等の生を營むに適した廣袤と富源と地形とを有し、滿洲の

獨自 性は既にその時に胚胎して居た、所謂特殊地域なる所以は其處にある、支那大陸歷代の史蹟を回顧しても、漢民族の絕えず努力したのは北方胡狄の防禦であつた、周末秦初から國帑を傾注して築造された長城は、世界の何處にも比類ない大工事であるが、積極的にはそれを根據として征服の步武を進め、消極的には中原の豐資を擁護する四夷の守であつた、しかしさうした關外に敬遠された東北亞細亞殊に滿洲は、それが特異の獨自性あることを語るものだ、漢民族の對滿政策は力めて放任主義であつた、必ずしも滿洲の富源如何を問はずして、その民族の關內に侵入せざらんことを之れ念とした、隨つて彼等の政治は滿洲の開發に寄與する所甚だ少なかつた、しかしさうした自利的見解は益々滿洲在住種族を窮乏させ勢ひ武力に依つて中原の富源を覬覦せざるを得ざらしめた、それを漢人種は

文治 的に同化させ、この同化力に因る懷柔技術を誇りとした、そこに漢民族文明の偉大さがあつて、數百千年に亘つて好成績を擧げさせたが、而も同時に最初中原を望んで侵入した樸訥粗剛の武力主義者を、何時しか文弱化させて他の侵入者に乘ずべき罅隙を與へた、漢人種はこの輪廻の間に安逸を僥倖したと評して差支ない、しかし安んぞ知らんさうした生硬な外來者は、一面陸離たる漢族文明の素地を破壞し、その生々發達すべき進運を停頓させた、支那大陸を擧つて爛熟頽敗の風潮を濃厚ならしめたのは之が爲だ、更に考ふべきは世界の各隅から寄せ來る新しい刺戟だ、地大に物博き豐滿振りを誇つた漢民族は、近世文明の浸潤に依つて漸次窮境に陷つた、彼等が長城外に放置した化外の邊域には、何時しか四圍の外力が殺到して開拓の基礎を固うした特殊地域滿洲の如きはその著るしい例證の一つだ

獨立の必然性
滿洲民族にとつて

かうした大勢に鑒驚した漢民族は一意外力の排除に力めたが、それは啻に對外關係を攪亂するのみでなく、更にその地に安住する內外民の生活を脅かすに過ぎない、況んや滿洲の如き

特殊 地域は、環堵の列强中、擅に之を掩有せんとすることは准されない、それは直に關係諸國の利害に大影響するからだ、換言すれば滿洲は獨り日本の生命線なるのみならず、それと境を接する總ゆる民族の生命線となつた、かくて滿洲の獨自性は益々强化され、必然的に獨立の國礎を要求せねばならなくなつたのだ、ただ滿洲民族にはなほ遍くこの意義が徹底して居ない、從來とても獨自性と依存性とが並有されて居た、これは孰の民族にも共通する現象だが、しかし獨自性が主で依存性は飽まで從であらねばならぬ、從來の依存主義が竟に永く國際平和の禍源たる所以は其處にある、隨つて最近の獨立と帝制實施とは、この傳統的缺陷に對する根本的立直しであり、更に新興滿洲の帝基は決して前淸の復活を意味しない理由なのだ、處が問題はこの獨立後の建設である、由來滿洲がアレ程永い年處を有し、而も特に文化の見るべきものなかつた理由は、勿論風土氣候の自然的原因や、地域の北方に偏在した結果でもあるが、しかし、そこに生息した民族の大部が

外來 文化を攝取し活用し得なかつた爲でもある、彼等代々の興亡史を通觀すれば、その勇武敢爲決して脅鈍を以て論ずべきでない、氣候は寒冷だが土地は肥沃だ、林產礦產の蓄積亦到底日本の能く比肩し得る所でない、然るにこの富源は久しく未開發の儘に放棄され、數百年來著るしい經濟的進步を見なかつた、朔北沍寒の氣候が域外移民者を誘致し難かつた例は、支那本部歷代の史籍にも散見するが、人口の增加漸々思ふに任せぬとすれば、天與の資源も容易に之を開拓するに由ない、資源にして生を豐ならしむる能はずば仕民は勢ひ境を越えて他鄕の富を割取せざるを得ぬ、この經路は滿洲ばかりでなく北支も同樣だ、それは進取力に乏しく搾取に專念したためではなからうか、支那文明が黃河々谷に興隆した當時は、茂草豐樹は到る處に繁生して居た、それ漸次需給の不定狀態を捻出させたのは、人口增加に伴ふ自然惰景であつても、更に

資源 開拓の方法を無視し退嬰保守の頹勢を本能化したのではなからうか、氣候的寒澤の一層少ない滿洲には、この缺陷が一層廣汎に發見されるやうだ、就中今後の國礎は單なる農本主義だけでは牢固ならしめ難い、農業自體が機械化し科學化しつゝある、東洋文明は總ゆる博物的智識を基礎附けて居る、然るにそれは或る程度以上に伸張して居ない、例へば冶金鑛術の如きも夙に支那にあつた、それが滿洲に輸入されたのは決して遲くなかつた、然るに僅かに新羅を通じて敎へられた日本が驚くべき速度と精密さとを以て體得進步させたるに拘はらず、滿洲では寧ろ退步こそすれ更に發達して居らぬ、勿論

日本 文化の培養者は、その四通八達の國土の位置に於て、古今東西總ゆる方面から往返來仕した、併しさうした刺戟に對する適應性に於て、攝取力に於て、渙然他の諸國民とその選を異にするものがあつた、この傳統觀からいへば滿洲が彼ればどの獨自性を有し更にその資源の多種多樣なるに拘らず、最近まで舊態を墨守して居たことは痛憾する、これは蓋し今後建設上の要點であるが、私はこの偉業の完成を滿洲國と諸外國との協同に依つて期待し得ると思ふ、そこに獨立に就て唯一の支持者であり、衷心より共存主義の必要を唱道して來た日本の責任もある譯だ、今次皇弟殿下御渡滿の御趣旨を深く玩味し、日滿兩國の過去を追懷し、併せて將來の光明を仰止してこの言をなす譯である

白頭山頂の聖池に三女沐浴の圖（淸朝發祥の神話に因む）

勒瑚里泊　三仙女浴布

輯安所在の好太王碑

輯安所在の將軍塚（高勾麗東明王陵）

光榮の隨員

林權助男

首席隨員たる林男はいふまでもなく我外交界の耆宿であり、又元關東長官として我關東州及滿洲の人々には親みが多い。男は關東長官退官後、駐英大使を最後として外交官生活を打切り、大正十四年秩父宮殿下の御渡英に際し宮內省御用掛となり御輔導役として功勞尠からず、今回の御渡滿に際し又も首席隨員として供奉したことは男にとつて重ね〲の光榮である。昭和四年以來式部長官の要職にあり宮中における公式の諸御儀に奉仕精勵し、七十五歲の高齡にも拘はらず尙ほ矍鑠として今回の重大御使命を御輔導申上げることに精進してゐる

植田謙吉中將

陸軍中將、參謀次長の要職にある昭和五年末第九師團長となり、七年二月上海事變に際し同師團を基幹とする部隊を率ゐ出征して勳功あり同年四月二十九日天長節祝賀會席上兇漢のために遭難脚部に負傷す、八年夏眞崎氏の後をついで參謀次長となり今日に及ぶ、[illegible]の將軍として陸軍部內に於ける異彩である

津田靜枝少將

海軍少將、現に海軍々令部第三部長である。多年支那に駐在し事變前後第二遣外艦隊司令官として各種の要務に參畫し旅順要港部司令官となり昨年現職に轉じた、海軍部內きつての支那、滿洲通として聞えてゐる

桑島主計氏

外務省亞細亞局長である。明治四十四年外交官となつて以來、奉天、漢口、桑港、孟買、シカゴ、ワシントン等の領事、總領事に歷任し昭和五年天津總領事となり八年亞細亞局長の要職に就任す

武井守成男

武井守正男の二男、大正十五年家督を繼ぎ昭和二年襲爵東京外語伊太利語科卒業後、伊太利に留學、音樂の素養深く、宮中に入り內大臣秘書官、大禮使事務官等に歷任し現に式部官、儀式課長である

前田利男伯

秩父宮附の宮內事務官である、前田家は舊富山藩主の後裔であるが利男伯は滿口直亮伯の弟で大正十年先代利同伯の後を繼いで前田家に入つた、帝大農科の出身、大正四年大隈內閣の總理大臣秘書官となり六年皇子傅育官に任ぜられて以來、秩父宮殿下の側近に奉仕し宮內事務官となつても依然秩父宮殿下に奉仕して今日に至る

高山三平氏

拓務書記官秘書課長の職にある、農商務事務官、特許局登錄課長等に歷任し「國有財產法及國有林野法」「日本森林法」等の著書あり拓務省內の俊才を以て目せられ滿鐵監理官候補者に擬せられてゐる

山下奉文氏

步兵大佐陸軍省軍務局軍事課長である、陸軍中央部樞軸の要職にあり、殊に滿蒙班の直接の首腦者として滿洲問題に最も關係のある人其の才能は夙に部內に定評がある

光榮の隨員

御名代宮殿下御差遣に際し光榮ある隨員は左の如くである

式部長官男爵 林權助
陸軍中將 植田謙吉
海軍少將 津田靜枝
外務省亞細亞局長 桑島主計
式部官男爵 武井守成
宮內事務官伯爵 前田利男
拓務書記官 高山三平
陸軍步兵大佐 山下奉文
式部官子爵 相馬孟胤
陸軍航空兵中佐 田副登
海軍少佐 桑原重遠
外務事務官 北澤直吉
皇族附武官 寺倉小四郎
式部官 中根信尾

滿洲國接伴員

滿洲國政府の秩父宮殿下接伴員は左の如くである

宮內府大臣 沈瑞麟
同總務處長 許寶蘅
同掌禮處長 張九愷
尙書府秘書長 [illegible]木三郎
宮內府秘書官 加藤內藏助
同 掌禮官 蔡法平
同 張格
國務院總務廳長 遠藤柳作
同 次長 阪谷希一
同 秘書長 神尾弌春
宮內府需用處長 小泉三郎
國務總理大臣秘書官 鄭禹
文敎部 郭恩林
外交部總務司 朱之正
同 庶務科長 田中正一

宮相等御出迎

秩父宮殿下お出迎へのため滿洲國政府の沈宮相、鄭宮相秘書官、張掌禮處長、遠藤總務廳長、關口秘書官、田中外交部庶務科長、中島需用處總務科長、渡邊供給係長の諸氏は四日夜來連した

祝創刊第壹萬號並ニ三十周年記念

大連工業株式會社
専務取締役 桝田憲道
大連市播立町二

滿洲製麻株式會社
専務取締役 井上耀夫
大連市日吉町一

大連油脂工業株式會社
専務取締役 保田文雄
大連市香取町三七

滿洲石油株式會社
大連事務所
大連市常盤町二九

大連火災海上保險株式會社
社長 村井啓次郎
大連市常盤橋

日本ペイント滿洲販賣株式會社
専務取締役 原田惠語
大連市山縣通二一

昌光硝子株式會社
常務取締役 藤田臣直
大連市秋月町二〇

阿波國共同汽船株式會社
大連支店
大連市山縣通二〇〇

株式會社 遼東ホテル
山田三平
大連市大山通一七

幾久屋
岸田正記
大連市浪速町

大阪商船株式會社
大連支店
大連市山縣通二三三

秩父御名代宮殿下けふ御着連

今夜艦內御假泊

【關東廳發表】六日早朝御上陸

四日午後六時御召艦足柄發旅順要港部入電＝午後六時の本艦の位置は北緯三十四度五分、東徑百二十五度五分、速力十二節、孟骨水道を通過し一路大連に向ふ、天候曇り、平穩なる航海を續け、殿下におかせられては益々御機嫌麗しく午後分隊點檢、艦內の御巡視、武技を御台覽あらせらる

秩父御名代宮殿下御召艦足柄は五日午後七時大連港に入港するが關東廳は四日午後三時左の如く發表した

秩父宮殿下におかせられては**六月五日**（火曜日）**午後七時**御召艦足柄にて大連御入港、當夜は艦內に御假泊遊ばさる翌六日（水曜日）午前五時三十分御召艦甲埠頭岸壁御着、菱刈長官及び滿洲國接伴員伺候、續いて有資格者單獨賜謁、午前七時十五分大連驛御着、七時三十分特別列車にて大連驛御出發新京に向はせらる、追つて濃霧の場合は六月六日（水曜日）御召艦より汽動艇に御移乘遊ばされ午前六時五十分第二埠頭第十一區浮棧橋御着、御上陸の上埠頭貴賓室にて菱刈長官及び滿洲國接伴員伺候、續いて有資格者單獨賜謁、七時五分埠頭貴賓室御發、七時十分埠頭玄關御發、七時二十分大連驛御着、七時三十分大連驛御發新京に向はせらる

六日午後六時新京御着

關東軍司令部發表

【新京特電四日發】四日午後三時關東軍司令部發表＝秩父宮殿下には六日午前七時三十分大連御發、同日午後六時新京御着の御豫定にあらせらる

單獨賜謁者

六月六日の單獨賜謁豫定者左の如し

記

關東長官陸軍大將正三位勳一等功五級　菱刈隆
旅順工科大學學長從四位勳三等　野田清一郎
旅順要港部司令官海軍中將從四位勳二等　枝原百合一
陸軍中將正四位勳二等功二級　高柳保太郎
海軍造兵中將正四位勳二等　佐堂卓雄
陸軍中將正四位勳二等　山內靜夫
旅順要塞司令官陸軍少將從四位勳三等功五級　鏡山巖
關東廳警務局長正五位勳四等　大場鑑次郎
關東廳高等法院長關東廳法院判官正五位勳四等　杉浦忠雄
關東廳內務局長正五位勳四等　日下辰太
關東廳高等法院檢察官長關東廳法院檢察官正五位勳四等　下田勝久
大連民政署長關東廳事務官正五位勳四等　御影池辰雄
關東廳財務局長正五位勳五等　中村孝次郎
陸軍少將從四位勳二等功四級　岩井勘六
海軍少將從四位勳三等功五級　牧野豐助
陸軍少將正五位勳三等功四級　長谷部照俉
陸軍少將正四位勳三等　井上乙彦
關東廳地方法院長關東廳法院判官從四位勳四等
南滿洲鐵道株式會社總裁正三位勳二等伯爵　林博太郎　森本豐治郎
南滿洲鐵道株式會社副總裁從四位勳二等　八田嘉明
大連市長從四位勳四等　小川順之助

御召艦伺候

次に滿洲國接伴員にして御召艦に伺候豫定の者左の如し

記

沈宮內府大臣
遠藤總務廳長

〃〃〃南滿は快晴〃〃〃

秩父御名代宮殿下御到着の五日および御上陸の六日の天氣はどうか、若草山觀測所の觀測によれば、高氣壓は黃海の南部にあり、四日夜滿洲の西部に示度七四六粍の低氣壓が發生したので五日は北滿はやゝ曇り始めるが南滿は快晴である、しかしこの低氣壓の發達の模樣では六日は南滿一帶も少し曇り出すやも知れぬと

けふ故東郷元帥國葬

甘露寺侍從を侯爵邸に御差遣

【東京四日發國通】畏くも天皇陛下には故東郷元帥國葬儀に先だち生前の功を思召され人臣光榮の極ともいふべき御誄を賜はる旨御沙汰あり、本朝十時甘露寺侍從を東郷邸に御差遣遊ばされたが

此の日東郷邸では九時より遺骸の安置された奥大廣間に白づくめの裝飾せる靈柩の兩側には紅白の旆、榊一對、鉾一對等を飾り、彪氏をはじめ正副委員長は大禮服に喪章をつけ加藤、吉田正副司祭長はじめ司祭一同裝ひを正し、百合子夫人はじめ婦人はおすべらかしに袿袴或は黒紋服姿その他諸員一同禮裝勅使御着を御待申上ぐれば

勅使甘露寺侍從は陛下より御下賜の御榊一對、神饌、幣帛等の御幣帛並に御誄を奉じて到着喪主彪氏に對し恩賜の幣帛を傳達一同聖恩に感泣する裡に吉田副司祭長御誄を奉讀し終つて甘露寺侍從は坊城式部官の先導で靈前に恭々しく一拜の後、玉串を捧げ御誄を奉讀すれば一同功臣に寄せたまふ陛下の御仁慈に感淚に咽んだ、かくて勅使を御見送り申上げた諸員は更に十時十五分皇后陛下御使黒田事務官を、同三十分皇太后陛下御使清閑寺事務官をお迎へし彌增す光榮に感激した

國葬場完成

【東京四日發國通】日比谷公園國葬場は四日午後全く完成した（寫眞）磨き丸太、白木造りの葬場殿は木の香も新しい楚々たる姿に出來上つた、その內部は純白の布に張りつめられ葬場殿全體は漆黑の幔幕に圍まれ二千六百坪の式場には六千五百立方尺の砂が敷詰られ、聲かの雜音も聞えぬやうに設へられてゐる、左右に流れた二條の天幕の中には宮中から特に運ばれた勅使、御使、皇族方の椅子を初めとして特に新造の床机二百四十が並び、その他千數百個の椅子が所狹きまで並べられ元帥の靈前には無數の贈られた榊、花等の中主なるものばかり三百個は午後二時から夕刻までに式場に飾りつけを終へた、又午後は儀仗兵等の豫行演習が行はれ明五日の國葬を待つばかりとなつた

ドレーヤ大將

【東京四日發國通】東郷元帥國葬に參列の英國軍艦サフォーク號に坐乘の英國支那艦隊司令長官ドレーヤ大將は四日午後三時三十分元帥邸に弔問した

故元帥に誄を賜ふ

【東京四日發國通】故東郷元帥に賜つた誄左の如し

至誠神ニ通シテ成敗ノ先幾ヲ制シ沈勇事ニ臨ミテ安危ノ大局ヲ決ス國難ニ當リ功海戰ニ嵩シ朕ノ東宮ニ在ル羽翼是レ倚リ卿ノ三朝ニ仕フル股肱是レ效ス、德望域宙ニ充チ聲華海外ニ溢ル、洵ニ是レ武人ノ典型實ニ邦家ノ柱石タリ、遽ニ流亡ヲ聞ク、曷ソ軫悼ニ堪ヘム、茲ニ侍臣ヲ遣シ賻ヲ齎ラシ以テ弔セシム

墓誌銘

【東京四日發國通】四日正午故東郷元帥の墓誌銘が出來上つた、文章は宮內省御用掛吉田增藏氏の起草、文字は內閣辭令係主任村田義雄氏の筆で製作に當つたのは神田の鏘島石材工業株式會社である

同社では元帥薨去の翌三十一日國葬事務所より用命あり晝夜兼行で製作を續け四日漸く完成し石擂をなり午後三時半多磨墓地の墓所へ運び國葬委員に手渡したが、磨きのかけられた仙臺石（長さ二尺四寸八分、巾二尺八寸、厚さ五寸）の表に八分角五百十三文字が楷書で美しく刻まれてゐる

歌舞音曲停止

東郷元帥國葬當日の五日、關東廳では大正元年の勅令第二號により花柳界、映畫館、ダンスホール、カフエー其の他に對し歌舞音曲の停止命令を出した、從つて映畫館ダンスホールの如く絶對に歌舞音曲を必要とする營業は當日休業し靜肅に弔意を表することゝなつたなほ國葬當日は囚人の服役を特免し死刑及び笞刑の執行をも停止される筈である

遙拜式　滿俱球場にて

本五日は東郷元帥の國葬日に當り大連市役所にては午後二時より中央公園內滿俱グラウンド（雨天の場合は彌生高女）において左の如く遙拜式を盛大に擧行する筈

▲修祓、齋主招靈奉仕▲齋主祝詞を白す▲大連市長祭文▲齋主玉串奉奠▲大連市長同上▲親族總代（東郷高穗氏）同上▲官衙代表同上▲滿鐵總裁同上▲海軍現役軍人代表同上▲陸軍現役軍人代表同上▲海軍在鄕軍人代表同上▲陸軍在鄕軍人代表同上▲滿洲國官衙代表同上▲大連市會代表同上▲市商會代表同上▲商議代表同上▲海軍協會代表同上▲縣人會代表同上▲一般參列者代表同上▲送靈

菱刈大將旅順へ

秩父宮殿下御出迎へのため來連した菱刈長官は鹽原秘書官、今岡副官その他を從へ大連まで出迎への大場、日下、中村三局長らと共に自動車を連ね午後六時四十分旅順着關東廳各課長その他の出迎へを受け官邸に入つた

天龍の弔砲

國を擧げて故東郷元帥の英靈を弔ふけふの國葬日に當り旅順要港部隷下各艦船では終日各々半旗の禮を行ふと同時に各艦船內に於て故元帥に關する訓話を夫々行ふが更に旅順西港に碇泊中の軍艦天龍は內地時間午前八時三十分元帥の柩の麴町上六番町出發時刻（滿洲時間午前七時三十分）から一分每に十九發の弔砲を發し弔意を表することゝなつた

追悼法會

沙河口佛教團では五日午後七時より霞町常福寺において故東郷元帥の追悼法會を執行すると▲同午後二時より本派本願寺關東別院にて同上、一般燒香は午後五時迄

交通の注意

大連警察署は六日秩父宮殿下埠頭御發より大連驛御發車迄の間奉送者及び列車乘降客に對し次の如き方針で取締る旨發表した

一、奉迎送者

（イ）單獨賜謁を終へたる人にして驛構內に於いて奉迎送せんとする人（約二十名の豫定）は（一）御列に先行せる場合は驛前下廣場より構內に入り午前七時二十分迄に所定の位置に整列せられたし（二）御列に隨從せる場合は殿下及び御隨員に隨從し驛構內に入り所定の位置に整列せられたし

（ロ）列立奉迎送者（約二百六十名の豫定）は列車の入替着發等の關係上午前七時までに美濃町小荷物取扱所（美濃町交番の横）より驛構內に入り所定の位置に整列せられたし

御奉送申上げたる後においては美濃町方面に自動車を待たせある者は美濃町小荷物取扱所出口より退出しその他は驛表玄關より退出するものとす

二、列車乘降客

（イ）午前七時〇分大連驛着列車の乘客は午前七時十分迄に全部入船町「瓦斯タンク」南道路に出でしめ西方「ガード」下を通過せしめ市內に入らしむ、但し御召列車發車二十分前に至れば「ガード」下通行を禁止し諸車步行者は榮町方面に退避せしむるものとす

（ロ）午前七時四十五分及同七時五十分大連驛發列車に乘車せんとする者は前夜迄乘車券の購入手荷物の委託等の諸準備を爲し置くを便利とす

三、諸車

（一）一般諸車にして午前七時以後驛方面より日本橋方面へ往かんとするものは總て其の通行を禁止す

（二）午前七時以後驛附近に於て駐車せんとする諸車は左記に依らしむ

イ、自動車　（A）大連驛に到着せる御列自動車は御召列車發車迄は其儘とし移動せざるものとす（B）單獨賜謁者用自動車は（一）埠頭の御賜謁が艦內なる場合は御道筋を先行大連驛前下廣場に到り到着順に縱列駐車を爲すものとす（C）列立奉迎送者用の自動車は美濃町交番南側及交番前より岩代町電車停留所に至る間及榮町入口に至る間並に入船町「ガード」通路に至る間に一列縱列駐車を爲し待ち合はすものとす（D）其の他の一般自動車は驛前下廣場より入船町「瓦斯タンク」南道路に入り北側に西方に向け一列縱列駐車を爲す

ロ、乘合自動車　入船町「瓦斯タンク」南道路南側に一列縱列駐車を爲す

ハ、乘合馬車　入船町「瓦斯タンク」南道路西方北側に一列縱列駐車を爲す

ニ、人力車　入船町「瓦斯タンク」南道路南側に一列縱列駐車を爲す

四、電車

（一）午前七時迄に御道筋には一臺の電車をも殘留せしめざる事（二）御道筋附近に待避する電車は御道筋より其の車體が見得ざる地點に於て待避のこと

秩父宮へ大連市の獻上品

滿洲產の特殊鋼で製作した名刀

慘澹たる苦心の結晶

大連市においては御名代秩父宮殿下へ獻上品を以て奉迎の微意を表し奉るべく市理事者並に市會の緊急協議會を開いて愼重凝議した結果市內榮町二、大華電氣冶金公司社長上島慶篤氏が牛心臺鐵鑛山の產鐵を以て日本で初めて完成したる特殊鋼で鍛へた日本刀を獻上することが最も意義があるであらうと內議纏まり其旨上島氏に通じたところ上島氏はいたく感激し即刻

秘藏の名刀　一口を持參して大連市に寄贈した、かくて大連市においては獻上の準備に取りかゝつた、此の刀は刀身二尺二寸五分、上島氏兄弟と有名なる刀匠美濃の關孫六の後裔兼永氏とのトリオにより成つた逸品であるが、その間には血の出るやうな苦鬪哀話が秘められてゐる

即ち上島慶篤氏は十數年前、安奉線牛心臺において純鐵に近い富鑛の片鱗を發見したが、舊軍閥壓迫に禍され焦慮のうちに十數年を經過した、滿洲事變後該鐵鑛の再調查に着手し、苦鬪努力して探索を續けた結果、努力は遂に酬いられ昨夏純鐵に近い大鑛脈を發見するに至つた、これより先き令弟工學士上島明一氏は刀工として身を立つべく日本刀の科學的研究に沒頭してゐたが

令兄の牛心臺鐵鑛發見の報を聞くや、同鑛山產出鐵鑛を原料として上島式製鍊法によつて製造した特殊鋼を素材として日本刀の鍛錬を企圖し、熱心に刀匠兼永氏を說き伏せて茲に明一氏の科學的研究を經とし兼永氏の家傳を緯として

互に全精魂　を傾倒して鍛刀に精進すること前後二ケ年、この間數百口の日本刀を鍛へ上げたが、それらは陸軍省、偕行社などにおいて數十回の嚴密な實驗の結果素晴らしい出來榮だと折紙をつけられた、而して明一氏は會心の二口を完成するや急死したため右二口を令弟の遺作として一ケ月半前慶篤氏の許に贈り屆けられたが今回の獻上品はそのうちの一口である、市役所より研ぎや鞘、裝等の

謹製を委囑　された滿洲刀劍會においては內藤四郎氏夫妻を初め無上の光榮に感激、齋戒沐浴して萬端の準備に精進した結果四日總て滯りなく出來上り大連神社にて祓式を執行のうへ同社に安置されたが朴の白鞘、滿洲產の總欅箱もすがすがしく、內袋は大連神社御內殿にて使用された紅白綸子の幣帛もて謹製され外袋は滿洲產の紫の模樣緞子に

鶯茶の袋緒　が添へられてゐる、一方研ぎは刀劍會の附屬研師鈴木虹堂氏が六月一日の吉日を選び丹誠を籠めて四日午前まで研ぎすましたが、細身の刀身二尺二寸五分、直刀に近く灼といひ匂といひ申分がないといはれてゐる（寫眞は大連神社の祓式）

虎の毛皮十尺

滿鐵では秩父御名代宮殿下へ虎の毛皮を獻上する事に決定を見たが長さ一丈に達する見事なものださ

政黨主義の政友會

"總裁"を首班に推さぬ

不思議なる政獲運動

【東京特電四日發】政局の急迫と次期政權の混迷に對し政友會首腦部の觀測は某事件の轉回はもはや政府の責任を免れざることは明瞭となり近く高橋藏相が進退を明らかにする、これとともに現內閣は總辭職の外ない、次期政權は平沼樞府副議長落第以來絶望となり、宇垣氏は軍部方面の根強き反對に依り出現困難、清浦伯は今更出る意思がなく、結局憲政常道に依る內閣が實現することが當然であると然し政友會內でも反鈴木派、中立派等は政權が鈴木總裁に大命降下するものとは觀測されず寧ろそれを期待し希望してゐる有樣で、かゝる黨內の不統制は元老重臣方面の政局歸趨を見る上に政友會に取りて非常に不利益となつてゐる、而も鈴木氏に政權が來ない場合は黨內は鈴木排斥運動が熾烈となること明らかで今より內部の抗爭の深刻化が豫想される、なほ黨內多數の意向は清浦伯を奏薦し床次氏を副總理格で入閣せしめその後の政權を狙ひ鈴木氏を排斥せんとする一者が多い

民政黨も總裁を置いてけぼり

多數は宇垣氏を推す

【東京四日發國通】民政黨では政黨內閣の出現はこの際所詮不可能なりと諦め又政友會との聯立內閣運動にも何等の關心を拂つてゐない、只最も注目すべきは民政黨と從來關係淺からぬ宇垣總督の擁立運動で民政黨の首腦部が擧げて宇垣氏を援助してゐる、尤も民政黨では始め宇垣內閣の實現は確實なりとしてゐたがその後の軍部關係等よりして幾分懸念が出て來たので一部では第二段の策として清浦伯を推さんとする運動も行はれてゐるのも事實で但し目下のところ宇垣氏擁立運動が民政黨の主流となつてゐる

木戸侯西園寺公に重要報告

【東京特電四日發】宮內省宗秩寮總裁、內大臣秘書官長木戸幸一侯は四日午前西園寺公を興津に訪問し一時間餘にわたり重要報告をなし辭去、歸京したが牧野內大臣の意を含み、政局の情勢に關し報告したものと見らる、歸京した木戸侯は語る

政變不可避といはれるが、必ずしもさうではあるまい、政局は恰度生き物のやうなもので、始めから生死をきめてかゝるわけに行かぬ、勿論人心がどうあらうかといふことは愼重に考慮せねばならぬ、また政變について軍部の意向といふが軍部はあれでは惡いとかこれではいかぬとか云はぬだらう、もつとも今度の坂野少將問題のやうなこともあるから宇垣總督が上京するとか直ぐ何か飛び出すからさうとばかり云へない點もあるだらう

柴田前翰長首相訪問

【東京四日發國通】柴田前內閣書記官長は四日午前十時半齋藤首相を官邸に訪問時局切迫について種々意見の交換を行ひ更に十一名の勅選補充に關し進言するところあり午餐を共にして辭去した

漁業紛爭防止五項目提案

ソ聯側よりは未回答

【東京特電四日發】モスクワ來電によれば毎年漁業期に際しソ聯官憲と我漁船との間に大小の紛爭を惹起し日ソ關係を惡化せしむるので我政府は豫て紛爭を未然に防ぎ又事件發生に際し迅速に解決する方法に關し五項目に亘る提案をなしてゐたが今回ソ聯當局から對案の提示あり未だ意見の一致を見ないが引續き交渉繼續の筈である

長岡代表歡迎

【バタビヤ三日發國通】長岡全權は三日上陸後總領事館に入り午後五時から在留邦人の歡迎晩餐會に臨み四日午前總督訪問、到着の挨拶をなし正午日蘭代表午餐會を催し初顔合せをなし蘭印側では五日正式歡迎會を開く豫定である、その後事務打合をなし既報の如く十日頃本格的折衝開始の見込みである

稅關分關設置

【新京特電四日發】財政部は豫て密輸入を取締り公正な貿易を保護すべく稅關網を完備すべく計畫中だつたが稅關官制第十六條により左記各地に分關を設置するに決定四日附公表した

一、大連稅關區域　旅順、莊河、大孤山
一、ハルビン稅關區域　滿洲里、綏芬河、同江、黑河
一、安東稅關區域　臨江
一、營口稅關區域　奉天
一、龍井村稅關區域　開山屯
一、圖們稅關區域　琿春
一、承德稅關區域　古北口、赤峰、凌源、平泉
一、山海關稅關區域　西海口

本紙夕刊共十六頁

社說

東郷元帥の國葬を輓す

故元帥海軍大將從一位大勳位功一級東郷侯爵薨去の後、時は流れて早くも初七日に達し、愈々本日を以て靈骸を多摩の淨域に埋葬することゝなつた。畏くも今上陛下、その生前の偉勳を追賞して國葬の禮を賜ひ、天使誄を奉じて親しく彰悼の聖意を傳ふ。皇恩無量、元帥死して餘榮ありといふべし。吾人亦た涙を新たにして遙に元臣に對する追悼の情に堪へぬ。

◇

古來英雄豪傑の傳記を概觀すれば、事と人との動靜は最も密接な關係を有する。卽ち英雄は時代を生み、時代は英雄を造るの語、東西その揆を一にする。この意味に於て故元帥の時代は日本が曾て見た最も絢爛陸離たる世運であつた。明治の大御代は上に不世出の聖主を奉戴し、下に名將賢輔の輩出して、皇謨の進運に貢獻したもの多かつたが、就中最も重大な事蹟は三十七八年戰役であり、その事蹟中の最も緊要なる活動は日本海々戰であつた。旅順の包圍、奉天の攻略、孰れ劣らぬ鬪場爭劇であつたが、國家の精鋭を盡して相搏逐した對馬海戰は、この大役の死命を制するに於て最後の止めを刺した出來事であつた。

◇

之れ恰も十九世紀初頭の奈翁戰爭時に方り、ウオトルローの一戰が英佛の輸贏を決し、兼て歐洲の風雲を戡定したと同樣、バルチツク艦隊の覆滅は、軈て東洋の運命を收攬し、延いて世界大にその影響を擴充した。之固より明治大帝の叡智乾德、赫々として光輝を煥發させ給ふた爲であるが、而も亦た東郷元帥の勇決果敢、能く全艦隊の威力を發揮させた爲でもある。切言すれば日本海々戰てふ千載の大事故は、英雄東郷元帥の英器を益々明確に内外に知らしめたものだ。

◇

唯夫れ東郷元帥の眞價は、その非常時に於けると常時に於けるとを問はず、終始一貫して國民の師表になつた所にある。昔から偉人の一生は太陽の如く、その日出時と日沒時とに於いて特に萬人に仰止せしめるといひ、更に亂世の英雄淸平の奸臣などの語もある。卽ち非常時の大人物は必ずしも常時の偉材でないとの意だが、故東郷元帥の如きは總ての時と事とを一貫してその聲譽を失はなかつた。それは畢竟元帥の純誠愿愨なるその性に出て、事と處とを論ぜずして自然に發露したからだ。

◇

今や滔々たる世風、動もすれば物力を濫信して精神力を輕視し、辯口の淋漓たるものあつて却つて甚だしく實行に吝である。忠誠を人に強ひ、目前の事功を之れ爭ふ。而も退いてその私を見れば強悍巧介、以て他を承服するに足るもの頗ぶる稀だ。之に反して故元帥の一生は總てが忠實、總てが謙讓であつた。偉勳秀蹟も深く緘默して語らず、而も一たび善しとする所は果敢邁進して遺す所ない。常時念とする所は義勇奉公に在り樸實忠信、之く處として包擁風化せざるはなかつた。所謂大きく叩けば大きく響き、小さく觸るれば小さく響く。そこに紛々時流と異なる眞英雄の面目が生動した。

◇

かくの如きは故元帥が英傑として驚天動地の大勳を奏し、兼て一武人として國民上下に敬重された所以である。故元帥の進退は生前に於ても、死後に於ても、一として賢愚老少の採つて以て模範とすべからざるものはない。これ所謂人逝くと雖も而も永くその蹟を後昆に諷歎さるゝもの。今や國葬の盛儀を具へて柩車の轆轆たるべきを思ひ、吾人は遙かに無量の感慨を表するの情に堪へない。

陸軍豫算減ぜず 明年は空軍充實
白兵一本槍は過去の夢

【東京三日發國通】我陸軍の裝備は列強に比し歷史的に劣惡で今日まで日淸、日露兩戰役に赫々たる皇軍の威武を輝かした事は大和魂の發露に外ならぬといはれてゐるが、從來の如く肉彈戰一點張りで列強に迫る事が不可能視されるに至つたので陸軍中央部でも本年度から空軍の充實を圖る事になつたこのためには既に來年度豫算編成期に直面してゐるので航空本部、陸軍省、參謀本部各方面協力具體的方法を考究中であるが勿論我が財政の現狀を充分考慮するが我が空軍の劣勢は爭はれぬ事實である以上、相當大なる充實計畫となることは止むを得ざるべく當局が如何に苦慮するとも來年度に於ける陸軍總豫算額は本年度に比し減額不可能と見られてゐる

防空警備演習 海軍省發表

【東京四日發國通】海軍省發表によれば來る七月下旬阪神方面を中心として陸海兩面の防空警備演習が行はれるが、これと同時に我海軍では軍需工業動員演習の一部を實施し一旦緩急の場合に應ずる各部の整備情況を調査すると共に官民一般の連絡協調を圖ることゝなつた

米新航空母艦

【東京特電四日發】某所着報によれば米國新航空母艦レーンジヤン號の艤裝完成し三日就役せしめることになつた、レージヤン號は一萬三千八百噸で飛行機七十二機を登載する性能を有し米國最初の航空母艦である

草間採金會社副理事長

【新京特電四日發】滿洲採金會社副理事長草間秀雄氏同專務理事小菅常三郎氏は四日午前十一時皇帝陛下に謁見を賜はり、優渥なる御言葉を賜はつて同十一時半退下した

嚬税輕減 國務院會議

【新京特電四日發】第十四次國務院會議に上程の議案は左の如くである

一、嚬税に關する法規の統一整理と税率低下の件
二、大同二年度第二準備金の件(極東關係)

臨濟宗の軍隊慰問使

名古屋市德源寺の長綱義龍師は臨濟宗大本山妙心寺より在滿軍隊慰問使として四日來連した、旅順戰蹟參拜慰靈の後北上の筈、北滿にては關東軍司令部附軍政部顧問の河崎恩郎中佐が、かねて德源寺道場に參禪した緣故により師の嚮導を爲す由

撫遠縣の仙境

【ハルビン特電四日發】松花江下流撫遠縣から來哈した藤吉參事官の土產話

烏蘇里河に近く撫遠縣下にある大平鎭に仙境ともいふべき珍らしい鮮人部落がある、戶數約五十戶は全村民眞面目なクリスチヤンで粗末な敎會があり、年一回ハルビンから英人宣敎師が來る、滿人からは神の使徒とあがめられ保護されてゐる、阿片、煙草、酒は一切作らず米、麥、大豆を作り味噌、醬油を副業に造つて地方人に賣出してゐる、鮮人共產黨員が入込むと滿人と協力して排斥し滿洲國に對しては絕對の信賴を寄せてゐる、昨年江防艦隊砲艦二隻が烏蘇里に遡行した時は全村民泣いて喜んだ程だ、村政は完全な自治に依り紛爭を起したことのない珍しい模範村である

滿鐵重役會議 參事技師登格

滿鐵重役會議は四日午前十一時より午後に引續き行はれたが林、八田正副總裁始め各理事出席の下に社員の參事、技師登格査定に就き協議を行ひ同四時過ぎ終つた、今回の參事、技師登格は今春の定員内において行はれるもので有資格者の傍系會社轉出その他の原因による缺員を補充する程度で數日中決裁を得發表される筈、なほ東京支社と巴里事務所の職制人事に就いては當日の會議においては附議決定をみなかつた

滿洲國船射擊事件で 逆襲的警告を寄す
ソ聯側より共同調査を提議

【モスクワ四日發國通】滿洲國政府は黑龍江岸ソ聯國境警備隊が先月數次に亙り滿洲國汽船を狙擊せる事件につき最近ソ聯政府に抗議を發したが、ソ政府はハルビン滿洲國外交部代表を通じて滿洲國政府に左の如き嚴重なる反駁的警告書を提出した旨三日夜公表した

ソ聯の國境警備隊は滿洲汽船を狙擊したのでなく警告のため單に汽船の煙突の上空に向ひ射擊したに過ぎぬ、紀賢號に二名の死傷者を出したのは偶々滿洲國側沿岸から匪賊が發砲したのである、國際法に依れば國境警備隊は警告が顧みられざる時は狙擊する權利を有するが、ソ聯政府は平和のため事件の眞相を調査すべき委員會の任命を提議する、尙ほソ聯政府は最近滿洲國汽船三隻が組織的にソ聯國境地點を撮影する不法行爲に出た結果國境警備隊との間に不祥事を起した事を遺憾とする、かゝる行爲は隣接國間の關係を害するもの故互ひに不祥事の再發せぬやう注意せねばならぬ、ソ聯政府は國境警備隊に對し將來かゝる場合に銃器を使用せぬ樣命令したが、滿洲國政府も自國汽船に對しソヴエートの法律を侵害せぬ樣訓令されん事を切望す

滿洲國當局怒る

【ハルビン特電四日發】アムールに於ける滿洲國船舶不法射擊事件に關しさきに施外交部代表は口頭をもつて嚴重抗議し蘇聯側の調査を要求したがこれに對し蘇聯當局の態度は不誠意を極め四日ドロビンスキー副領事を派遣し回答せしめたがその内容は蘇聯警備兵は警告のため空砲を發したものだとて射擊の事實を否定し紀賢號に死傷者を生じたのは恐らく滿洲國から馬賊が射つたのだらうと述べ滿洲國當局を激昂せしめた、滿洲國政府はこの無誠意極まる蘇聯の態度に憤慨し重ねて嚴重抗議する模樣である

發砲は非違 ユ大使外相會談

【東京四日發國通】ユレニエフ大使は本日午前十一時外務省に廣田外相を訪問、會談四時間午後三時辭去したがこの會談で蘇側は留換算爭交涉を日本政府の希望に從ひモスクワにて開催する事を承諾した、廣田外相は北鐵交涉問題に就き蘇聯政府よりその後讓步の訓電ありしかを確めたところ蘇側は未着と答へ今度は滿洲國側が讓步すべきだと主張した、廣田外相は之に對し何れにしても近いうちに滿洲國側と會議を開いて話を進めるやう蘇側に促した、次いで蘇滿國境に於ける發砲事件に就き廣田外相より蘇聯側の注意を喚起し、蘇聯側は頻と事情を述べ辯明に努めたが廣田外相は滿洲國の船舶が蘇聯の領水を侵さぬ事、寫眞を撮影せぬ事を滿洲國に注意するやう依賴した、之に對し廣田外相は蘇聯側は國境の何處を撮影していけないか決まつてゐるか、如何やうに領水を通つてはいけないか明確な據り所あるのかと質問したが蘇聯側は答へるところがなかつた、廣田外相はいづれにしても發砲は直に人命の損傷を來すものであるから如何なる場合にも發砲だけは蘇聯側に非違があるのだと重ねて蘇聯側の反省を促した

周水子擴張 夜間飛行にも備へて

周水子飛行場は豫て場内狹隘であり且つ要塞地帶内にある關係から飛行高度の制限もあるため種々危險を感ずるとして旅順要塞司令部に善後處置を請願して居り先頃中根副官は二日間に亙り實地において飛行機に搭乘詳細に亙り國防上の見地から調査を行つたが今夏の防空演習に際し要塞司令部ではいよ／＼飛行場を擴張することゝなつたが工事は關東廳の積極的援助の下に近々着工されることゝ決定したが地域は現在より三萬餘坪を增大し大型飛行機の離着陸も充分可能となるが更に擴張工事と倂行し將來の夜間飛行のため夜間離着陸その他に必要なる諸設備も整へることゝなつたがこれには滿電當局が非常な意氣込みで乘り出して居り同飛行場は近く國際都市大連の空の玄關として誇るべき設備を有する飛行場としてデヴューすることゝならう

上野博士昨日 虻退治に北上

滿鐵々道建設局では三日上野博士の來連と共に局長室に佐藤局長、田邊次長以下各課長參集、上野博士を中心に「虻退治」の評定を開いたがこの結果上野博士は工事課菅技術員を案内役に四日午前九時發の急行で龍鎭に向つた、博士は龍鎭で石村ハルビン建設事務所長と落合ひ北黑線の實地を檢分のうへ六月中旬一先づ歸連するが、その調査の結果によつていよ／＼具體的虻退治策を立てることになつてゐる

電報賴信紙の改正案を求む 電々會社懸賞で

滿洲電信電話會社では從來使用して來つた和文電報賴信紙樣式に取扱上不便な點や非能率的な點はなかつたかあれば公衆が十分滿足するやう改めたいから改正案を示してほしい、場合によつては具體案でなくとも不便非能率的な點を指摘して貰ふだけでもよいといふので左の要領によつて懸賞募集をなすことになつた

▲用紙 寸法日本標準規程、A列五號、縱二一〇ミリ、橫一四八ミリ、但し切取るべき紙片がつく場合は本寸法以外とす
▲宛名 大連市大山通八〇番地電々會社規格統一委員會
▲締切 七月十五日
▲發表 八月十五日電々會社々報
▲賞金 一等一名百圓、二等一名五十圓、三等一名二十圓、四等十名各萬年筆一本

防空知識 (5)

一般市民に對し 發せられる警報
こんな方法で知らす

警報

敵機が我が關東州を目標にして空襲しつゝあるといふことは我々關東州に住む者は何人か問はず晝夜とも豫め知つてゐなければ燈火管制を行ふなど完全な消極防空に當ることは出來ない、また敵機が關東州から退却した場合も成るだけ早く確實に一般住民に安全になつたこと(解除といふ)を知らせれば住民が迷惑するであらう

◇

さて大連市防護團の警報班はどんなことをするかと云へば、空襲警報並に防護警報を傳達し併せて燈火管制の實施を監督するものであつて、その編成、業務は左の如くなつてをり、班員は全員防護面をつけることになつてゐる

▲本部 各係の指揮統制及び外部との連絡に任ず
▲警報係 地區內關係官公吏を援助して警報の傳達普及に任ず(地區の大小、傳達機關の種類を考慮して一地區內に數組を編成し各組の要員は通常、長以下數名とし外に交代要員を準備す)
▲燈火管制係 地區內關係官公吏及び電氣業者を援助して燈火管制實施の普及徹底に任ず(編成は概ね警報係に準ず)

◇

どんな風に警報されるかといへば、空襲警報においては左の通りであつて我々關東州住民は悉く、が如何なる方法で傳はつても意味を豫め充分呑み込んでおき直に命令に從はねばならぬ

●警戒燈火管制警報
▲サイレン ブー(十五秒)と續けて十五秒間鳴らす
▲警鐘 ジヤン、ジヤン……と二分間打つ
▲交番 掲示を出す
▲ラヂオ 「只今關東州警戒管制警報が發せられました」と放送す

●非常燈火管制警報
▲サイレン ブー(十秒)ブー(十秒)……と十回鳴らす
▲警鐘 ジヤン／＼……と續けさまに二分間打つ
▲交番 掲示を出す
▲ラヂオ 「只今關東州に非常管制警報が發せられました」と放送す
▲電燈點滅 消す(二秒)點ける(三秒)點ける消すと三回以上點滅する
▲無線電信 船舶に傳へる

●解除
▲サイレン ブーと續けて一分間鳴らす
▲警鐘 ジヤン(五秒)ジヤン(五秒)とゆる／＼二分間鳴らす
▲ラヂオ 「只今關東州の警報が解除されました」と放送す、夜は「今から警戒管制の狀態に戾して下さい」と附加へる
▲電燈 變電所で一齊に消した電燈をつける
▲無線電信 船舶に傳へる

なほ警報班員が口頭で觸れる時には〃空襲〃と略して觸れ、警報を解く時には「警報解除」と云ひ夜間は更に「今より警戒管制」と附加へる、また水上生活者に對する空襲警報の傳達は極めて困難であるから豫め煙花、烽火等一般に目視通信によることも考へておかればなるまい

◇

次に防護警報は官民に對し防護の實施を要求するものにして火災に對するものとガスに對するものとあるが空襲に際し防護各班は火災に對し監視を嚴重にしてゐるから火災に對しては特に警報を發しないのを通常とするが、ガスに對する防護警報は通常小型サイレン、太鼓、空罐、拍子木、小笛、旗、燈火、テープ等で之を表示する、海上における防護警報は火災又はガス災害を受けた船舶自らが通常汽笛(火災)ドラ(ガス)を以て表示することになつてゐる、而して防護警報の解除は口傳による、最後に燈火管制實施の監督は燈火管制の實施をして迅速確實ならしむるため豫め地區內住民に對し管制實施の方法、手段並に警報規定を普及徹底せしむると共に管制施設をなして狀況に適合せしめんとするものである(寫眞はカムフラージユした通信班)

大觀小觀

東郷元帥の國葬に、外國儀仗兵の參列する者、英、米、佛、支、伊の五國で、將校十名、水兵二百名▲元帥の勳績德望の然らしむる所であるがこれによりても我國力伸張の大なるを見る▲忠誠なる元帥の靈、最も滿足する所であらう▲ハバロフスクで非常演習をやつたら、民衆が日軍の進攻と誤認して大騷動、火藥庫まで爆發させた▲水鳥の羽音に驚いた以上のあわてかた、平生戰爭を宣傳してゐた崇り▲宣傳も、よい加減になすべきを思ひ知つたであらう▲歐米列國相競ひて飛行機を支那に賣り込む、商賣上の事ではあるが、支那の空軍充實には日本も無關心なる能はざるは當然▲山東主席韓復榘氏の南京行、南京內政部長黃紹雄氏の香港廣東行、關聯するものではないが、夫々の意味に於て注意さるる▲支那國民黨中央執行委員會が、孔子降誕の八月二十七日を國祭日と爲す事を決議した▲左傾國民黨の優勢だつた時、儒敎排斥が最も激烈だつたが、最近は右傾的になつたのだ▲本來の東洋思想を捨てゝはならぬことを覺さつて來たので、滿洲國獨立が大きな刺戟を與へた結果たるは爭はれない。

八相 (投書歡迎 五十行以內)

道路の撒水 D・K生

◇近頃の樣に日射の強い時に日中いくら撒水しても三十分たゝぬ內に乾いて仕舞ひそれこそ燒石に水だ。
◇市民としては朝と夕方うんと撒水してもらひ度い、どうせかう乾燥し風が吹く日中は多少ほこりのするのは止むを得ないが朝仕事を始める時と一日の勞働の後夕方の散步位はすが／＼しい氣分を味ひ度い、殊に緊縮を叫ぶこの頃の夕つくづくさう考へる撒水丈は勤務時間などといはず市民にサービスして貰ひたい。
◇傅家庄行きの馬鐵が今年より撤去され、その代りに滿電バスが運轉してゐるがその爲沿道住民の迷惑こそお察しする、原始的の道路は土ほこりが一寸位積つてゐて一度バスが通ると砂塵濛々、風のない時は十分位消えない、吹きつけられたら目も眞白だ、折角の郊外住宅もなんにもならない、滿電も市もなんとか考へないものか知ら、歎願書を待つまでもなく。

市營住宅の修繕 一居住者

◇近頃市社會課は貸家拂底のためか小修繕に就て非常に不親切になつたと思はれます、抑々釘一本の修繕と雖も建物の體裁上は勿論のこと命數にも大きな影響の有るものではないか、然るに此の頃の修理は修繕道を沒却したやり方の樣だ。
◇其れに其の態度に於て全く不親切で非常識も甚だしい、尙晝間何處の家も其の殆ど婦人の方が多いと思ひますが、今少し親切丁寧に御願ひしないと良い加減でやられては市自身もまた建物自體も大きな御損ではないかと思ふ、社會課の猛省を促す次第です。

忠靈塔建設基金(本社寄託) 寄附者芳名(六月四日夕刻迄の分)

▲金五十圓也 北安鎭福昌公司出張所一同
▲金三十圓也 大連伏見町奧山光茂
▲金二十六圓七十錢也 大連汽船甘井子丸一同
▲金二十圓也 熊岳城婦人會員一同
▲金十圓也 大正小學校谷澤美津子 同紀代子
▲金五圓也 大連奧町鑫華樓楊竹香、同松林町興懸東叢魂五、同奧町永源利李隆棠、愛宕町永利王傑章、同山縣通山本錢莊王益軒
▲金二圓也 大連楓町 奧村妙子
▲金二圓也 大連伏見臺小林先三
計 百四十五圓七十錢
累計 一萬四千六百九十一圓四十四錢

うらる丸船客

【門司特電四日發】六日大連入港のうらる丸主なる乘客左の如し

滿洲國官吏高橋康順、坂田純雄、松根東洋城、撫順炭販賣會社員江川忠一、農牧場經營赤羽雄、貿易商渡邊昇吾、禮立來治、寫眞印刷業橋本基、佐藤濱四郎、德泰公司重役濱野榮一、浦島喜久康、滿洲國敎育視察團二十四名(歸國)

●●●貴院議員歡迎會●●● 大連市民合同の貴族院議員一行歡迎會は七日午後七時ヤマトホテルにて開催、出席希望者は會費四圓五十錢を添へ市役所總務課に申込まれたいと

關東廳辭令(四日)

從六位 茶谷 茂
敍勳六等授瑞寶章
關東廳屬 田原 常雄
依願免本官

人事

▲菱刈隆氏(關東長官)四日午後七時三十分着はとにて來連
▲篠原時三郎氏(關東長官秘書官)同上
▲遠藤柳作氏(滿洲國國務院總務廳長)同上ヤマトホテル
▲竹內德亥氏(滿洲國民政部總務司長)同上ヤマトホテル
▲秋山義隆氏(關東軍參謀陸軍中佐)同上
▲田中正一氏(滿洲國外交部庶務科長)同上
▲三毛一夫氏(…隊司令官陸軍少將)同上遼東ホテル
▲小野寺章氏(政友會代議士)四日午後九時發新京へ

市況(四日)

株式 株式ヂリ安

內地新東日產共ヂリ安商狀を入れ當市五品新豆保合なるも新東六十錢安日產寄四五十錢安引はバイカイにて十錢高他株は概れ見送つた

後場 ◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	二五二	二五五
中	—	—
引	—	—

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	—

◇賣取引

銘柄	大引
代行	三〇九
化學工業	三二五
土木企業	一七一

特產 豆油强含 品薄を眺め

後場大豆は仕手薄に弱保合閑散を示し豆粕も人氣なく保合、豆油は買氣なく不申概して閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四十九車

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千枚

▲豆油(强含)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱
▲高粱 出來不申
▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)

品名	寄付	大引
混保大豆(袋込)	三七三〇	三七〇〇
大豆(裸物)	—	—
普通大豆(袋込)	三六〇〇	三六〇〇
大豆(裸物)	—	—
豆粕	一七五	一七五
豆油	九四〇	九四〇
高粱	出來不申	—
包米	出來不申	—

出來高 混保大豆四十車、普通大豆十車、豆粕六千枚、豆油六百箱

錢鈔 鈔票保合

後場材料薄で氣乘薄く閑散裡の保合であつた

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	一一一〇	一一一〇	一一〇九	一一一〇

出來高 期近四十二萬圓

◇現物後場(單位錢)

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金二十萬二千圓 銀對洋八萬一千圓)

商品 奧地市況

商品後場 出來不申

品名	限月	寄	引
▲奉天奉票對金票	現物	五、七〇〇	五七〇〇
▲奉天國幣對金票	現物	一〇五、九五	一〇六、〇〇
	先限	九四、三〇	九四、三〇
▲奉天國幣對鈔票	現物	一〇四、四〇	一〇四、五〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇六、〇〇	一〇六、〇〇
▲哈爾濱國幣對金票	現物	一〇六、一二	一〇六、一二
▲安東鎭平銀	當限	一、五一〇	—
	先限	一、五一一	—
▲哈爾濱大豆	六月	五七二五	五七〇〇
	七月	五八〇〇	五八〇〇
	八月	五八七五	五八七五
	九月	五九七五	五九〇〇
▲哈爾濱小麥	六月	一、三一〇〇	一、三一〇〇
	七月	一、三〇〇〇	一、三〇五〇
	八月	一、二八二五	一、二八二五
	九月	一、一八〇〇	一、一八二五

市場電報

大阪株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
大株	一一八五〇	一一八六〇
大新	一一九〇〇	一一八八〇
鐘紡	一三四五〇	一三四三〇
鐘新	一二八五〇	一二九〇〇
日糖	—	—
郵船	—	—
滿鐵	—	—
滿新	—	—
東株	—	—
東新	一六八〇〇	一六七九〇

大阪株式(短期)

銘柄	寄値	引値	高値	安値
大新	一一七二〇	一一六九〇	一一七三〇	一一六八〇
東新	一六五六〇	一六六〇〇	一六六二〇	一六五四〇
鐘紡	一二七五〇	一二七七〇	一二八五〇	一二七四〇
日產	一三一九〇	一三一九〇	一三二二〇	一三一七〇
帝人	七三六〇	七三八〇	七四二〇	七三六〇
滿鐵	六六五〇	六六四〇	六六五〇	六六四〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一五五二〇	一五五一〇
東新	一六八四〇	一六八〇〇
五品當	—	—
中	—	—
先	—	—
豆新當	—	—
中	—	—
先	二四四〇	二四二〇

東京株式(短期)

銘柄	寄値	引値	高値	安値
東新	一六六〇〇	一六六〇〇	一六六一〇	一六五五〇
鐘新	一二七九〇	一二八〇〇	一二八〇〇	一二七五〇
日產	一三一九〇	一三二二〇	一三二四〇	一三一五〇
滿鐵新	六六五〇	六六五〇	六六五〇	六六五〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
當限	二五三九	二五三八
中限	二五七七	二五七八
先限	二五八九	二五九〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	二三四三〇	二三五九〇
七月	二三二七〇	二三二八〇
八月	二二七一〇	二二七五〇
九月	二二三六〇	二二五四〇
十月	二二〇九〇	二一九八〇
十一月	二〇七〇〇	二〇八四〇
十二月	二〇七〇〇	二〇七三〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
六月	五一六〇〇	五二〇〇〇
七月	五二〇〇〇	五一九〇〇
八月	四九〇〇〇	四九〇〇〇
九月	五一九〇〇	五二〇〇〇
十月	五一七〇〇	五二〇〇〇
十一月	五一八〇〇	五一九〇〇

神戶特產

品名	値
大豆現物	五二〇〇
先物	四二〇〇
豆粕現物	一四七
先物	三〇〇
滿洲小麥	四六〇

兩國關係を象徴して 日滿の二人三脚

各地の大典慶祝運動會

本溪湖　數日來の條々たる雨も朝來より名殘りなく晴れ渡り碧空の下王道滿洲國曠古の大典を慶祝すべく日滿各層に及ぶ廣範圍なる慶祝大典本溪湖大運動會は三日午前八時半より適度の濕りと青葉の香ひとに惠まれつゝ本溪湖神社山運動場に於いて盛大に擧行された

この日の參加團體は日本側に於いては守備隊、工業實習所、日本小學校、日新普通學校滿洲側は師中校を始め縣街各小學校、第一區及び第六區代表校、警官練習所等總數無慮四千名に及んだ外、更に日滿一般觀覽者は萬を超えて本溪湖始まつて以來の空前絶後の人出を示し天然のスタンドたる神社山一帶は文字通り人の山と化し一大壯觀を呈した

競技は日滿合同のラヂオ體操に始まり各校とも半月餘に亙る練習の結果は遺憾なく各演技にいかされて剩す所なく、トラックにフイールドにスピードとリズムの交錯はげに例年を通じて本溪湖運動界の一大豪華版たるに背かなかつた、就中諸競技中最も微笑ましかつたのは日滿兩國學生の協力、協同により二人三脚、綱引き、リレー等であつて、眞の意味における日滿童心のスポーツ親善が萬餘の觀衆の前に示されたことであつた

又滿人側各會對抗競技走幅跳百四百、八百リレーでは普蘭店會一〇點を獲得して優勝、獎學會長盃、商務會長盃を前年に引續き獲得した、次點は正明寺會快馬廠會の各七點、三十里堡會五點、石河驛會、鳳鳴島會各四點林家屯會三點等であつた

縣下から觀衆殺到 初夏の繪卷を展開

蓋平縣の慶祝運動會

蓋平　日滿民融和と國民體育思想向上の目的をも兼ね新帝陛下御大典慶祝記念の大運動會が縣下一齊に行はれた、此の日會場たる蓋平公共體育場にては昨日の雨中に設備係りの整へたる萬端の設備は完備し西側に慶祝大運動會の大文字を揭げたる入場門、楕圓形の大グラウンドの中央高く滿洲國旗を揭げ八方に張られたる萬國旗は今日ぞ晴れ渡つた大空に翩翻として飜へる、南側中央の講演臺兩側には日滿大國旗揭揚準備成りその南面一帶が中央會長席これより左右に特別來賓席、男女來賓席、男女師中學校、小學校等縣立、區立、各村立の順に全周圍に控所は設けられ一般觀衆席又黑山の如く縣下各村より集まりたる觀衆潮の如く開會定刻午前九時半、日本小學校、公學校以下二校、滿人側縣立中學校三校以下三十五校約四五千名の男女生徒兒童入場、鳴砲、國旗揭揚（此間奏樂）恭讀總裁訓詞（毛呂參事官）開會致詞かくて撮影を終りて縣第八、縣一育英等次から次への運動競技、殊に新式瑞典式柔軟操の如き、徒手操、亞鈴操等こゝ數年前に比し其の體育の進步の跡著しきこと雲泥の感ありかくて十二種の各校各童子團の運動競技滯りなく盛會裡午後三時過終了した

各地の盛況

海城　海城における御大典記念大運動會は三日午前十時四十分より〇〇隊練兵場で擧行された、運動參加人員は日滿學生軍人四千七百餘名に達し五十餘種の競技はトラック、フイルドを併行して進め午後四時十分に終了した、當日は前日の大雨で運動場のコンデイシヨンが不良であつたため定刻より約二時間遲れたが早朝よりの曇天で漸次回復し絶好の運動日和となつて觀客も次第に數を增し極めて盛會であつた

熊岳城　熊岳城における日滿聯合慶祝大典大運動會も同日午前八時より市內旗行列、續いて大運動會場たる守備隊練兵場內に入場、鳴爆、國旗揭揚等いとも嚴肅なる中に行はれ、李會長の開會の辭に草野副會長の訓辭あり、午前九時演技に移つた、熊岳城にても南九寨より山巓、海岸方面に至る二十數校、童子團、郵政、商務會等これに日本小學校、公學校、實習所等其數千に及び觀衆亦附近村落より馬車を驅つて出掛け非常の盛況であつた

芦家屯　縣下芦家屯にても第二區各校より成る大運動會が鐵道西附屬地外廣場に於て行はれ午前八時より午後まで引續き日滿融合を表徵し盛なる大典慶祝の各競技が行はれた

普蘭店　滿洲帝國祝賀日滿官民聯合大運動會は普蘭店教化聯盟主催にて三日午前八時より公學堂運動場にて開催、午前十九種目午後十七種目の各競技を終へ午後四時兩帝國の萬歲を三唱して散會したが、當日は各部局對抗リレー居住民會側の假裝等特に優れて人目をひいた

討匪功勞隊に表彰金

【奉天】奉天省治安維持會では昨年來省下匪團の一掃を目的とする匪首射殺並に逮捕による功勞表彰法を設けて討伐隊を激勵殲滅に努めてゐたが昨年十二月以來本年三月末までには匪首仁義軍外三十名を殲滅して居り治安維持會ではこの程討伐隊に對し最高百圓から最低十圓までの表彰金をそれぞれ授與した

愛婦鞍山支部 創立發會式

二日鞍中講堂で擧行

【鞍山】愛國婦人會鞍山支部の創立發會式は二日午後二時より鞍中講堂に於て擧行、この日折惡しき夜來の降雨にもめげず地元會員三百餘名の出席あり滿洲本部よりも日下內務局長、安永地方課長、中西滿鐵地方部長、神守同庶務課長、多田同地方課長、各夫人夫々本部役員として遠路參列、鞍山有志多數の臨席あり

定刻振鈴を合圖一同式場に着席し副支部長坂元良子夫人の開會辭、君ケ代合唱に次いで日下夫人の皇后陛下令旨捧讀、中西夫人の總裁宮殿下諭旨捧讀あり續いて支部長森靜枝夫人式辭を朗讀、かくて祝辭、祝電披露に移り、森所長、酒井守備隊長諸氏の祝辭並びに本野會長より寄せられたる「鞍山支部の發會を祝し將來の盛運を祈る」外菱刈長官、林總裁その他各地よりの祝電を披露し森支部長の發聲にて愛國婦人會の萬歲を三唱盛會裡に同三時半閉式した

尙ほ旅大方面より參列の夫人等は式後昭和製鋼所を見學、午後六時十五分發列車にて湯崗子衛戍病院を見舞ひ對翠閣に於ける森夫人のお茶の會に臨み同夜十一時發列車で南下した

▲鞍山支部標語

一、忠愛の誠を致し謙讓の美德を養ひませう
一、四海同胞の幸福の爲めに働きませう
一、議論より實踐して婦人報國を致しませう
一、協同の念を養ひ平和を愛護致しませう

鄧鐵梅に復讐 親の仇、兄の仇

少年の願望遂に空し

【奉天】親の仇、兄の仇必ず復讐してやる――と日本刀と拳銃を以て家をとび出した少年開原居住大津正光（一九）は鄧鐵梅の首を取り得ず奉天の知人の許をたより更に二日午後一時彼の叔父にあたる市內紅梅町八番地大津爲松氏宅に飄然歸つて來た處を開原署よりの手配により奉天署員が取押へ保護を加へたが彼は係官から

そんな無謀のことをするものではない、復讐しようたつて一人で拳銃や日本刀を所持してゐてもどうすることも出來るものではない、復讐は軍隊の方でやつて呉れるから

と懇々とさとされるとどうやら落付いた樣子で

もう致しません、私は以前ひどい神經衰弱にかゝつた事がありそれからその賊をにくんでも足りないやうになつて……

とわびてゐたが結局叔父が責任を以て監視することゝなり身柄を引取つて歸宅した

發育上感心しない 乳兒が可なり多い

奉天の審査後赤澤博士語る

【奉天】子供自慢の健康審査委員會で百九十三名中六名の乳兒が最優良兒として決定表彰する事となつたが審查委員赤澤博士は語る

子供自慢のお體の持主で全體として立派な成績であつた、たゞ其の內には家庭の人には氣づかない極く輕い病氣例へば胸廓に異狀あるものがあり殊にハリソン氏溝が一體に多く約半數もあつた、その外佝僂病、漏斗胸も少數あつた、それから乳兒の體質異狀卽ち滲出性體質この最優良兒に決定したものは頭部の周圍が日本の乳兒標準を超え病的變化ないもので頭部の標準よりも超えてゐるが胸部の周圍が少さく、ために頭部の周圍と胸部の周圍の差の大きいものが可なりあつた、今日審查した乳兒は生後三ケ月乃至十二ケ月のもので一體に頭部の周圍が大きく胸部の周圍の小さいのが普通であるが胸部が小さすぎるのは感心しない、しかし恐るべき病氣としては別にないがさうした家庭人の氣づかない乳兒の病はたとへ輕度のものであつても將來發育上に色々惡影響を及ぼすので家庭人殊に母親としては大いに注意しなければならぬ事である、この意味で小兒科としても

毎月　第一日曜（一般人に判りやすく患者を診察しないゆつくり健康の相談に應ずるためこの日曜を選ぶ）乳幼兒の健康診斷又はその相談に無料で應じてゐるがかうした特設の相談所を大いに利用して貰ひたい事、それから乳兒は出來るだけ外に出す事が家庭の人としては極めて必要である、判らない病氣も早く發見し治療すれば健全に育つ譯で乳兒のある母親は殊に注意して貰ひたい

大宮小學校 校旗奉戴式

【鞍山】昨秋十月開校した大宮小學校では大連本社から校旗が送つて來たので南部校長以下職員生徒これを驛に迎へたが、同校では四日午前八時二十分より講堂に於て奉戴式を擧行、校旗入場、最敬禮、學校長訓示、旗手、護衛呼名會等ありて退場それより一同校旗を先頭に神社に參詣して奉告祭を行ひ記念撮影をなした

旗手志崎不二夫、副同岡本高彥 護衛阿部武、川崎敏朗、下田英雄、梶川貞二

南部五縣中等校陸上競技

【海城】滿洲國奉天省南部五縣中等學校第一回陸上競技大會は海城門外省立第三師範學校運動場に於いて三十日午前八時開始された新興帝國の溌剌たる意氣に燃ゆる若人等は折柄の細雨も厭はず競技を進めた三十一日は快晴に惠まれて絶好なコンデションに意氣揚々豫定の通り午後三時十五分終了したが成績は

1省立第三師範學校 2海城中學校 3岫巖中學校 4營口水產學校 5蓋平中學校 6復縣中學校 7營口中學校

の順になつたがバスケットは復縣チームが優勝しバレーは第三師範チームが優勝した

▲百米第三師範一二秒▲二百米第三師範二五秒八▲四百米岫巖中學五七秒八▲八百米第三師範二分一六秒八▲千五百米第三師範四分一七秒四▲五千米第三師範一八分一秒▲四百米リレー第三師範五〇秒六▲千六百米リレー第三師範四分▲走高跳第三師範一米五八▲棒高跳海城中學二米九〇▲走幅跳第三師範五米五四▲三段跳第三師範一一米三八▲砲丸投第三師範一二米五五▲圓盤投第三師範三二米五八▲槍投復縣中學三七米九六

車夫を裝うて竊盜の見張

奉天で怪滿人捕はる

【奉天】三日午前零時頃市內淺間町三番地先で燈火を消して客待ち合せ中の怪しい洋車夫を警戒中の奉天署劉德巡捕が發見し誰何するや彼は矢庭に逃走を企てたので直に追跡逮捕したが、右は河北省生れ工業區保安堡居住洋車夫楊川良（二五）と稱し車夫を裝ひ他の一名と共謀し楊は客待合せを裝うて外部の見張りをなし他の一名は內部に侵入竊盜を働いてゐたもので本署に引致し取調中であるが餘罪多數ある見込みである

が、全滿鮮人の有力者六十餘名が新京の普通學校で會議を開き次の各項を決議した

一、滿洲國の賦税に義務を盡す事
二、滿洲國人の慣習を尊重する事
三、滿洲國の國慶日には日滿兩國の國旗を揭揚する事
四、土地商租及び水利問題に對しては協和の精神を重んずる事
五、鮮滿の結婚を獎勵する事
六、滿洲語を勉强する事

◇

大連では街からラヂオを擊退しようとしてゐる今日此頃、靜幽の都吉林では今方にラヂオの黃金時代、河南街の如きは晝夜分たず[illegible]ばもう一千戸に達してゐると

◇

法を前にし愼重以て職に當るといふ滿洲國新任法制局長大達茂雄氏赴任途上の談話は滿洲國官民にもういゝ響きを與へてゐる、法三章で治めたい

◇

奉天省臨江縣の吳志學といふ青年巡査はかれて戀仲の娘さんと正式に婚談を進めると娘さんの兩親から禮金二百六十圓その他衣裳及び裝身具等を要求して來たので懸命になつて友人から借集めた金が二百圓

已むなく何んとかしてくれるだらうとの豫期の下に娘さんに會つて苦衷を訴へたところこの要求は一文もまかりませんと意外な返答にすつかり悲觀し數日前鴉片を呑んで自殺した、賣買結婚の哀話

◇

馬占山氏の令息で天津居住の馬奎氏夫人は數日前高樓より飛込自殺をなした、原因は夫の虐待

◇

ソウエートの對蒙赤化はいよいよ露骨となり、內蒙青年共產黨の極左派は內蒙併合を唱へ同じ共產黨でも民族自決派はこれに反對して內蒙獨立運動を起さんとし內蒙自治の中心人物たる德王を擁し內蒙自治の新政府におけるこの兩派の對峙は遠からず一大波瀾を捲き起す模樣

尋常五年の少年

本社防空標語に見事當選

奉天の佐藤芳郎君

【奉天】本社募集の防空標語に見事二等に當選した榮譽の人、市內藤浪町四十番地佐藤芳郎君宅を訪れこの報を齎すと當選者は意外にも美少年で平安小學校の五年生であるのには驚かされたが、芳郎君も眞が喜びに包み切れず

僕の標語が二等に當選したつて？ほんとかしら、全く偶然だもの――

とキリ、とした眼元に笑をたゝへ怜悧さうな顔はとても少年とは思はれぬ、芳郎君の嚴父森三郎氏は航空會社に勤務してゐる關係上飛行機については大人以上の興味をもち勉强のひまには自ら之を研究してゐるほどで殊に防空については最も國家的に重大事であることをも自覺めて現在關東州內で近く防空演習を擧行するのに少年には珍しい深く注意して見てゐる一人である、只一人の子供であるだけ兩親の躾もよく稀に見る明晰な頭腦の持主で小學校の成績も極めて良好であるが東京から同氏宅に同居してゐる叔父の森見氏は語る

芳郎も航空方面には非常に熱心で昨冬までには大連の下藤小學校に通つてゐた關係上、關東州內の防空演習には非常に興味を持ち御社で防空標語を募集されると早速之に應募し色々標語を作つて私に見せたので當選するかどうか判らないが兎に角提出して見たらよからうといつた譯で出して見たのです、子供のくせに當選するとは全く偶然といふより外はなく、芳郎の熱心が幾分か報いられたのによるものであらうと考へてゐます（寫眞は芳郎君）

興城溫泉中心に 一大遊園地建設

總局で先づ應急施設

【奉天】鐵路總局旅客課では滿洲開發及び旅客吸收の意味から沿線名勝地の紹介及び特定割引等を盛んに行つてゐるが新しい行樂地奉山線興城の溫泉を中心に一大遊覽地を計畫、五十萬圓三ケ年計畫を以て溫泉を中心に驛よりバス道路の完成街路樹の植付、背後首山の植林、海岸に諸設備を行ふ等一帶を大連星ケ浦以上の遊園地とする意嚮である

これがため本年度は先づ約二萬圓を投じて應急設備をなし秋頃には第一次の完成を見る筈で一般に大々的宣傳を行ふ筈である尙興城が地理的に邊陬の地ではあるが奉天との間にスピードアップが行はるれば五時間餘で行くことが出來國線唯一の溫泉地として海、山共そなへた滿洲隨一の遊園地としての將來が期待されて居る、只其の利用者層が何處に在るかゞ興味を呼んで居る

のので目下身許照會中である、尙彼の娘が奉天某局に勤務する男の妻となつてゐるといふ事であるが目下その方も調査中である

露人路警に牛

總局三十三頭を配給

【奉天】薄給を割いて日本での災害に義捐金を送るなどうるはしい國際愛をしめしてゐる國線路警の白系露人の生活を潤すべく鐵路總局では優秀な牛四十頭を與へ勤務の餘暇樂しますべく既に卅三頭は一日總局に到着直に各地に配給されたが日人從事員にも牧畜に對する知識を養はしめその指導的任務をも負はせそして共存の道をも開かうといふのであるが滿洲に適はしい企てゞある

總局事務助手

【奉天】鐵路總局では中等學校出身者より採用の事務員助手について三日午前九時より應募者三十六名に對して採用試驗をなした

モヒ患者行倒

【奉天】三日午前八時頃宮島町二十番地先に乞食風の四十歲位の露人の行倒れあるを發見屆出により奉天署から係官が現場に赴き檢視をなしたがモヒ患者の行倒れと判明又同朝彌生町四番地の街路上にも滿人乞食風男の死體あるを通行人が發見屆出に係官が檢視をなしたがこれもモヒ患者の行倒れで何れも衛生係に引渡した

"滿洲皇帝に拜謁 光榮に感激"

貴院視察團一行着奉

【奉天】裏松友光子爵を團長とする貴族院議員滿鮮視察團一行八名は（一名は新京）三日午後八時三十五分チチハルより來奉、直にヤマトホテルに向つたが裏松子爵は一行を代表して語る

新京には三日ばかり滯在して各方面の人々に逢つた、殊に二十九日には皇帝陛下に拜謁し其の上更に握手を各人が賜り有難きお言葉を賜つたので私は之に御答へ申し上げたこれが終ると又々硬い握手を賜つて何んとも云はれぬ感に打たれた、北鮮の三港はそれぞれ特長を持つてゐるから何れが最良であるとは一概に云へないが規模の點に於いては羅津が最大である、又清津は工業都市の港として發展するだらう、間島方面は既に治安の維持に可なり成功してゐる、今後益々發展するだらう、チ、ハルでは軍隊や官憲が第一線に立つて目ざましい活動をしてゐるので非常に力强さを感じ感謝の念に打たれた、黑龍江における露國側の發砲事件に就てはまだ詳しい事を知らぬので何んともいへない、政局について種々噂されてゐるが高橋藏相は時が時だから一事務官の問題位では辭職しまいと信じてゐる、それ故に齋藤內閣は依然續くものと思ふ從つて宇垣內閣の實現は不成功となるだらう（寫眞は奉天驛着の一行）

水で床板を腐らし 强盜犯人脫獄

五名は間もなく捕はる

【撫順】撫順第十五監獄を脫走した犯人は王殿寶、尹濤臣、閻英超、陳德盛、鄒立昌、于琛、裁建志の七名で昨年八月奉天から移管された懲役七年十五年の刑期にある重大强盜犯人ばかりであるが彼等は既に一週間ほど前より脫獄を計畫し、床板に水をこぼして腐らし先づ釘で床板を破つてより監房北側の煉瓦壁を破壞し煙突下より脫出で屋根傳ひに逃走せんとしたところを折から監視中の劉獄吏がこれを發見し威嚇的に發砲を行ひ、急を警務局に告げ直に警務局警察隊並に千金寨警察署に於て非常召集を行ひ全市に非常線を張つた結果閻英超は第七分署の手によつて千金寨銀行街で脫獄後三十分にして捕はれついで新楊柏堡方面に逃走の陳德盛、裁建志、于琛の三名を午前一時撫順警察署員が逮捕、鄒立昌は千金寨市中に潛伏中を午前二時逮捕、計五名は脫獄後間もなく逮捕するに至つたが王尹の兩名は南方に逃走したまゝ未だに逮捕されない

昨日迄の模範店員 酒ゆゑに劇藥自殺

精勵廿年の過去淋し

【奉天】克己精勵二十年よく店を興し名をなした邦人店員が酒のために身を持ち崩し親兄弟から顧みられず自活の道も絶えて遂に劇藥自殺を圖つたといふ哀話――市內木曾町八番地浪速印刷所吹田善三方に「けふはご厄介になります」と三日朝來た五十餘りの邦人男が同印刷所の二階で休んでゐるうちに劇藥自殺を企て苦悶中を同日午後四時頃家人が發見して大騷ぎとなり屆出により奉天署から松尾警部補等が現場に赴き取調べをなすと共に滿鐵醫師によつて應急手當を加へたがこの男は濃硫酸を多量に嚥下してゐるため咽喉から食道にかけ腐蝕したゞれて居り手のつけやうもない有樣で同日夜まで生命覺束ない慘狀を呈してゐた

彼は住所不定無職太田朝治（五六）と稱し探聞する處によると彼は大連大山通り小林又七商店に於て二十餘年杖とも柱ともなり主家のため獻身的努力をさゝげ來て同商店のためには多年の功勞者であるが酒に身を誤り一昨年より向ふ一ケ年間同商店から五十圓づゝの功勞手當金を受ける程であつた、その補助も絶えて金の收入がなくなつた彼は酒の中毒にかゝり一刻もなくてはならぬ酒も飲めなくなり兄弟や子供から殆ど見はなされるといふ哀れな身の上となり一ケ月前から大連、奉天を往復し職を求めてゐたが一週間前突然前記浪速印刷所の厄介となつて熱河へ行くと稱し出て行つた處が三日午前十時飄然歸つて來りけふは休ませて下さいと云ふので二階に休ませた處この始末になつたもので遺書もなく遺留品により彼の實弟が岡山にゐる事が判つた

電車に轢かる

【撫順】三日午後四時十五分頃和歌山縣人會の歸途、萬達屋採炭所勤務員從辨七（五三）は萬達屋電車踏切に於て疾走中の電車に觸れ轢死した

ひともめして 役員を改選

四平街市民會總會

【四平街】四平街市民協會定時總會は豫報の如く去る二日午後七時より公會堂において開催された出席者二十二名、委任狀四十二通を見て規定半數以上に達したるより鶴見會長代理より開會を宣し前年度の事業、庶務報告より收支決算並に本年度の豫算等異議なく可決次で日滿商工聯合會加盟につき報告あり何の支障を醸さず會議は順序に從つて進行動議に入る

柱常任議員の提議で鶴見會長代理が辭退せんとする答辭に耳を藉さばこそ壓倒的に鶴見氏を正式會長に推し擧げたので止むなく同氏は正式會長に就任、平岡書記常任議員の會費滯納を指摘山添顧問、鶴見會長等一應會長より注意を促して後にすべきことを主張するも一向聞き入る樣なく役員の改選期であるから是非改選に附して議員の顏觸れを更新して貰ひたいと主張して滿場狂ひ立つた

それに動かされて本秋まで重任することにした決議を撤回して遂に改選に附した結果左の如く決定

一九票竹本二丸君、一八票木藤品次郎君、一八票木口軍芳君、一八票伊藤新八君、一八票田中佐重郎君、一七票佐藤龜記君、一七票菊地國治君、一七票竹村石次郎君、一七票木村富吉君、一七票池田耕君、一六票島村喜久馬君、一六票桂警三君、一六票櫻井敎輔君、一五票山口成淳君、一五票石川直吉君、一五票坂本直吉君、一二票和田庄太郎君、一一票沼川猪之助君、一一票菅野高治君、八票中川軍四郎君▲次點者七票飯塚庭之助君、六票楠木茂助君

かくて遂に喧擾なりし議場は解[illegible]に歸し近く評議員會を開き常任議員を互選する筈であるが散會に先ち平岡書記は最も懇懃に辭任挨拶を述べた

バスと衝突

【鞍山】市內北二條六七昭和製鋼所工作課勤務田中松三郎氏（五四）は三日午前六時五十分頃オートバイを飛ばして出動の途中舊事務所午前のガード下に差懸るや製鋼所白バスがカーブを切つて疾走し來りアワヤと云ふ間にこれと正面衝突、オートバイは左へ田中氏は右へ投げ出されて兩足をバスに轢かれたが、不思議に骨折等のこともなく左大腿部に打撲裂傷、右下肢擦過傷全治二週間の輕傷を受けたのみで大事なかつたと

南滿瓦斯鞍山支店建築

【鞍山】南滿瓦斯鞍山支店は當地の膨脹につれ需要家數も著增して前途隆々たる發展を期待されてゐるが、大事な支店事務所が鐵西の不便な所では營業上不便も多く又刻下の鞍山支店としては到底現在の儘では許されぬので今回新に支店及び宿舍を建築することゝなり敷地物色中であつたがいよいよ北四條現兒童小遊園地に建設することに決定鞍山不動產會社に於て準備中である

撫順庭球大會

【撫順】撫順體育協會主催の春季庭球大會は三日午前八時半より撫順南臺コートに於て開催され龍鳳發電所古城子等のチームが好成績をあげた

東鄕主人

【鞍山】元第二區長東鄕藥店主東鄕清一氏夫人ツル氏は永らく病氣靜養中のところ三日午前零時半長逝、葬儀は五日午後四時半自宅出棺葬齋場に於て執行の筈

家庭

限りなき哀悼
半國旗を掲げ謹愼しませう
けふ故元帥の國葬儀

九千萬同胞の悲歎と全世界の哀惜のうちに薨去した故東郷元帥の國葬儀は、本日日比谷公園でいと嚴かに擧げられますが、吾々滿洲にある同胞も謹愼の態度を以て半國旗を掲げ遙かに哀悼の意を表さればなりません。尚本五日午後二時から大連中央公園内滿倶グラウンドで市主催の〃東郷元帥追悼祭〃が催される筈です。

半國旗掲揚法
かうするのが正しい方法

半國旗（半擧ともいふ）といふのは竿の頂（球）と旗の上縁との間を國旗のやうに密着させずに、旗の縦幅の二分の一の間隔を取つて揚げるのです。學校、官署、大建築の屋上などにあるやうな常設の旗竿でしたらその竿の中間に揚げてもかまひません、半擧の場合には球は黒布で包むか取去るかして、國旗と反對に家に向つて左方に揭げるのが正しい揭揚法なのです。

【圖は正しい半國旗の揭げ方】

秩父宮殿下 奉拜者心得
是非お守り下さい

秩父宮殿下にはいよいよ明六日大連御上陸の御豫定と承りますが、當日殿下を奉迎しやうとする市民は必ず左の奉拜者心得を守られたいとのことです。

一、不體裁にわたらぬ服裝をすること

二、ステッキ類を携帶しないこと、雨天の外は傘を持たぬこと、婦人のパラソルや日傘も遠慮されたい

三、一般奉迎者は警察官の指圖に從つて一定の場所に集合し整列すること

四、殿下が御通過遊ばされる際は脱帽して敬禮すること

五、酒に醉つぱらつたり、騒動をしたりして御通行をおさわがせ申さぬこと

六、屋上、階上、車馬の上、坂塀、柵、樹木の上など高い所から奉拜しないこと

七、他人に迷惑をかけるやうな物品を持つたり、犬を連れたりして奉迎せぬこと

八、御沿道で犬を飼つてゐる者は當日特に犬を嚴重に繫ぐか出られないやうにしておくこと

九、沿道奉拜者は小旗を打振つたり萬歳を奉唱することは遠慮されたい

十、沿道居住者は窓を閉鎖して階下に下り、奉拜したい者は戸口からのぞいたり家の前に立つたりしないで一般奉拜者の列に加つて奉拜すること

十一、特に其筋の許可を受けた者以外は寫眞や活動寫眞の撮影をしないこと、從つて寫眞機を携帶しないこと

婦聯の奉迎

秩父御差遣宮殿下の大連御上陸は六日と決定しましたので、當日大連婦人團體聯合會では會員約一千名が白衿紋付の正裝で奉迎申上るさうです。

風雅な
折細工風呂敷

◇…日の本の、昔懷しい國風手藝の一つに折紙細工があります。有職故實に源を發した雅びな折紙細工をそのまゝ贈答品として最も用途のひろい風呂敷に應用した「折細工風呂敷」です。

◇…引寄せてたゝめば御慶事、金銀婚式の重ね扇、高砂の尉と姥、お節句の雛や冑、喜の字や賀の祝の海老、さては法要の蓮華など總て形の上によくその趣を表現し、解けば優美な風呂敷になるといふ重寶なものです。不二纖維入一圓六十錢（三越調べ）

神明高女が 高射砲獻納
生徒の淨財で

防空週間が近づいて市内各中等學校ではそれぞれ生徒の手によつて防空獻金の企てがあるやうです。神明高女では生徒等の赤誠を何かの形あるものにして獻じたいといふので近く一千六百圓の豫算で高射砲一門を獻納することになりました。事變以來同校生徒が或はその學用品やお小遣を節約し或は國旗や玩具、クリーム等を拵へそれを賣つて集めた金額は既に六千數百圓に上り、この中から國防獻金、軍隊慰問等に五千餘圓を費し現在殘つてゐる淨財が一千圓餘ありますので、不足額は今年一杯までの節約獻金によつて埋めることにして一先づ高射砲をといふことになつたのです。

光明婦人會
三日發會式擧行

家屯方面に住む婦人たちの親睦を計り併せて各自の家庭生活や社會的活動に便ならしめやうといふ目的で今度新に光明婦人會なるものが生れ三日午後零時半から桔梗技藝女學校講堂で、盛んな發會式が擧げられ第一回役員として左の七夫人が選ばれました

▲會長増田大連汽船專務夫人▲副會長田村滿洲ドック專務夫人▲顧問大槻根行商組合長夫人▲顧問大槻博士夫人、岸本赤十字病院長夫人、高塚市會議員夫人、芦刈市會議員夫人

スポーツ用語辭典（一）

スラッガー（野球）物凄い力強い當りの球を打ち飛ばす打者のことをいふ

スランプ（全競）如何なる競技者も長い間には或期間中不思議に成績が惡くなる、これをスランプに陷つたといふ

スローイング（蹴球）ボールをタッチ・ラインから出した時ボールを競技狀態に戻す方法で外に出たボールに最後に觸れた者の反對側のものがタッチ・ラインに直角に立ち兩足をタッチ・ラインの上におき競技場に面して投げ入れる

防空家庭教科書 第四課
僅かに廿分の餘裕
滿洲電信電話會社總裁 山内靜夫氏談

恐慌の損害 都市が空襲を受けた實例は、ヨーロッパ戰爭においてロンドン、パリでありませう、これらの街は高層建築でありまして、アメリカのやうではありませんけれども、六、七階位は普通でありますので、空襲の當初は各階の家族が非常口へ逃げ出したりするために恰度京都の停車場で起つたやうな大恐慌が起り、又家庭の人がやたらに外へ逃げ出して、地下停車場の入口だとか、大きな地下室の入口に向つて殺到したために空襲そのものから受けた損害よりも、この恐慌のために起つた怪我人、死人が非常に多かつたのです、そこで何回もにがい經驗をなめた後に都市が防護團を開いて、その指導をするやうになりだんだん訓練されましたから終ひにはさういふことが無くなりました、主要な家庭では入口等に棚を置いたり、鐵板で窓を塞いだりして破片の飛込むのを防いだりした寫眞をあちらで能く見ました。

安全地帶は 爆彈が高層の建物に當りますと、屋根から各階の床を突拔けて下の方に參りますから、これは爆彈の大きさに依つて何處迄通るかといふことが決るのですから、何處に居つたら一番安全かといふことは一寸申しかねますが、まあ下程安全だらうと思ひます、殊に將來の建築においてこのことを考へて地下室を成るべく廣くして地下室の上のコンクリートの厚さを十分に厚くしたらいゝだらうと、土木學者や、建築學者が研究して居るのであります、パリでも、ロンドンでも山の手の方面では地下鐵がありまして、可成りの廣場の停車場もありますし中には數十呎の地下に在るところもありますから、さういふところは靜かに逃げ込みさへすれば臨分…

…濠山の人が收容されるのであります、ロンドンやパリで空襲の際をやるのに色々苦心したやうです。

警報と準備 今日の技術では敵襲三、四十分前に知らせられないといふと、敵襲に對する飛行機や高射砲の準備が出來ないのです、一時間に百粁飛ぶ飛行機が飛んで來るとすると、警報してから飛行機が現れる迄一時間かかない、そこで四十分準備に…

化學の五發見

アイオワ大學化學部の教授エドワード・バートウ教授は近代の化學的發見として人類の福祉に最も貢獻したものとして次の五つを擧げてゐる

○人絹製法の發見
○原油から石油を分解精製する方法の發見
○人工冷凍法の發見
○糖尿病患者に有効な特効藥インスラン（動物の膵臟から抽出したもの）の發見
○手術として肝臟を抽出する方法の發見

學藝
文藝時評（一）
大宅壯一

一、純文藝の發狂

川端康成氏の「作家と作品」と題する感想（中央公論）は「文藝復興」といふ合言葉によつて鼓舞されたかの如く見える近頃の純文藝の動向を知る上に、甚だ興味のあるものである。

川端氏によると、一般性のもつとも缺如した作家として、極めて特殊な存在と見なされてゐる瀧井孝作氏と内田百間氏とは、現文壇における「最高の作家」といふ讃め言葉を「安心して用ひられる」作家なのである。これと反對に、川端氏は作家的内包の廣くかつ豐な點では、純文學派中稀に見る谷崎潤一郎氏に對し「かれて尊敬しるとすれば、なかなかの痛みである」のだ。

それから更に川端氏は、この人たちに「もし作家としての幸福がありとすれば、それは童話であつて」昔から童話だといはれてゐる武者小路實篤氏の作品はもちろんのこと、問題の林房雄氏の「青年」にしても、徹頭徹尾童話だといつてゐる。宇野浩二氏のものもやはりさうで、彼の「作品の一つの特長は、好人物の多いことで」その點では、横光利一氏の代表作「寢園」や「紋章」も、やはり同じである。この見方をもつてすると、いはゆる「文藝復興」を代表するすぐれた作家のすべては、童話作家であり、その代表的な「傑作」は、ことごとく童話だといふことになる。

もちろん私は、この「童話」といふ言葉の意味を通俗的に低く解釋して、川端氏及び氏の推奬おくあたはざる一群の「童話作家」たちを傷つけようとする意志は、毛頭ない。或る意味において、藝術をして藝術たらしむるものは常識への反逆にあるのだから、すべての藝術が童話性を帶びてゐるといへるであらう。この場合の「童話」といふ意味は、常識的習性と半俗性の支配から完全に脱却したところの、哲學上のいはゆる「純粹經驗」に近いもので「童話」といふ言葉が、或る程度適切にそれをいひ表してゐることはいふまでもない。

だが、藝術は、文學は、それだけでいゝものだらうか。常識と卑俗を排するために、一切の普遍性から離脱することが「純文藝」の「純」なる所以であらうか。特殊性の病的な追求「驚きに似た驚怖」は、結局つひに「狂氣」にまで到達すべきものではなからうか。

川端氏はこれを「既に怪異や神秘の領域を越えた、一種の無氣味な恐怖、半ば狂氣への共感」といふ言葉で表現してゐる。

つまり「狂氣」に到達して初めて「純文藝」はゴール・インしたといへるのである。

では、瀧井氏や内田氏は、作家として何故そんなに素晴らしいかといふに、この二人が十年一日の如く「よくまあ寂しくもなく同じことばかりやつてゐられるものだ」といふ、驚きに似た恐れ」からきてゐるのである。その故にこそ、死んだ芥川龍之介氏でさへ「作家として瀧井、内田の二氏に到底及びもつかぬ點があつたのである。その自らを知るところから、二氏に對する芥川氏の賞讚が生れてゐたこの作家のつまらなさにあきれて、夢のさめたしらじらしさ」を感じたといふのである。谷崎氏の「尨大な作品集の中で、私が傑作と見たものは「子供の王國」ただ一篇しかなかつた」といふのだ。

新刊紹介

◇拓務評論（六月號）峰岸清之氏の「日滿ブロックの進展」をはじめ滿洲國係會社の解剖等滿洲關係の記事を滿載（發行所東京澁谷區千駄ケ谷二丁目其社、價五十錢）

◇國際パンフレット通信（世界日誌第六十輯）發行所東京市麴町區有樂町二丁目タイムス通信社、價廿五錢

◇東邦經濟（六月號）發行所東京市麴區内幸町一ノ三其社、價卅錢

◇教育時論（五月廿五日號）明治十八年創刊の古い歴史を有する同誌は本號を以て廢刊することゝなつたが發刊以來五十年に亘る同誌のわが教育界に竭した貢獻は多大である（發行所東京市麴町九段四丁目開發社、價十八錢）

◇愛知の貿易（六月號）發行所愛知縣廳商工課内愛知輸出協會、價十五錢

◇日本講演通信（五月廿五日號）本號は北昤吉氏の「強力内閣と新政治經濟機構」を掲げてゐる（發行所東京市赤坂區青山高樹町一二ノ一其社、價二十錢）

◇上海（五月二十日號）上旬下旬號を合併した滿洲事情紹介號である（發行所上海海寧路三〇〇號上海雜誌社、價八十仙）

◇東方之國（六月號）發行所東京麻布區笄町其社、價三十錢

◇金曜會パンフレット（第百二十號）發行所上海黃浦灘路上海日本商工會議所内其會

滿日柳壇
夏服
編輯局選

夏の服妻と思へぬ姿なり　綏化　熊岡　狂夢

未だ濟まぬ夏服へ見る汗の跡　錦州　小笠　白峰

夏の服去年の折目を見せて出る　普蘭店　河本登志緒

夏服になつて子供は家にゐず　大連　上河邊よし坊

夏の服夜店半値にねぎられる　奉天　岡田　初郎

夏服の月賦も延べる無駄遣ひ　大連　尾道九十八

俄か雨白いズボンを皆泣かせ　山海關　南家　忍子

熱帶の寫眞夏服ぬいで立ち　撫順　松浦　蝶古

夏服も用意しておく旅に立ち　山海關　吉田　甲子

夏痩せへ服の鈕もゆるくなり　同　上倉　都一

都から下車した客の夏の服　同　小黒三原女

個服は破れて夏の風もよし　同　高杉無智庵

夏服のボタンが合はぬ日がつゞき　大連　三谷　一伸

〇三才

（人）規定まだ夏服着れぬ暑氣へ立ち　山海關　松尾小女郎

（地）夏服となつて新入やつと慣れ　大連　寺山青々庵

（天）生活苦子をすかしてる夏の服　新京　山本　紅村

名畫物語【12】
アテンの學苑
ラファエロ作

南蠻彩船 (149)

鈴木氏亨作 布施長春書

渦紋(七)

「お放し下さい。お放し下さい」

世音太郎は、飽くまで出て行かうさしてゐる。

「夜も運う御座います。それにお疲勞も酷いやうです。明日になさいませ、明日に!」

「あの笛が無うては、拙者魂を失つたも同様、魂がなくなつては死人も同様で御座います。如何なることがあつても、あの笛だけは取り返して參らねばならぬ……」

聲が震へてゐる。

「でも、そのお體軀では、むざむざ代官手下の者に捕はれに行くやうなもので御座います。拙翁さても元は足利家に仕へ、弓矢取つての務めもいたしました者で御座います。先刻から貴方様の御様子を心中秘に檢察して居りましたが、何かの大望を抱く仁さ見受けました。話の筋に依つては、一臂の力を惜まぬものでも御座いませぬ。老人の言葉を容れて、今宵だけはおさゞまりなされては、いかゞで御座います?」

「しかし、愚圖々々してゐては……」

「それに、惡代官の一味が、如何なる密計を凝して居りまするか、迂濶に手出しは出來ませぬ」

「それさても……」

「餘計なことは申上げませぬ。おさゞまりなされ」

いつの間にか、五月野も心配さうに、前方に來て手を攤げて立ち閉がつてゐる。

「折角の御言葉に背くも本意でなく、では……」

世音太郎は斷念するさ、よろけるやうに元の座に坐つた。

五月野も彌陀王も元の席へ歸つた。

「紛失された笛さやら、それにこの箟措、何か深い秘密がなくてはならぬさ考へられますが、御差支なければ、われ〳〵に打明けて下さらぬか、誓つて他言はいたしませぬ」

「大事の生命をお助け下された恩人、申上げねでは御座いませぬが壁に耳ありさか申す譬も御座りまする」

「それならば、要鎮のためわが家の周圍を一廻りして參りませう」

彌陀王は、そゝくさ土間へ下りるさ、入口の戸を開けて戸外の闇へ消えた。

一陣の疾風が、まりのやうに跳り込んで、ガタビシさせた。

風は、大分激しくなつたやうだ。

しばらくするさ、戸を閉めて錠を下し、元の座へ戻つて來た。

「御心配御無用にござりまする。この上御心配でもございますれば五月野を奥へやりまして、拙翁一人で承はるさいたしませう」

「いや、それにも及びませぬ」

「父上、わたしは姉上のさころへ參つて居りませう」

五月野は、遠慮らしくいつた。

「風が酷くなつて參つたから、行火に火でも入れてやつたらどうぢやな?」

「はい、さういたしませう」

五月野は、行火を持つて來て、榾火の大きいさころを火箸で挾んで入れるさ

「御免なさいませ」

さ、云つて立ち上りながら

「貴方様、お寒くは御座いませぬか、なんなら燗などいたしてもよろしう御座いますが……」

「いゝえ、それには及びませぬ」

「おゝ、さうぢや。それはわしがいたさう」

彌陀王は立つて行つて、銚子を取つてくるさ、爐の炭の上に火を搔き寄せて載せた。

「では、承まはらして下され」

日本棋院 春季大手合戰譜

先 四段 鈴木ひで子
二段 藤澤庫之助

制限時間各七時間(但し一分以内は切捨)

—【5】—

●八一にノ三(5分) ○八二ほノ四(5分)
●八五ほノ五 ○八六へノ五(7分)
●八九そノ十三 ○九〇にノ二
●九三へノ六 ○九四ほノ六
●九七ろノ二 ○九八はノ十七(8分)
●八三にノ五(8分) ○八四ほノ七(1分)
●八七かノ二(35分) ○八八つノ六
●九一はノ二 ○九二ほノ二
●九五さノ五 ○九六へノ四
●九九はノ十六 ○一〇〇に十七(3分)

所要時間累計 白五時廿九分 黒四時五十三分

對局者の言葉

(白)八十二、八十四など、かう兩方を打たうさするのは明らかに矛盾した方針ですがこゝに來てはこれより外にありません

(黒)八十七は保留すべきでした白八十八さ交換してしまつたゝめに、八十九さ補はざるを得ないやうになつたのは輕率です、八十九を怠るさ白(そ十二)黒八十九白(そ十)さカケツがれ(よ八)のキリさ(そ十四)のハサミツケさそれを見られるいや味がありますさうなつた時、白八十八がなければ第一白(つ八)さハネられる工合にも譜さの間にははつきり差があるので、こゝに想到しなかつたのは慚愧にたへません、八十七では九十二にハネ白(へ二)黒九十さツイでおくべきでした

(黒)九十三、九十五は打つておいて無駄はないやうに考へました

(白)百で(ろ十六)にハネても黒(ろ十五)白(ろ十八)黒(に十八)で矢張り現在何の味もなしに取られてゐます

戰の跡

◇黒八十七については對局者の言葉に明らかであるが、そればかりでなく、保留して置いても八十七の如きは早晩黒から打つ機會に惠まれたであらう事にも注意する◇白九十及び九十二さハネツグのさ、此處を黒から八十七の手でハネツグのさ、その差は實利に於いて小さくないのみならず、白六十八以下の根據に關しその六十八以下を黒はなほ攻める望みを持つ事が出來た、譜の如く白九十、九十二のハネツギを結局先手で打たれて終つたのは兎も角も大變であつた◇黒九十三、九十五は有つても白は九十の手で例へば九十三にヒイて此處を連絡して置くやうな事も打てまい

本社特選 新棋戰【其三】

香角交 角落番
七段 齋藤銀次郎
四段 梶一郎

【圖は四二玉迄の局面】

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	v香	v桂				v金	v角	v桂	v香
二		v飛		v銀	v金	v玉			
三	v歩		v歩	v歩			v銀	v歩	v歩
四					v歩	v歩	v歩		
五			歩	歩					
六				銀	歩				
七	歩		桂	金		歩	歩	歩	歩
八			玉					飛	
九	香		銀			金		桂	香

▲梶氏持駒 歩
△齋藤氏持駒 歩

△七六金 ▲三二玉
△八五歩 ▲六四歩
△同歩 ▲同角
△六七玉 ▲四二角
△八八飛 ▲八三歩
△八四歩 ▲同歩
△八五歩 ▲同歩
△同金 累計四十三手

土居八段講評

齋藤君が六七玉さ上つて八筋へ飛車を轉じ敵飛車を壓迫したのは巧妙、但し八四歩の仕掛けは、たやすく破れさうに見えて案外攻め筋が重い爲に非常に手數がかゝり、その間自己の玉頭に危險を及ぼす惧れがある、大駒落の局面だけに、烈しい戰ひをやめて敵を壓迫したまゝ形の惡い金、銀を活用の目的を以て六五歩、六三銀、五八金、七四歩同歩、同銀、七五歩、六三銀、五七金、四三金なら四六金さ繰り出して五筋の歩を交換し、而して七九の銀を五七へ繰り出し益々自玉を堅固にして敵の仕掛けを待つ處である。

萩原七段解説

齋藤氏の七六金は、六、七兩筋の位得を完全に保持する目的で、梶氏の三二玉は自玉の整備を圖つて、六、七筋の逆襲を窺ふものである、次の六四歩は六三銀の進出を試みる準備、齋藤氏の六七玉は譜の如く、次に八八飛さ廻り逆襲を含むものであるが、これを含みに殘して、一旦五八金さ上つて、次に五七金より四六金の捌きを窺ひ、然る後六七玉さ上つて八八飛の趣向に出る方が態度を鮮明にしないで面白い、梶氏の八三歩は苦しい手であるが、八四歩を防ぐ意味で止むを得ない、齋藤氏の八四歩は、次に八五歩さ打つて、敵の飛車頭を擊破せんさする意圖であるが、七九銀、四九金が遊び駒さなつて面白くないので、評の如く四九金の活用を圖るべきである。

ラヂオ

大連(JQAK 六五〇KC) 六月五日

午前の部

六・〇〇 ラヂオ體操
六・三〇 ラヂオ體操
七・二五(東京より) 葬送行進曲(ワグナー作曲)日本放送交響樂團
自八・二〇至一一・〇〇(東京より) 東郷元帥國葬實況=東京日比谷公園より中繼=

午後の部

一二・〇〇 時報
〇・〇五 ニュース
三・三〇 ニュース
六・〇〇 ニュース
五・〇〇 子供の時間
五・三〇 講演(滿語)
五・五五 氣象豫報、番組豫告(滿語)
六・〇〇 全國ニュース
自六・三〇至八・三〇未定
八・三〇 時報、全國ニュース
八・四五 ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇 國際放送(米國より)
九・二〇 同(英國より)

秩父宮殿下奉迎

六・三〇 (一)奉迎之辭、大連市長小川順之助(二)秩父宮殿下奉迎の辭、大連第一中學校五年富田辰彦(三)謹みて秩父宮殿下を御迎へし奉る、大連第二中學校五年小山昇(四)秩父宮殿下奉迎之辭、大連商業學校五年横地信(五)秩父宮殿下を迎へ奉りて、市立大連中學校一年加藤福男(六)秩父宮殿下を迎へ奉りて、大連市立實業學校三年加藤正行

▲東郷元帥國葬國際放送
八・五五(東京より)國内アナウンス
九・〇〇(アメリカより) 哀悼の辭(未定)
九・二〇(イギリスより) 哀悼の辭、海軍大臣サー・ボストン・アイリス・モンセル、通譯駐英日本大使館員
九・四〇 國内アナウンス

奉天(MTBY 八九〇KC)

午前の部

七・二五 葬送行進曲(ワグナー曲)
自八・二〇至一一・〇〇 東郷元帥國葬實況—東京日比谷國葬齋場より中繼—

午後の部

〇・三〇 ニュース
四・〇〇 宮廳其他公示事項、ニュース(滿語)
四・三〇 ニュース、番組豫告
四・五〇 ニュース(英語)

新京(MTCY 五七〇KC) 六月五日

午前の部

六・〇〇(東京より)ラヂオ體操
七・二五(東京より)葬送行進曲 ワグナー作曲(日本放送交響樂團)
自八・二〇至一一・〇〇(東京より) 東郷元帥國葬實況

午後の部

三・〇〇(東京より)ニュース
三・二〇(日滿兩語)ニュース
五・〇〇(東京より)子供の時間
五・五五 氣象豫報、プロ豫告(滿語)
六・〇〇(東京より)ニュース
六・三〇(東京より中繼)未定
八・三〇(東京より)時報、ニュース
八・四五 ニュース、氣象豫報、プロ豫告
▼國際放送
自九・一〇至九・二〇 米國より
自九・二〇至九・四〇 英吉利より

ラヂオ相談

大連の放送は何球位で聽取できるか

【問】一、普蘭店管内の電燈の利用不可能な爲め電池式受信機を購入したいさ思ひますが大連放送局の放送は何球位なれば受信できますか
二、受信出來得る程度に組立てた受信機は値段は幾何位ですか
三、受信機以外附屬品の種類等並に値段
四、電池は幾日位使用出來ますか
五、充電するには簡單に出來ますでせうか(普蘭店M・M生)

四球で良いでせう

【答】一、電池式受信機ですさ四球位で良いでせう
二、三、附屬品さも三、四十圓位です
四、經濟眞空管を使用した受信機で乾電池を電源さされた方が良いさ思ひます、乾電池ですさ四ケ月使用できます
五、蓄電池は電燈線が無いさ簡單に充電出來ません(電々會社係)

管内の電壓降下

【問】兩波整流球二八〇は管内電壓降下があるやうに承知して居りますがパワートランス交流出力三〇〇ボルツの場合球内では何ボルツ降下いたしますか(市内若狹町SY生)

整流電流で異なる

【答】整流電流によつて異なりますから一寸お答へし兼ねます(電々會社、係)

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規
一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名 大連市東公園町滿洲日報社内「ラヂオ相談係」

昭和九年五月
滿洲日報社

滿日案內

●三行一回　金壹圓貳拾錢
●被雇度　金九拾錢
●五行一回　金貳圓
●十行一回　金四圓
●十五行一回　金六圓
●二十行一回　金八圓
●姓名在社　金五拾錢增

電話は　三六九五　四四九一番

人事

有給 外務社員採用二十五歳以上努力家履歴書持參來談　大山通五八　日本生命

事務 員、通譯生募集履歴書携帶本人來談大連市惠比須町四六番ノ二辯護士法學士田崎昌亮

寫眞 技師二名至急入用修整專門にても可見本三枚送れ　四平街中央大街　安武寫眞館

店員 二三名募集廿四五歳位市內要保證人履歴書持參本人來談巴町二九鈴木酒店電九〇九九

店員 入用、十七、八歳迄本人來談　磐城町六七明治軒電三四四九番

洋服 裁斷製圖法研究作圖解說併お各種洋服型紙の發行　大連市美濃町二三　太田浩司

看護 婦及附添婦募集派遣多少宿舍完備　神明町三二愛國看護婦會　電話八六六四二番

女中 至急入用十八歳位より二十二三歳迄、紀伊町四六番地　滿洲アスベスト　伊能

女給 さん募集　信濃町電車停留所前　カフエー　ミカツキ

女給 數名募集　連鎖街ミスダイレン　電話六〇二一九番

女給 さん數名入用山縣通第二市場横電二一四〇九　大連亭支店

教授

英語 中學下級生に英語教ふ當方出張す(高商卒)　姓名在社

タイ ピスト英文邦、華文短期養成英邦文速記英語印書　近江町映樂館横電四三〇八英學會

邦文 タイピスト短期養成　大連市大山通　小林又七支店

ピア ノオルガン中古賣買修理調律荷造外一般　電話九七五三聖德街五丁目二三細井

邦文 タイピスト養成　午前・午後・夜間　山縣通　日本タイプライタ會社

習字 速成　三河町池內　電八六七五番

圍碁 有段者數名親切敎授會費月二圓席料廿錢、浪速町鈴木三階電話三五一九番大連棋院

貸家

貸間 あり四疊半　柳町　姓名在社

貸家 新京市內目抜きの場所飲食店カフエー向き希望の方は電二六三九番へ

旅館

簡易 御宿泊所、大連市監部通六番地敷島廣場電車停留場西四軒目　末廣館

一圓 トマリ、ベットの設備あり、大勉强は名古屋旅館　大連市吉野町六電六三一一番

圓宿 東京式簡易宿泊所御滯在並御多人數に便利　惠比須町一六〇西檢通り大進館

圓半 食付御家庭の延長として　ドウゾ大滿館へお越しを　大黑町一〇六　電二一〇五二

下宿

下宿 大連病院正門より北門へ寄つた二ツ目の道路より北へ角薩摩町九五　ホーム寮米村

賣買

古本 高價買入御報參上　市內但馬町二〇　文光堂

刀劍 研白鞘鍔付賣買自宅展覽　大連市磐城町五八　南海堂

讓店 の御用命は近江町十一映樂館左側上る斗丁左側　電二二六七二番　讓店案內社

蓄音 器レコード十五錢より大山通交番トナリ　ナニワ樂器店　電二二六一二番

古着 其他御不用品は他店より特別高價買受ます　ヨ儀町エビス屋電話二二五九五

フヨ 品書畫骨董高價買受　イワキ町　新古齋　電七四三五

葉布 團の專門は　三陽舍店　電三二七三番

賣邸 宅星ケ浦住宅別莊向延坪七十四坪、土地二百坪　姓名在社

ミシ ン賣金歯ダイヤ買入及擔保　聯通　天神町二八　女子商業前太洋社電二二三六一

ミシ ン高價買ます　常盤橋河島ミシン電話六六八四

電話と金融

電話 賣買金融は正直洋行に限る西廣場三河町入口星ケ浦電話九七〇〇番安價讓る電話

電話 至急讓受度、本人來談を乞ふ　攝津町三五　柴田工業隊

金融 一般商人に簡易御相談に應ず　丸大商會　電三五二五番呼

債券 勸業復興公債賣買並金融債券新聞參錢株式現物店　西通三五電話六六六三大連案內社

電話 賣買並に金融月賦販賣名義變更せずとも貸出　西通三五電話六六六三大連案內社

直ぐ 極秘親切低利御用立會社銀行員特便あり伊勢町一〇九雲水ホテル前佐藤電八五九〇

金融 信用貸動人の方極秘低利大口小口恩給小切手沙河口仲町四九松光社電話〇一六四番

貸金 ミシン頭御持參多額用立貸金圖衣類高買入天神町二八女子商業前渡邊電二二三六一

電話 の賣買は弊商會へ御利用願ひます(電三八九〇番)　西通九三　電話商會

短期 小口金融致します但し滿鐵社員に限る聖德街一ノ六四　電話九六三八番　互助舍

恩給 利安く最も長く立替　大連市飛驒町三東鐵橋前　永島

質 大々的貸出勉强名實共に紀の國屋質店　西公園町六九番地　電二一六〇四

食料品

牛乳 バター、クリーム　大連牛乳株式會社電四五三七番

牛乳 バタ、クリーム　アイスクリーム　滿洲牧場　電話六一三四番

雜件

自動 車オートバイ修理他店で出來ない事は是非當工場へ　雲井町一番地　ケイワイ商會

美術 塗裝、木目塗、自動車、オートバイ塗、燒付塗の御用は雲井町ケイワイ商會電架設中

不用 品高價買入御報次第參上　電話三九一四番　美濃町七九番　大谷商店

古着 古道具高價買受御一報次第參上　日隆町　みつや電二二五九一

不用 品親切本位買受　常陸町渡邊商天電話六八四一番

貸衣 裳　婚禮用葬儀用　日蜜町　さかひや電五四三七番

算盤 さ帳簿　拓茂洋行紙店　電五四三九番

包紙 さ紙各種　拓茂洋行紙店　電五四三九番

白帆 ・天帆高級御化粧紙は此の印に限ます

塵紙 各種卸商　大連市伊勢町三五　拓茂洋行紙店

古着 古道具高價買入御報參上　日隆町　たじまや電六六〇一番

商品 券三越五分引買入各店商品券高價買入　西通三五電車通四階建大連案內社

貸衣 裳　日隆町　三浦屋　電話二二六四五番

實印 の御用は　吉濃町　一萬堂　電七八五九番

寫眞 大連寫眞館晝夜撮影男女支那服の準備有　日本橋際　電話三五八四番

內地 土産は遼東百貨店支那みやげ部へ　電話三一七一番

印書 邦文タイプライター印書應需　大連市大山通　小林又七支店

印書 邦文タイプライターの印書いたします　山縣通日オタイプライター會社

醫院・治療・名藥

齒見 齒科醫院　西公園町六九　電話八二〇三番

水姪 行ります　大連則忠齋根卡藥局電七八六二

モミ 治療お望の方は　電話六六八八番へ

淋病 藥、大學ミッテルの出現不思議に良く効御試あれ　大連沙河口大正通八五　三共商會

胃病 には伊勢町藥局の……第二胃の藥を　電話六八二四番　地方郵局直送

人事

求妻 滿鐵社員十五年勤續齡三十九歳子四人二十五歳より三十四歳迄實子なき者寫眞履歴書送附返却せず　滿日廣告部宛

支部長 誰れも出來地方にてあり高尚で簡易有望業務ハガキで申込次第會則送る　大歡迎月收多大權威　東京市中目黑十四國民教育獎勵會

大連汽船出帆

ジャパンツーリスト・ビユーロー伊勢町案內所(電話四五五五四・四七一三)

●靑島上海行(大連丸 六月五日 / 奉天丸 五月八日)午前十一時
●天津行(天津丸 六月十日 / 長平丸 六月五日 正午)(天津通江)
●安東行(船客搭載)濟通丸 六月十二日後四時
●龍口行 龍平丸 六月六日後七時
●登州府行
●基隆高雄行(船客搭載)河北丸 六月七日後四時
山東丸 六月十五日後四時
●敦賀新潟伏木行(船客搭載)河南丸 六月十六日後五時
河北丸 六月廿六日後五時
●芝罘・清津・雄基行 遼河丸 六月十一日後六時
●阪神行 龍鳳丸 六月十一日後六時
煙臺丸 六月廿四日
●營口行(船客搭載)河北丸 六月二十日

大連汽船株式會社　電話代表番號七一三一番
專屬荷客取扱店(大連敷島町)澤山兄弟商會　電話四五二六五・四六八一
臺灣航路荷客取扱店(大連敷島町)　永和公司
阪神航路取扱店(大連須磨町)　電話七二七五・七八六八
乘船切符販賣所(大連伊勢町)ジャパンツーリストビユーロー大連案內所電話五五五四番

大阪商船出帆

門司、神戶(大阪)行　午前十時出帆
はるびん丸 六月五日
亞米利加丸 六月六日
うらる丸 六月八日
香港丸 六月九日
たこま丸 六月十日
うすりい丸 六月十二日
ばいかる丸 六月十三日
しあとる丸鹿兒島寄港 六月十四日
扶桑丸 六月十六日
●上海、福州(盛京丸 六月十日)
●基隆高雄行(長沙丸 六月廿一日)
後三時出帆(福建丸 七月一日)
●天津行 ★★日東丸 六月七日
★第一東洋丸 六月十五日
白山丸 六月廿三日
●橫濱行 ★日東丸 六月十二日
★第一東洋丸 六月二十日
★白山丸 六月廿八日
★印は客御斷り
●紐育行(神戶、四日市、橫濱經由)南海丸 月日

大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
奉天出張所(電四〇八九)
新京出張所(電二一二〇)
大連案內所(電五五五四)
御乘船切符發賣所大連伊勢町ツーリスト・ビユーロー
同沙河口代理店(電九五〇六)
營口、撫順、奉天、新京、哈爾濱、吉林、安東
專屬荷扱所　大連市大山通
國際運輸株式會社　電話三一五一番
吾妻橋荷扱所　電話四八〇二番
當社左記の場所にて荷物發送引受地各港と連絡引換證發行致します　奉天・營口・公主嶺・鐵嶺・開原・四平街・新京・吉林・哈爾濱其他

日本郵船出帆

●歐洲行(たかあ丸 六月七日 / 松江丸 六月十三日)李浦行 漢堡行
大連案內所電話五五五四番
乘船切符販賣所(大連伊勢町)ジャパンツーリストビユーロー
丸二商會

日清汽船(大連)出帆

●靑島上海行 華山丸 六月十九日
●香港廣東行(唐山丸 六月二十日 / 嵩山丸 七月一日)
代理店
大阪商船株式會社大連支店　電話四一三七番
●專屬荷扱所(大連山縣通)國際運輸株式會社　電話三一五一番

近海郵船(大連)出帆

長崎鹿兒島行　千歲丸　六月十日午前十一時
●營口行(宮浦丸 六月八日 / 豐浦丸 六月十一日)
●橫濱行(勝浦丸 六月十三日 / 淡路丸 六月廿六日)
●天津行(勝浦丸 六月八日 / 淡路丸 六月廿一日)
●朝鮮、基隆高雄行 岐阜丸 六月八日

松浦汽船(大連)出帆

●芝罘行　昌平丸　六月六日後六時
●芝罘、威海衞、仁川行　利通號　六月十一日後六時
廣島縣廳・愛媛縣廳・岡山縣廳　命令定期大連瀨戶內海線
●門司廣島尾道宇野今治行　照國丸　六月十五日午後五時
門司着 六月十八日前六時
廣島着 六月十九日前六時
高濱着 六月十九日後二時
今治着 六月十九日後三時
尾道着 六月二十日前六時
宇野着 六月二十日後四時
廣島より今治、高濱方面へ接續いたします
廣島・愛媛・岡山三縣人に限り二割引致します
滿鐵とは貨物連絡致します
大連市加賀町三〇　松浦汽船株式會社　電話六一一七・六一一八番

朝鮮郵船(大連)出帆

●靑島仁川行(會寧丸 六月十日 / 會寧丸 六月廿三日)
●仁川、博多、長崎、鹿兒島、三角行　錦江丸　六月十日
朝鮮鐵道各主要驛及本會社寄港地は貨物受證發行滿鐵との連絡貨物取扱致候
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更することも有之候
水路圖誌海圖取賣所
キユーナード汽船會社船客業務代理店
朝鮮郵船株式會社大連代理店
近海郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所
大連市山縣通電話(三七三九番 / 七八四六番 / 六七一二番)
大連市監部通吾妻橋專屬客荷取扱所　丸二商會　電話四二六四・五八八八
乘船切符發賣所ジャパンツーリストビユーロー大連市伊勢町案內所　電五五五四・四七三一

阿波共同汽船

●芝罘、威海衞、靑島行(第十六共同丸)六月八日午後七時
●芝罘、威海衞、仁川行(第卅六共同丸)六月七日
●芝罘行(第十八共同丸)六月七日午後六時
●仁川、鎭南浦行(長山丸)定期修繕中
●營口行(第廿六共同丸)六月五日
滿鐵とは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店　電話四八九一・五〇〇一番
切符發賣所(大連市伊勢町)ジャパンツーリスト・ビユーロー　電五五五四・四七一三番

島谷汽船北鮮出帆

朝鮮、北陸、北海道、樺太行
朝海丸 六月七日 北海道行(大連發)
日本海丸 六月十七日 樺太行
明石丸 六月廿七日 北海道行
寄港地　鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、船川、函館、小樽、大泊
△日滿新捷路
北線新潟直航船
新潟直航　鮮海丸　各地出帆
清津發　每月八の日後二時
雄基發　每月九の日前十一時
新潟着　每月一の日午前七時
●國際運輸と貨物の連絡輸送取扱　大連市山縣通り
島谷汽船株式會社大連出張所　大連市山縣通り一五三
代理店　大三商會　電話四七一一・三四八二
●御乘船切符發賣所

川崎汽船(大連)出帆

船客及貨物
各地(重量噸數五、〇五〇)(速力十二節半)
運賃　橫濱行上等三十圓　並等十七圓
名古屋四日市行
●東泰丸(大連發 六月二十日 / 名古屋着 六月廿五日 / 四日市着 六月廿六日)
詳細は左記へ御照會被下度候
川崎汽船大連代理店
大連市山縣通一九九
山下汽船株式會社大連支店　電話代表六一一八四番

(昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可)　(日刊)

六月四日發行
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本嘉代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町一冊一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

秩父宮殿下
空晴れて海上靜穩　御機嫌いと麗はし
お召艦足柄西進

秩父宮殿下御坐乘の御召艦足柄は三日午後五時門司拔錨、一路大連に向ひつゝあるが天候快晴にして波靜かに殿下には御機嫌頗る麗しき御模様にて四日午前十時足柄より旅順要港部へ左の入電があつた

【四日午前十時お召艦足柄發旅順要港部入電】本日午前八時位置北緯三十三度五十四分、東經百二十七度八分、速力十二節、天候晴、海上靜穩、安穩なる航海を續けつゝあり、殿下に於かせられては御機嫌麗はしくあらせらる

御待兼ねの康德皇帝
御歡待にも親しく御配慮

【新京特電四日發】秩父宮殿下の新京御到着も愈々近づき康德皇帝陛下は殿下の東京御出發以來御旅路の御平安を祈らせられ又御到着後に於ける宮中に於ける御歡待に就ても親しく種々御配慮あらせらるゝ趣きであるが宮中における御親善並びに勳章の捧呈式、午餐宴、殿下との御會見等宮中諸御儀式の諸準備、設備、御裝飾等は遺憾なく整へられてゐる、なほ雨の爲め支障を來してゐた御成筋の道路鋪裝改修は四日からの晴天に徹宵工事を進め殿下御到着までに竣工せしめることになつた

代宮殿下の御動靜を速報するため大連新京兩地において各所にマイクを設け大連御上陸、新京觀兵式御成り等の現場放送を行ひ、また御滯在中大連、奉天、新京及ハルビン各放送局聯合で特別番組による全滿中繼放送を行つて奉迎の微意を表し奉るほか左の如く奉迎通信施設をなす筈である

▲御滯滿中御用通信に關する事務を統轄するため遞信局に御用通信部を置く

▲御召艦大連入港當日より出港當日迄御用關係の郵便物及電報取扱のため大連埠頭岸壁、大連滿洲館內、新京御宿泊所內、新京隨員宿泊所內、奉天御宿泊所內奉天隨員宿泊所內に御用通信所を設置す

▲御召列車停車驛所在地の郵便局長及電報局長は驛構內にて奉送迎をなし通信に關する御用命を承る

▲御用關係通信の速達をはかるため大連東京間、新京東京間、大連新京間その他關係各地間の電信電話線の構成を臨時變更す

皇帝から御親電
艦上の林首席隨員に

【新京特電四日發】秩父宮殿下の御來滿を鶴首して御待ち兼ねの康德皇帝陛下には御旅行途中の殿下の御動靜につき側近奉仕者に屢々御下問あり、また各新聞の報道に就いても御閱覽遊ばされて居るが御召艦足柄が門司を出發し頗る平穩に航行中の趣聞し召さるゝや四日朝御召艦足柄の首席隨員林權助男宛に恙なく御航行遊ばされんことを禱る旨言上あり度しとの御親電を發せられた、また同日鄭國務總理よりも林首席隨員に對し同趣旨の無電を發した

御名代御差遣

【新京特電四日發】秩父宮殿下を大連に御出迎への爲めに康德皇帝陛下には御名代として沈宮相を又滿洲國政府としては遠藤總務廳長以下要人を四日午前九時新京發にて御差遣遊ばされたが驛頭には日滿官民多數の見送りがあつた

御動靜を放送

遞信局並に電信電話會社では御名

御着を明日に各機關緊張
埠頭奉迎準備を急ぐ

輝かしき御使命を帶びさせられはるばる汐路を越え給ひて隣邦滿洲帝國にお成り遊ばさるゝ秩父宮殿下には既に御召艦足柄に御坐乘門司港を御進發一路大連への御旅路を急がせられつゝあるが、五日夕大連港に御召艦足柄を迎へる大連市民はいまや鶴首して御恙なき御旅程を祈り奉るところである、畏くも宮殿下の御來滿を明日に控へ市各機關は緊張し御迎へ諸準備に忙殺されつゝある

ここに埠頭事務所にありては御上陸に關するすべての手配に就き打合せもあり關根所長は御警備方面に關し所轄水上署と連絡

献上の日本刀

大連市から秩父宮殿下に献上(下)はお召列車乘務員大連神社に參拜向つて(右)篠原(左)網本兩機關士

長城各地に稅關設置
支那自然解決の必要を感じ
南京政府原則を聲明

【上海特電四日發】通車問題に對し一切の具體的準備を整へた國民政府は更に長城各地に於ける稅關設置問題に關し關稅徵收上の原則を決定し財政部から次の如き聲明を發した

長城各地に稅關を設置することは事實上必要であり早晩實現さるべきものである、從つて財政部は設關に關する原則を決定し目下具體辦法を考究中であるが同問題は通車通郵とは全然別個のもので、これが實施は滿洲國不承認の原則の下に、國家が財務、行政の自由權の行使をなすものに外ならぬ

斯くて北支懸案は支那自體が自國の利益上の見地から解決の必要を感じ愈々急轉的にこれを實現することに決定したものと見られる

蔣氏の命で黄氏南下

【南京四日發國通】內政部長黄紹雄氏は蔣介石氏の命を奉じ近く香港、廣東に赴くことに決定した、その使命に就いては表面西南元老派及び實力派巨頭陳濟棠、李宗仁白崇禧等と會見、中央の對日方針につき釋明旁々西南問題協議のためと稱さるも實は近時明確を缺く西南の對南京態度並びに軍備上特に西南獨立の象徵と見られる外交委員會及國防委員會に就いて西南領袖の眞意を確めんとするものである、從つて黄の南下は中央の對西南最後策決定の上に重大な意義を有するものとして各方面の注目を惹いて居る

韓復榘南京着

【南京四日發國通】韓復榘氏は三日午後五時南京着、二、三日滯在汪精衞氏及び明日來京の蔣介石氏に會見、山東省の政情報告の筈

東鄕元帥を送る日
國葬齋場の準備成る

【東京四日發國通】東鄕元帥逝いて早くも六日、國民が心から巨人の英靈を弔ふの日は愈々明日に迫つた、今宵自邸に最後の通夜を終へた巨人の英靈は明朝八時卅分東鄕邸を發、沿道に堵列する市民團體の中を肅々と進み同九時四十四分日比谷公園正門に到着、午後二時廿五分迄に五時間と六分に亘つて一世の盛儀たる國葬が行はれる

殊に國葬は大正十三年松方公以來の盛儀で當日の人出は沿道齋場を通じて三十萬を突破するものと觀られ、警視廳を始めこれが整理に萬全を期し先づ葬列が東鄕邸發後は先驅から二百米每に先行する通報員來り次第その場所は一切の交通を遮斷、特に日比谷齋場附近は早朝七時から車馬の交通を遮斷、國葬時間中の萬一の混雜を豫防することゝなつた、この日一般參拜者の外に公的團體四十團、十數萬の參拜申込みあり、係官徹宵の苦心で漸く決定、今や萬端の準備なり熱誠、愛惜をこめて明日の國葬日を待つてゐる

各國派遣軍艦

【東京四日發國通】東鄕元帥に弔意を表する爲め各國海軍から軍艦派遣、司令官、儀仗兵を葬儀に加はらせることに決定したのは既報の如くであるが、各軍艦到着次の通り

英艦サフォーク號三日午後六時橫濱入港、支那艦寧海號三日夜下關入港、參列員陸路上京、伊艦クワルト號四日午前八時神戶入港、參列員陸路上京、米艦アウグスタ號四日午後四時橫濱入港、佛艦プリモーゲ號四日夜入港

なほ外國武裝海兵の儀仗兵は我が儀仗兵の後に續き英、米、佛、支、伊の順序に進み各將校二名、水兵四十名計將校十名水兵二百名で斯く多數軍人が儀仗兵となるは臣下の葬儀としては我が國空前で世界の國葬でも稀である

サフォーク號橫濱に入港

【橫濱四日發國通】東鄕元帥の國葬に參列すべく英國より派遣された同國支那艦隊司令長官サー・フレデリック・ドレーヤー大將坐乘の旗艦サフォーク號は五月雨降りしきる三日午後六時港內碇泊中の永野橫須賀鎭守府司令長官坐乘の比叡と殷々たる二十一發の禮砲を交しつゝ靜かに入港した、提督は四日午後三時半元帥邸を訪問、英國海軍及び英國支那艦隊並にセリコー將軍として三つの花輪を靈前に供へる豫定である

新京の遙拜式

【新京四日發國通】日本が世界に誇る海の英雄東鄕元帥を永久に送る五日新京では駐滿海軍部に於て靜かな部內のみの遙拜式が行はれるが一方民間に漲る元帥追慕の心が凝結、滿鐵地方事務所、總領事館主催の官民合同の大遙拜式が執行されることになつた

同日東京に於ける國葬執行の時刻、新京神社境內に於いて新京の全官民集合盛大な式典が行はれる、主催者側、地方事務所、領事館代表者の玉串捧奠に續き關東軍司令部、海軍部隊士官、關東廳、滿鐵、在鄕軍人分會員がそれ〴〵玉串を捧げ一同遙かに元帥の永遠の眠りを祈念する尙一般民からは花輪等の仰々しさを避け供物のみを受附けることになつてゐる

"政局異變近し"
各方面の意見一致

【東京四日發國通】齋藤內閣は政局の推移を靜觀してゐるが靜觀は小山法相より黑田問題の中間報告に依つて破られるであらうと觀られその時期の漸次切迫して來てゐることも爭はれない事實である、政局に對する各方面の意見はそれ〴〵の立場によつて異つてゐるが政局に異變が來るであらうといふことについては一致してゐる、而して內閣總辭職のきつかけは高橋藏相の進退決意に依つて作られるだらうと觀られ次期政權を目指して諸種の準備工作が行はれてゐるが一方政府の一部に於て大命再降下の希望のあるのも事實である

各派有力筋の政局觀を綜合すれば齋藤首相、高橋藏相、山本內相の心境も疑獄事件の全貌の明瞭となるのを待つて進退の決意をなすの必要を認めてゐるのみならず同事件の起つて以來政府が如何なる建直しを宣傳しても實行不可能と見られるに至り居据り工作は全く不可能とされてゐる、政變は大體中間報告のあつた後卽ち十五日過ぎと見ることが出來やう、後繼內閣に就いては世間に宣傳されるほど有力であるや否や疑問とされる、平沼樞府副議長說は幾分顧られるに至つた程度で有力と見るまでには至らないであらう、さりとて大命再降下說も黑田問題の責任を負うて挂冠した場合に可能性は非常に薄いものであり結局目下のところでは未だ宇垣說が最も有力と見られるであらう、しかし陸海軍部內の情勢とその歸趨が宇垣內閣出現に相當強い故障のある場合に已むを得ず一木樞府議長が相當有力となるであらう、しかし後繼內閣の見透しがつくと、つかないとに拘はらず政變は必至であるとの觀測が有力に行はれてゐる

藏相引留め
財界方面は希望

【東京特電四日發】財界方面では高橋藏相を首班とする改造內閣を希望して居た程であるから高橋氏が疑獄事件の責任を負ひ進退することを惜み現內閣に對し大命再降下により藏相を引止めんとする意嚮が動いて居る、卽ち事件の責任は藏相の引責と一たん總辭職することによつて解消し、責任解除の形式を以て齋藤、高橋兩老共に再生せんとするもので政府でも目下此の方法を重要視して居る

宇垣說最も有力
貴院有力筋の政局觀

【東京四日發國通】政局は東鄕元帥の葬去に依り當分靜觀に歸したが如く見られるが裏面に於ける策動は却て深刻に行はれてをり貴族院

弘毅會を組織

【福岡三日發國通】廣田外相を後援する弘毅會が組織され三日午後一時半市公會堂にて創立總會が開催された、發起人は久世市長、伊勢川、石原兩中將以下國難突破に御努力を乞ふと決議して打電した

なとり四日午前最後的協議をなすと共に御召艦足柄繋留區たる甲埠頭九番バース前廣場を水洗ひし當日夫々重任に就く小蒸汽の消毒を行ふ筈でとみに緊張し切つてゐる

なほ旅順要港部よりは御警備のため四日驅逐艦「[illegible]」を派し同艦は午前十一時大連に入港十五番バースに繋留ひたすら御召艦の御來航を御待ち申し上げてゐる

菱刈關東長官御機嫌を奉伺

大連に向ひ一路御平安なる御航海中の秩父宮殿下に對し奉り菱刈關東長官は四日午前十一時お召艦足柄の御附事務官を通し電報を以て左記の如く御機嫌をお伺ひした

謹んで御機嫌を伺ひ奉る

支那からも儀仗兵參列

【南京特電四日發】支那練習艦隊司令官王樹廷は汪精衞の命により儀仗兵共十名を從へ東鄕元帥の國葬に參列のため渡日した、支那が儀仗兵を從へ特使を派した事は前例なく最近に於ける日支親善の反映と見られて居る

王提督東上

【門司三日發國通】國葬參列の支那司令官王樹亭提督は軍艦寧海號で本日午後五時門司入港、午後八時半の列車で東上の豫定

在留邦商決議文を手交

【バタビヤ三日發國通】全ジヤバ日本人輸入雜貨組合聯盟、邦人小賣商聯盟は三日長岡代表に權益擁護を切望すると共に斷乎たる決意を表明せる議決文を手交して激勵した

吉林警察廳大改革

【吉林二日發國通】馬場科長始め日系幹部の鋭意改革により面目一新し漸く晴々たる吉林警察廳では、更に日本の警察制度により警務規定に大改革を加ふることとなつたので大吉林の警察廳として益々遺憾なく機能を發揮するに至るであらうと期待さる

對支飛機賣込

【東京四日發國通】最近その筋調査に依ると昨年十一月より本年三月末日迄五ケ月間歐米列國の對支飛行機賣込み狀況は左の通りである(單位金圓)

國	金額
ドイツ	二三九、〇八三
イギリス	四九九、八一四
アメリカ	八七二、〇二八
イタリー	四六、〇六〇
その他	五一
合計	一、六五七、〇三六

人事

▲野田淸一郎氏(旅順工大學長)四日入港あめりか丸にて歸連
▲ソル・モンテ・アレチン氏(郵便電信社員)同上
▲小川亮一氏(國際運輸取締役)同上
▲廣島縣會議員一行十五名　同上
▲濱田國松氏(代議士)四日出帆扶桑丸にて內地へ
▲小原直氏(東京控訴院長)同上
▲淺沼謙三氏(天野洋行大連支店長)同上
▲淸瀨規矩雄氏(代議士)同上
▲田子一民氏(同)同上
▲豐田收氏(同)同上
▲大木操氏(衆議院書記官)同上
▲萩野良平氏(同屬)同上
▲柿澤・四郎氏(同)上
▲相馬半治氏(明治製糖重役)同上離連

蛇角

夕陽(內閣)西に春いて、わが政局次第に暗轉。

◇

政府の靜觀が悲觀に轉ずるのもモウ間があるまい。

◇

再組閣期待の樂觀說もある、盡し悲しい樂觀說である。

◇

樂悲の兩觀は、後繼擁立の運動者たちにもある。

◇

宇垣說高くして風當り強し。

◇

淸浦說靜かにして賴りなし。

◇

滿鐵の骨拔け犯人、霧の如く煙りの如し、奇々怪々。

◇

更開や消ゆるが如き島の影。

七寶の柱 (18)

小島政二郎

岩田專太郎畫

京都にて (五)

「ああ」

女は、悲鳴とも溜息ともつかぬ聲を擧げたと思ふと、矢庭に弧線を描いて暗い方へ突然驅け出した

「………」

男は茫然そこに立ち留まつたまゝ、女の行方を目で追つた。

「あッ」

男は、女の跡を追ふ人影を發見して、顏の色を變へた。

京都の停車場前の廣場。十一時五十分發の東京行の列車の出る少し前のこと。

男の傍を遠く離れた女は、さう〱逃げおほせずに、夜の大地へ蹤んでしまつた。

追つてゐた人影が、蹤んだ女の上に飛び掛かるのが見えた。

「………」

そこまで見て、男は急に恐怖に驅られてその場から逃げようとした。が、流石に女を――お梅を追手の手に殘して立ち去ることは出來なかつた。

「進藤はん、一生のお願ひどす、見逃して」

お梅は、片袖を摑まれながら、必死な顏をして歎願してゐた。呼吸で、胸が波打つてゐた。

「冗談云ふな」

進藤も喘ぎながら、怒つたやうな顏をして荒々しく呶鳴つた。進藤は、×田の副社長の、矢田大藏の秘書見たいな番頭見たいなことをしてゐた。

お梅は元祇園の藝者だつた。「男」は、山岡と云つて、大藏の目を忍ぶ身の上だつた。

「恩に着ますはけ、な、進藤はん、どうぞ見逃しておくれやす。女子一人を眞人間にする思うて」

「馬鹿云へ」

「さう云はんと、しんみり考へて見さくれやすえ。假にわてなあんたの妹と見て、一生妾奉公させとくのと、――そら、好いた男を拵へて、墮落する手段は惡うおまッしやろけど、さうでもせんことには、わての體に十重二十重に絡み附いたしがらみが立ち切れんのごすえ。止むに止まれん非常手段どしてそれは許してもろて、女子に生まれたからは、お妾でなうて、夫妻と呼ばれたいが一生の望みやわ」

「………」

「男拵へたかて、浮氣とは違ふのどすえ。東京へ出て、苦勞して、眞面目に家一軒盛り立てる決心やわ。上部から見るやうな、好いた同士の道行やあれしめへん」

「………」

「どない苦勞しても、わて眞人間になりたうおすのえ。拜みまつさかい、どうぞこの場だけ見逃しておくれやす」

「嘘ぢやあるまいな? 俺に摑まつた苦しまぎれに、一時逃れを云ふんぢやあるまいな」

「嘘やあれしめへん。若し嘘やつたら、ホンの浮氣でしたことやつたら、神さんに嘘にされても、あんたに髮の毛切られても、いつそ命を召されても、よろしうおますがな」

「きつとだな」

「ほんまどす」

「若し俺に煮湯を吞ましたと分つたら草の根を分けても探し出してきつと禮をするがいゝな。――よし、罪は俺が被つて遣る」

「進藤はん、この御恩わて一生忘れしめへん」

ポロ〱涙のこぼれる目で、お梅は拜むやうに進藤の顏をぢつと見守つた。

滿鐵の籠拔け犯人
兩署の見込相異
小崗子署は駒田に全力集中
大連署は一笑に附す

その手口といひ、その大膽さといひ滿洲犯罪史上に初めて姿を現した滿鐵ん舞臺に演ぜられた贋金融大詐欺事件は、近來珍しい獵奇的犯罪として百パーセントの興味を唆り、捕物陣はとみに緊張、各署刑事連は腕によりかけて犯人逮捕に躍起の大活動に入つてゐるが、こゝに端しなくも所轄小崗子署と犯罪地大連署との間に捜査上意見の根本相違を來し「犯人は果して何人か」といふ疑問符を投げ、獵奇の眼は果然捕物陣營に向けられてゐる

▽…所轄小崗子署司法係では既報の如く詐欺犯人を大阪生れ市内乃木町十一番地前科四犯駒田兼輔（二七）と殆んど九分通りの斷定を下し、同人を指名犯人として寫眞附で全滿に手配し目下捜査の主力を駒田の身邊に注集してゐるのに對し

▽…犯罪地の大連署司法係では、頭から駒田の犯人説を否定し、同人に對しては全く捜査上問題にせず、小崗子署とは全然異にせる捜査方針を執つてゐる

兩署捜査の根據

卽ち小崗子署が駒田を指名犯人とせる主なる理由は

彼が目下窃盗及び詐欺容疑者として刑事の追跡を受けてをり、大金を摑んで高飛びせんとしてゐること、被害者森洋行及び質屋の證言によつて駒田の人相に酷似してゐる點及び前科四犯の彼は犯罪度胸が据つてをり、これ位の犯行は平氣でやつてのける手腕を持つてゐる

等々の理由を綜合し駒田を指名犯人としたものであるらしく、之に對し大連署司法係では次の反證を擧げて駒田犯人説を否定してゐる

一、駒田は左頰に凹形の痕跡があるも滿鐵の犯人にそれがない、（關係者の證言によつて明かである）

二、駒田は背丈五尺二寸位であるが詐欺犯人は五尺四、五寸の背丈であること

三、駒田は大阪辯でペラ／＼と口早に話をするが詐欺犯人はどちらかといへば關東辯で無口の方であつたこと

四、駒田は滿鐵内部の事情にあれほど精通してゐないこと

五、駒田は窃盗四犯を重ね質屋で顔を知られてゐるから決して自から入質しない

六、駒田は浮氣な男で主任に成り澄すほど沈着であり得ない

等々な理由に擧げ全く駒田の犯人説は問題にせず犯人は意外な方面に潛んでゐると見て、極秘裡に活動を開始し一兩日中には逮捕する自信ありと刑事連は頓に元氣付いてゐる

なほ昨年五月ごろ滿鐵情報課と稱し市内西通シネサービスから撮影機一脚を詐取し、更に伊勢町樫村洋行から滿鐵總務部調査係の者と稱し寫眞機一臺を詐取せんとして未遂に終つた事件の犯人が未だ捕へられず迷宮入りとなつてゐるが、今回の事件も前記迷宮入りの事件と一脈關係ありとの見込みを大連署ではつけてゐる

酷い目に逢つた
一渡邊諒氏語る

獵奇の籠拔犯人に氏名を利用された資料調査係主任渡邊諒氏は「えらい目に會ひましたよ」と滾しながら語る

僕はほんの一寸奉天に出張したのでその日僕が不在だといふ事を知つてゐるものは社内にも數へる程しかなく、係の人も何で休んでゐるのか知らなかつた程だ、それを知つてあれ程大膽な仕事をしたからには餘程僕を個人として知つてゐる奴かも知れぬ、森洋行の主人もリットン卿の時に一寸交渉があつたので僕を知つてゐたのだが、何分犯人があまり落着いてゐるのと、運惡く僕の名前と顔をちぐはぐに覺えてゐたそうで、あれほど疑ひながら來た森洋行側を最後に完全に安心させた賊の力は驚くほかありません

八田副總裁の友情
罪の友を訓す
高野山電鐵の小林專務
飜然悟つて懺悔の自首

【大阪特電四日發】手形僞造の嫌疑で二日夜府刑事課に留置された高野山電鐵專務小林透氏に絡み、八田滿鐵副總裁の美談が傳へられてゐる

小林氏は諸會社の重役で廣大講師をも兼ね數十萬の富を持つてゐたが、不況に祟られた苦し紛れに株に手を染め更に損失を大きくした結果理事者の地位を信用を惡用し十四萬圓の同社手形を出して穴埋めを行つたものであるが

大學の同窓で親友の八田氏に宛て手紙でその事情を告白し救ひを求めたところ、その誤れる行爲を懇切に悟し

「一切を清算して正道に立つなら更生のために力にならう」

との強い正義感と厚い友情に滿ちた返事を送つたので飜然と悟つて總てを懺悔自首したものである

意外に少ない
忠靈塔獻金額
篤志家の奮起待望

【新京特電三日發】滿洲建國の人柱となり永久に守護神として祭らるべき名譽ある皇軍戰死者の遺骨を合祀する忠靈塔については、同建設委員により着々として準備を進めつゝあるが新京、ハルビン、吉林、承德の四忠靈塔建設に要する費用は二百五十萬圓で、內官邊より支出されるものと豫想されるべき金額を控除した殘額七十萬圓を一般の寄附に求めることゝなり過般來日滿を通じて全日本人に向つて募集してゐるが、今日までの成績は內地方面が意外に思はしからず、その總額なほ六萬圓程度であつて所定額には前途遼遠の憾みがあるので建設委員當事者はこの際篤志家の奮起を促すべく更に一段の努力を試みつゝある

河童連に嬉しい
夏家河子開く
十日から臨時列車

河童連が太陽の直射の下に跳躍する夏となつたが、この海水浴シーズンのトップを切つて滿鐵夏家河子海水浴場が來る十日に開場することになつた、そして恒例により滿鐵々道部では六月末から臨時列車を運轉するが、今年の海水浴客サービスとして先づ大連から夏家河子に行く鐵道運賃を六月十五日から九月十五日まで往復、三等大人二十錢、小人十錢といふ大割引を行ふことに決定した、この割引運賃は昨年滿鐵が客車の不足から止むなく貨車を改造して天幕列車を動かした結果行つた割引で、今年は客車もあり貨車を使用することもないので運賃は當然一昨年の三十錢に復活するべきであるが、所謂旅客サービスの立場から昨年通りとなつたものでまあ鐵道部のこの割引は賞められて好いわけだなほ夏家河子への割引は大連、周水子、沙河口（以上往復大人二十錢、小人十錢）金州、旅順（以上大人往復五十錢、小人二十五錢）の五驛發客に行はれるものでそれより遠い沿線旅客にはこの恩典はない、なほ恒例により七、八月の日曜祭日、九月一日は夏家河子行の滿鐵社員にパスの使用を禁止する

鄧鐵梅
連山關に護送

【鳳凰城特電四日發】石棚溝の民家にて逮捕された匪首鄧鐵梅は四日朝七時裝甲列車にて連山關〇〇隊本部に護送された

間島共匪のテロ陰謀
未然に大檢擧

【龍井三日發國通】間島各地に於ける共匪は數次の討伐のため森林地帶に追ひ詰められて宛然森のギヤングと化するとゝもに著るしくテロ化し、殊に本年のメーデー以後は東滿特委の指導の下に全鬪爭を五・三〇記念日の暴動計畫に集中し、各地區の游擊隊から選拔した黨員を間島各地に派遣して日滿政治經濟施設をテロ手段によつて破壞せんとしたが、この程間島ソウエート區の中でも最有力として知られてゐる三道崴に根據を有する春山一派の黨員二名を逮捕し取調べの結果、上三峰、局子街間の國際鐵橋の破壞及び日滿高官の暗殺、鐵道破壞、間島重要都市の襲擊等の恐るべき陰謀が暴露するに至つた、逮捕された黨員名次の如し

所屬東北人民革命軍第二軍第一獨立師團
自稱春山派所屬少年先鋒隊員　金哲俊（一五）
同　金明龍（一六）
同黨員　李必洙（二五）

政界の動搖に
歸心矢の如し
吳越同舟の代議士連
丸桑扶

政界雲行の急變は、夫々異つた立場から滿洲を縱橫に視察中だつた衆議院議員濱田國松氏等一行に歸心矢の如き刺戟を與へたが四日出帆扶桑丸で濱田國松、清瀨規矩雄、田子一民、豐田收各代議士、大木操書記官、荻野良平、榊澤善四郎兩屬一行七名が歸京したが、出發に際し濱田代議士は

まあ船中ゆつくり作戰を練つて行くさ、軍機は密なるをよしとすだ、昭和六年十月事變直後に來てから僅かな間に動いた滿洲の歩み方には驚いた、いづれにしてもこの旅行が非常にしつかりした認識を摑ませてくれた事を喜ぶ、全滿の皆樣によろしく

こゝにも吳越同舟、政雲急な東京へ定stage出帆した

に歸還したが、誰一人見送る人もなく二等食堂の一隅に忘れられた樣に安置され、僅かに星野氏以下五名の僚友の淋しい瞳に見守られてゐた有樣が心ある人々の胸を打つてゐた

佳木斯移民の
遺骨寂しく

昨年佳木斯武裝移民團員として來滿以來、匪賊の來襲を物ともせず開墾のため血と汗の努力を續けつゝ遂に匪彈に殪れたチャムス屯墾軍第二大隊麻廠、伊藤、澁澤三團員の遺骨は四日出帆扶桑丸で故山

實滿戰豫想投票
讀者懸賞募集
何回戰でどちらが勝つか
リーディングヒッターは誰

本社主催の大連實業團對滿洲俱樂部定期野球戰は愈々來る九日を第一回戰として擧行するが、本社では左記規定に從ひ興味ある豫想投票を行ふことゝなつた

▼課題
（1）何回戰でどちらが勝つか
（2）リーディングヒッターは誰か
（但し打數が最高打數者の半數に滿たざるものは除外す）

▼投票方法　本紙刷込みの投票用紙を使用し各課題とも一名一枚限りとす

▼投票場所　本社營業局販賣部宛

▼投票締切　六月十五日限

▼抽籤　正確者多數の場合はリーディングヒッターに依り抽籤を行ふ

▼發表　六月二十五日本紙上

▼賞品
（1）の部　一等金時計一名、二等電氣スタンド二名、三等滿日購讀券（四ケ月）五名
（2）の部　一等冷藏庫一名、二等硝子セット二名、三等日傘五名

注意……なほ回答は左の如くせられたく他の者は除外す
（1）滿俱或は實業（勝數）—
　　實業或は滿俱（勝數）
（2）實業或は滿俱選手名

實滿戰豫想投票紙
何回戰でどちらが勝つか
住所
氏名

實滿戰豫想投票紙
リーディングヒッターは誰
住所
氏名

東郷元帥追慕記念會（けさ大連商業で）

女學生大會
午前中の成績

關東廳體育研究所及び關東州學校體育聯盟共同主催の關東州內女子中等學校體育大會は四日午前九時より大連運動場に於いて旅順、神明、彌生、羽衣四高女女子商業、旅順高公の六校約四千餘名參加の下に開催定刻全參加生徒中央役員席前に整列し、日滿兩國歌合唱裡に兩國旗の揭揚、開會の辭等型の如くあり、後全參加生徒の體育運動歌合唱合同體操等あり、直ちに各競技場にそれ／＼分れて競技に移つたが若葉薫る絶好の運動日和にミス・滿洲勇躍、接戰につぐ接戰に好記錄續出す午前中の戰績左の如し

陸上競技
◇六十米
▲一年の部　A組1山本房子（旅）九秒三、2今明繁子（彌）、3幸福峰子（旅）、B組1小島敏子（彌）九秒四、2須藤久美子（旅）3阪本清子（彌）、C組1高橋久美子（神）九秒二、2末次幸子（神）、3清水ふさ子（彌）
▲二年の部　1岩崎靜江（彌）八秒九、2德丸春枝（彌）、3小西幸代（羽）、B組1岩井ヤス（彌）九秒二、2中川滿子（神）3津頭見美津子（羽）
▲三年の部　1黑瀨嘉子（神）九秒一、2宮崎滿子（彌）、3松岡國子（旅）、B組1原マツ（神）九秒一、2久米和子（旅）、3有田田鶴（彌）
▲四五年の部　1枚元テル（旅）八秒九、2多田シゲ子（神）、3六鄕政子（彌）

◇百米
▲一年の部　A組1島田美佐子（彌）一四秒四、2吉岡信子（羽）3臼井洋子（旅）、B組1橫山美佐子（神）一五秒四、2田代喜美子（彌）、3片岡澄子（彌）、C組1淺田義子（神）一五秒、2楢原八代子（商）、3日高津慧子（彌）
▲二年の部　A組1大西壽美子（彌）2中野久代（彌）3岡田千惠子（神）、B組1砂崎葉末（彌）、一五秒、2勝弘勝子（神）、3金丸敏子（旅）
▲三年の部　1日野房江（神）一四秒四、2熊谷利子（彌）、3村上月子（彌）
▲四年の部　A組1小林愛子（彌）一四秒二、2木村秀子（旅）、3山森數枝（神）、B組1高橋字多佳（神）一四秒二、2粟屋道子（神）、3保谷梅子（彌）

◇走巾跳
▲一年の部　1寺坂智惠子（旅）三米七七、2三田照子（神）三米七六、3石川雅子（旅）三米七五
▲二年の部　1岩田良子（旅）三米八五、2正木和子（羽）三米八四
▲三年の部　1三田茂子（神）四米二八、2宮田花枝（旅）、3宮崎サカエ子（彌）三米九〇

◇四百米繼走
▲一年の部　1神明六〇秒二、2旅順、3彌生
▲二年の部　1彌生五八秒二、2神明、3羽衣
▲三年の部　1神明五八秒、2彌生、3旅順
▲四年の部　1神明五八秒三、2彌生、3旅順

女學校體育大會……スタート

籠球
▲一年の部
旅順22（12 10／3 4）7 羽衣
神明15（9 6／1 4）5 彌生
▲二年の部
彌生14（8 6／0 6）6 神明
彌生10（8 2／4 6）10 旅順
▲三年の部
旅順6（6 0／0 2）2 神明
旅順9（6 3／4 2）6 彌生
▲四年の部
旅順28（10 18／6 12）18 神明

排球
▲一年の部
神明2（21 2／15 22）1 羽衣
彌生2（21 21／14 16）0 旅順
▲二年の部
旅順2（21 21／13 18）0 彌生
羽衣2（21 7 21／19 21 12）1 神明
▲三年の部
彌生2（21 21／9 14）0 神明
旅順2（21 21／18 12）0 羽衣
▲五年の部
彌生2（21 21／9 12）0 羽衣
彌生2（21 21／9 12）0 羽衣

庭球
▲二年の部　喜澤美見崎（女）3—2土屋糸原（旅）、小野松尾（神）3—1武田岡（旅）、文桑永井（商）3—1山本石井（彌）、阿部小梨（旅）3—1大橋今村（商）、松園蜂（神）3—2川野松橋（彌）
▲三年の部　鐘ケ江和田（商）3—1金井平島（彌）、三田下田（神）3—1峰原（神）、金井渡邊（彌）3—2岡島富田（旅）、橫田竹內（神）3—0小田山內（商）
▲四五年の部　齋藤片岡（神）3—0中久保山田（旅）、村井新納（神）3—2相川相馬（彌）、橫佩松崎（旅）3—2齋藤片岡（神）、石井小笠原（旅）3—0吉村山下（彌）、相馬相川（彌）3—0酒井久保（旅）

大連醫院休業
五日は故東鄕元帥の國葬日につき大連醫院及各分院は休業するが、但し急患重病は平常通りである

松根東洋城氏
俳句雜誌「澁柿」の主宰者として著名な松根東洋城氏は今回滿鐵弘報係並に地方部社會係の招聘（鐵路總局を含む）に依り來る六日入港うらる丸にて來連市內榊町六八、滿鐵監理課長谷川善次郎氏邸に數日間滯在の上、月餘に亘つて奧地俳諧行脚の豫定で滯連中のプログラムは左の通りである
六日　午後五時より歡迎晩餐會並に研究會（中央公園南華園）
七日　旅大往復
八日　午前八時より一句一讀東洋城百詠百短册展覽會（滿鐵社員俱樂部）
同日　午後四時半より俳句講演會（一般來聽歡迎、社員俱樂部）

●●●●●●
沙河口神社遷座祭　沙河口神社に於いては來る七日午後七時三十分より假殿遷座祭を執行するが當日雨天の際は九日に延期すると

訂正
四日附朝刊（市內版）第二面「防空標語を選して」と題する記事に「堤少佐」とあるは堤中佐の誤り、又末尾より六行目「同樣不徹底のため不成功に終つたが」とあるは「一部不徹底の仲もあつた樣に聞き及んでゐるから」の誤りにつき訂正す

小原控訴院長
過般來滿各地視察中であつた東京控訴院長小原直氏は司法關係者多數の見送

天氣予報
五日
南の風晴一時曇り
滿潮（午前三時三十分／午後四時）
干潮（午前九時五十分／午後十時四十五分）

各地溫度（四日午前十一時）
大連	二六	奉天	二四
旅順	二三	新京	二三
營口	二三	新義州	二五

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百二十六圓三十五錢

新講談

丹下左膳（125）

林不忘作　小田富彌畫

旅は道づれ（二）

「成程、爭はれえものだ。あつしの茶碗は、ちやんとこゝにあらア、、、」

なんかと與の公、何が爭はれえものなのか……頻りに感心してゐる。

ガブリと一つ茶を飲んで、何やかや一人で辯じ出した。

口前ひとつで人にとり入ることは、天才と言つていゝほどの與吉。

武家奉公で世間も狹く、年も若い儀作は、これが機會となつてうまく丸め込まれたと見える。

「旅は道づれ、世は情けえことがありまさあ」

與吉のやつ、古い文句をならべて、

「オウ、姐さん、茶代はこゝへ置くよ。このお侍さんの分もナ」

チャリンと二つ三つ、小粒を盆へ投げ出す。

儀作は驚いて、

「イヤ、私の分まで置いて貰ふ譯はない。どうぞ、左樣な心づかひは御無用に願ひ度い」

與吉は平手で額を叩いて、

「さうお堅いことを仰言るもんぢやあ御座んせん。ナニ、ほんのお近づきのおしるし、へゝへゝ手前の志でございますよ」

相手にものを言はせまいと、與吉は大聲に、

「へらへらへつたら、へらへらへ！へらへつたら、へらへらへ、——サア、參りやせう。あつしやアれ、眞實、旦那の氣性に惚れ込みやした。實にどうも、お若いに似ず大したもので。さすがはお侍樣……あつしみてえな下司な者と同道しやすのは、さぞ御迷惑では御座りませうが、そこがソレ、只今もいふ旅は道づれ、へらへつたら、へらへら……」

先に立つて腰掛けを離れた與の公は、極く自然に壺へ手を出して

「お荷物、お持ちしやせう」

と壺を取り上げやうとするから儀作は膽を潰し、

「アイヤ、それは主君よりお預りの大切なお品。手を觸れては相成らぬぞ」

旦那とかお侍とか、盛んにおだてられて、若黨儀作、ちよいと好い氣持になつてしまつた。一ぱしの武家らしく、言葉使ひも急に角張つて來たのは、與吉のおべんちやらが卽効を呈したので御座いませう。

人間の弱點。

それを見拔いてゐる與吉は、

「マア／＼さう仰言らずに。持ち逃げしやうとは申しません。旦那の家來と思召して、あつしにお荷物を擔がせてお呉んなせえ」

止める暇はなかつた。

謹んで壺の包みを持つて、與吉のやつ起ち上がつてしまつたから儀作も仕方がない。ナニ、すこしでも怪しい節が見えたら、その時取つて押へればいゝのだと、

「面白い町人だ。では、ソロ／＼參るとしやうか」

いつも家來の身が、急に家來が出來たのですから、儀作も、ついそつくり返つて、茶店を後にしました。

袖すり合ふも他生の縁。

頭く石も縁の端。

色いろ便利な言葉がある……この場合、與吉にとつて。

そんなことをベラ／＼辯じ立てながら、與吉は儀作から一步退つて、お追從たら／＼に尾いて行く。

無論、氣を許しはしない。

變な素振りが見えたら、拔き討ちに……儀作が心を配つて行くと

「オヤッ！あれはッ！」

不意に手を上げて、與の公、前方を指さした。

「何ぢや？何が見える」

儀作が釣り込まれて、爪立ちして道の向うを望み見た時、パッと元來たはうへ駈け出したんです、與吉の野郎。

故元帥を偲び各社が海戰もの

新興キネマ では早くも世界の英雄東郷元帥の薨去にあひ全士悉く哀悼に滿つる時、本邦映畫界は故元帥を偲ぶ映畫の製作を計畫し着々準備を進めてゐるが東上中の田中靜技師をして薨去前後の慘報その他及び國葬實況をニュースとして撮影せしめんとし、きた一方愛國美談「敵艦見ゆ」を製作する傍ら竹田敏彥氏が故元帥を偲ぶ脚本を執筆、小松勇又は松本泰輔が主演する豫定である

松竹蒲田 では「護國の英雄東郷元帥」なる題下で同社脚本部が着稿し、主演は多分藤野秀夫がやる筈であるが、監督は齋藤寅次郎か佐々木恒次郎かゞ擔任する豫定である

日活 は嘗て「擊滅」を製作した經驗もあり東京撮影所で企畫中で山本嘉一の主演が豫想されてゐる

更にJ・O太秦でも「青年よ起て」と同型の元帥のトーキーを計畫してゐたことでもあり別な企畫のもとに製作するであらうし赤澤、映音等の群小プロも着手するらしく、因つて內務當局は際物的映畫は避ける方針であるから各社とも豫め當局の諒解を得なければならぬ譯である

キネマと演藝

街の暴風　蒲田の豪華版

日活が映畫化を目論てゐた三上於菟吉原作の「街の暴風」の映畫化權は松竹蒲田が獨占獲得し、來るべき八月の映畫界に發表する事に決定した、旣に脚本部のアダプテーションも脫稿、第一線幹部スターを網羅してのオールスターキャストを配するサウンド版とし、城戶所長自ら總指揮の任に當り、總費五割增し製作を斷行して他社を席捲する豪華版にするとなほ擔當監督は近く決定するが三上於菟吉原作もの、蒲田映畫化はこれが二回目で第一回は昭和二年八月の「炎の空」であり今度の「街の暴風」が八年目の八月に發表される事は面白い現象である

スポーツマン　ステップ　イン・ダンス

ダンスもスポーツなり！はどうかと思ふが、由來スポーツマンのダンスファンは可成り多いばかりでなく、もと／＼運動神經の人一倍發達してゐる人達だけに器用にこなす、先づ野球選手の中に探すと滿倶の荒木君、實業の野原、岩瀨、小安、武居君等を舉げればなるまい、荒木君のダンスは端麗なスタイルでアカデミックな踊り方は、さすが橫濱で本格的にやつただけにその邊の敎師も及ばぬ堂々たるもの、おそらく滿洲のスポーツ界でダンセンナンバーワンだらう、又彼氏のギャラントな舉措はあの麗貌と相俟つてオチコチのダンサー連から羨望の的▲これに次いで野原君もなか／＼の巧み、しかしさすがグラウンドにおける敏捷隼の如き面影はホールにも現れて彼氏遊擊猛ゴロを攫む時のやうな腕のひねり方で時に熱してはエロダンスになるとは某君の惡口、岩瀨君のは得意のアウト・ドロップを投げる時のやうな巨軀を擁して大風なチドリ方でホールを泳ぎ廻る武居君はオトナシイ、小安君に至つてはテキサスが三壘打になつた時、壘を走る慌て方よろしくフローアを跳んで行く▲その他では陸上の浦野君、スケートの池見君、前實業の木下君も相當なもので、又柔道六段の二宮君が重い腰を器用にふつてゐるが最後に我が運動の神樣岡部平太君を落すことは出來ない▲彼氏何でも人並以上に出來なければ承知しない氣性も手傳つてか以前よくホールに現れたものだ、しかも彼氏踊るダンサーにきつと一度は足を踏んでみる、ダンサーが痛いといつたら最後「君そりや靴が惡いんだ、僕んとこで作つた靴なら大丈夫」と例の押しで口說き立て、靴の註文、市內各ホールの古いダンサーには未だこのヒガイシャが相當ゐる筈。

八洲東天四日讀物

大連劇場における八洲東天の浪曲は久方ぶりの齒切れの良い江戸辯の啖呵で浪曲ファンの好評を博してゐるが四日の讀み物は次の如くである

雷電小田原情角力、清水次郎長（八洲東天）海國男子（燕太夫）義士の面影（秋月）水戶黃門（東湖）

松岡氏と鈴木大將『大號令』へ大獅子吼

大都映畫第一回オール・トーキー「大號令」は非常時國民の精神作興に資する國策映畫として近く完成、六月第三週（十四日より）日本劇場に封切られるが、同映畫へ松岡洋右氏が聯盟脫退の感想を、樞密顧問官帝國在鄕軍人會長鈴木莊六大將が非常時日本に對する國民の覺悟を促す大獅子吼を吹込まれ錦上更に花を添へた

私語

世界の英雄と讃へられた東郷元帥の薨去と共に俄然新興、日活松竹、JO太秦の各映畫會社が國葬のニュースを交へて元帥偉德を偲ぶ映畫の撮影に着手し始めた、しかし內務省ではその映畫化の態度に些少でも際物映畫の風が見えれば斷然禁止する筈▲中央映畫館では東郷元帥の薨去と共に丁度ストックしてゐた東郷平八郎一卷を上映、元帥の生前をスクリーンにみせてゐる▲五日の國葬當日は映畫館はどうするか數日來各館の支配人が集まつて寄々協議してゐるが未だきまらない、結局五日晝間だけ哀悼の爲め休んで夜間は開館上映することになるらしい▲市內ダンスホールは國葬當日は謹んで休業

一景氣來るか
不動產の動き活潑

往年歐洲大戰當時における在滿邦人間の景氣は、その上昇も下降も共に内地から一、二日の運延を見るを常として居たが、本格的の景氣は大正五年秋頃からであつた、爾來月を趁うて財界は活氣づき、あらゆる方面が躍動し、分けても軍需工業と船舶界の好況が素晴しかつた、この結果、必然的に物價が暴騰して、一切の物資は買へば必ず多少の利潤を收め得たものである延いて一般財界人がとかく常軌を逸して、恰かも噴火山上に亂舞するの狂態を演ずるに至つたのも偶然ではなかつた。

◇

而して、この間の景氣の足取りを見るに、最初は株式界の活躍から人氣は無暗にこの方面に集中した、獨り財界人と限らず一般人も矢鱈に投機心を唆られて思惑をやつた、しかも物價暴騰の折柄とて強氣は必ず勝利を得た、おのづから群小會社の濫設を見るにいたつた、大連などでも市井の一ルンペンが一躍會社の重役に納つて衆目を欹たしめたなどの事實もあつたほど、爾來景氣の昂進につれて益この度を強めて行つた、かくて大正八年にはこの頂點に達したが、同時にその未曾有の好景氣を招來したのに不動產の旺盛な思惑が大に助けた。

◇

卽ち東拓の如き不動產投資會社は無論のこと、商業銀行などでも旺んに不動產を擔保に巨額の貸出をやつた、從つて地價は遂に狂騰する、山縣通りが坪二千圓を呼んだり、浪速町が一千圓を超えたなど、全く途方もない高値を唱へたものだ、かくて景氣昂騰の過程には必ず不動產の活潑な動きがあることを示した、然るにこの現象は昨今において弗々兆候を見せて居る、市中不動產の賣買も相當活潑だがさらにこの思惑は郊外にまで及んで苟も工場適地と目さるゝやうな土地は殆んど買ひ占められて居るといふことだ、今の處、大連では甘井子の一角を除いては格別大規模の工業などを目論んで居ることを聞かないが、ナゼかこの土地思惑は旺盛に向ひつゝある、恐らくは財界の環境がこうした空氣を釀生したのか何れにしても過去の事實に徴してやがて一景氣の襲來を豫想される。（高松生）

獨對日滿ブロックの
物々交換を希望が本旨
進行して居る大豆交涉

ドイツ政府より對滿通商代表として派遣されてゐるハイエ氏は昨年秋以來滿洲國政府と折衝を重ね先月下旬以來大連に來つて滿鐵その他の關係方面と種々意見の交換を行つて居るが、今次の製油原料禁輸問題をハイエ氏の使命に結びつけて考へる者すら生ずるに至り俄然特產界から注目せられるに至つた、獨滿貿易に關するドイツの主張は

ドイツが滿洲より輸入する商品は一億五千萬圓に達するのに、ドイツよりの輸入品は大連揚げ一千萬圓、うち滿洲國内に入るものは三、四百萬圓に過ぎず、これほど甚しい片貿易はない、故にドイツは依然として滿洲大豆を買ふからドイツ商品も今少し買つて貰ひたい

といふにあるが、實際問題としてドイツ商品が日本商品を押し除けて滿洲に入り込むことは至難な事情にあるので、最近の情勢は單に滿洲對ドイツでなく、日滿經濟ブロック對ドイツ間に物々交換を行はんとする方に進みつゝあり、ハイエ氏の一行は近く日本に赴き日本政府との間にも交涉を進めることゝなる模樣である、しかして今までの交涉の結果ドイツ通商代表と日滿關係當局との間には大體ドイツは大豆關稅を舊に復して從來通り滿洲大豆を買ふが日滿兩國も日滿經濟ブロック内に生產し得ないドイツ商品を買ふといふ點については主義として同意して居り、今後の問題は細目に亘つて如何に具體化するかに存してゐるやうである、しかるに五月三十日突如ドイツ本國で製油原料禁油令が出たのでドイツ通商代表の活動について疑惑を抱くものを生ぜしめたが、通商代表側ではこれはドイツに輸入資金がないための一時的便法で物々交換の建前で引續き輸入することになるものと樂觀し、當地官民關係者にもその旨の說明を試みてゐる

裏日本各港は
何處も素ばらしい景氣
國際小川海運課長歸連談

國際運輸取締役海運課長小川亮一氏は約一ケ月に亘り裏日本各港、並びに阪神、東京方面と社務打合中のところ、四日入港あめりか丸にて歸任、語る

「大體築島專務が房られたから御聞きのことゝ思ふが、要するに北鮮における運輸事務の引受と共に、船會社、保險會社、サルベーヂ等の代理事務を行ふ樣になつたのでそれ〴〵關係方面に挨拶をして來たものである、ついでに裏日本各港、伏木、新潟、敦賀等を見て廻つたが、仲々大した景氣で旅館なぞでも力こぶを入れて吸客に一生懸命であつた、同地航路に關しては今のところ現狀維持と云ふ形、拓務省、遞信省、滿鐵等で色々考へてゐる樣だ、大汽の割込みもを重ねるところがあり、一方に於ては三井、島谷等の諸會社が北鮮に對して割込み交涉を…

表日本向積荷問題
北鮮同盟側と解決
多數會社の參加は結局不得策

北滿貨物の表日本向輸送に關しては本年一月十日拉濱線の假營業開始と共に國際、大汽、商船、朝郵、商船四社の間に協定を遂げ大汽、商船、朝郵三社が三分して積取ることになつたが北鮮同盟加盟會社たる中村組、川崎汽船、澤山商會、栃木商事の四社は北鮮經由貨物の表日本向扱ひを前記三社のみが壟斷するのは日滿關係の現狀に徵し不都合だとして東京の海事研究會を通じ輿論の喚起に努めるは勿論、北鮮同盟會の有力會社たる

商船 に對して割込み交涉を重ねるところがあり、一方に於ては三井、島谷等の諸會社が北鮮同盟への參加を運動する等北鮮同盟會を中心とする表日本向貨物の積取り問題は相當關係方面の重要視するところとなつた、然るに元々この問題が紛糾してきたのは北滿貨物の北鮮への出廻りが滿鐵當初の豫想に反して極めて少かつた爲めで、最初一ケ月平均六萬噸の出廻りを豫想せられたのが、一月十日から五月末日迄の出廻數量が漸く六萬噸に達した程度であつたからである、卽ち大汽、商船、朝郵三社が出廻貨物を三分して積取ることにはなつてゐるが、貨物の出廻りが多ければ他の會社にも振當ることになつてゐたものである

從つて北鮮同盟會問題は双方に充分なる理由が存して居り、簡單にこれを解決するは頗る困難と目されてゐたが、先般國際運輸專務築島信司氏が小川海運課長と東上の際、關係船會社と折衝し殊に先月二十八日神戸に於て關係者の座談會を開催、諸般の事情を說明して合理的解決に努むるところがあつた、その結果、將來はなるべく北鮮同盟會社との間に充分協調を以て臨むことになり、大體一段落を告げた模樣である

現在 の如く出廻り貨物の少量の際に定期航路を有つ大汽、商船、朝郵の外に更に不定期船が…

米の復興政策は
決して失敗にあらず（上）
頭腦帷幕のタグウエル氏所見

アメリカ勞働法曹界の驍將ダローー氏を委員長とするニラ檢討委員會の報告は、ニラが公正競爭規約の名に於て大企業の獨占傾向を助長し、中小企業並に消費者の利益の收奪を默認せるものであると斷じ、各方面に多大のセンセーションを起した。然るに大企業方面でもニラはアメリカ產業の發意を妨除する社會主義的政策であるとして從來より批難の聲が絕へない。茲許ニラは勞資双方より挾撃されてゐるかたちである。よつて此際ニユー・デイールの目的理想等について再び認識を新たにして置くことは徒爾ではない、最近のTODAY誌にブレーン・トラストの總帥レキスフオード・タグウエルが書いてゐる「アメリカはその運命を把握す」と云ふ論文は、行文稍抽象的ながら大體その目的を明らかにしてゐる。氏の所論は要するにニユー・デイールは決して社會主義的なものでなくして、寧ろ極めて民主的なものであるが、一方生產力の無政府狀態に統制を加へて大衆の福祉增進に寄與せしめんことを目指し、大膽なる實驗がまだ今後も續けられるであらう事を示唆したものである。以下はその大要である。

× ×

アメリカの眞の經濟革命は漸く始まつたばかりである、アメリカの所謂「左傾」が既に終りを告げ今後の政策に重大なる變化なかるべしとするは根本的の錯誤である吾々が進步期の終りに達し、今後は節約退嬰を以つて將來の貧窮に備ふべしとするは堪へ難き妄斷である。吾々をして今日の難局に至らしめたる一原因は吾々が餘りに多く退嬰節約し、吾々の資源並びに資本力の組織化並びに擴大化に進まざりし故である。吾々をして急進的變革を斷行せしめんとする原動力は一に吾國資源の豐穰そのものである。

吾々は個人としても、稍もすれば時代に後れ勝であるが、政府といへどもこれと同樣で、既に時代おくれとなつたものを强行せんとする傾きがある。昨年三月迄は政府は產業との關係に於いて著るしく無力となりつゝあつた、彼等は競爭的理論を捨て樣とせず、寧ろ競爭を復活せしむることを以て能事終れりとしてゐた。

× ×

然し現政府の復興計畫はこれと全く反對の理論より出發したものである、この理論は吾が產業界に起つた諸變化を認識し、公共利益と對立する產業利益の確保を目的としたものである、產業は既に一對一の競爭段階より脫して大企業制度となり、多數の組織を支配する中心組織が出來、更にその上に金融的支配が加はり、科學的管理法も發達し、全體として顯著なる進步を見せてゐる、從つて政府としてこれ等驚くべき發展を合法的なものとなすと共にそれをして社會的機關たらしめることに勉めなければならない。

旣に復興規約は殆ど全部の產業に亘つて施行され、吾々は今や自由競爭時代をはなれ、產業統制時代に入つた、この手段を通して吾々は購買力の支配に向つて進むことが出來る、而して購買力が賦與された曉には吾々の尨大なる生產設備の潛在能力は解放されることゝなる。此際アメリカの豐穰の實質的分配に對する社會統制を危險なるが故に中止すべしとなすは恰も赤旗の危險信號手を先行せしめざる限り、大道に自動車を走らしむべからずとすると同斷である（つゞく）

乾繭共同保管
引續き許可

【東京特電四日發】最近の繭安對策として農林省では乾繭共同保管施設は申請次第直に許可する方針であるが、既に三十一日には靜岡、沖繩、一日には長崎、鹿兒島の各縣にこれを許可した

シカゴ期麥
作柄懸念で暴騰

【シカゴ特電四日發】シカゴ期麥は各地旱魃の報が傳へられ、作柄懸念の買煽りありて暴騰した

三十一日　前日

（前略）…捨石を置く氣ならまた格別だが結局時期の問題だらう、萬貨方面に關しては何といつても經濟の中心が阪神地方だけに今のところまだボツ〳〵と云ふ程度だ木材のアバ取り荷役に關しては新しい埠頭の荷役方針としてかなり犧牲を拂つて斷行したが評判が好いのが幸ひだ

五月末の
郵便貯金
前月比百萬增

關東廳遞信局管内の五月末現在における郵便貯金合計は人員四十一萬五十二名、金額三千四百八十九萬四千二百八十五圓でこれを前月末に比較すると人員一萬九十七名、金額百十三萬七千九百八十二圓の激增を示し、更にこれを前年同月末に比較すると人員七萬四十五名、金額五百二十七萬七千八百九十六圓の激增を示してゐる、なほ同局管内の郵便貯金は每月增加の趨勢にあるが、特に本年五月において激增をみたのは年度末にて約九十四萬八千餘圓の元加利子をみた關係である

英國工業家が
滿洲國進出企圖

【新京特電四日發】英國化學工業界の重鎭イムペリアル・ケミカル・インダストリー會社社長サー・ハリー・マクゴクン氏は昨年日本を視察し、歸國後演說及び新聞紙上その他で日英の產業上における協力を力說してゐたが、今回その子息及び社員ウイルスン氏を日本に派遣し、本邦の當業者と連絡してゐるが、兩氏は更に滿洲國方面に於て滿鐵その他と共に連絡をとる爲め六月七日神戸發うすりい丸で來滿することになつたが、右は英國實業界の滿洲進出の嚆矢として注目されてゐる

五月中上陸苦力
前年同期對八千人增加

本年五月中の大連港上陸支那苦力の總數は三一、一四八人にして前月に比し二六、七九一人の減少を示してゐるが、前年同期に比すれば七、九三九人の增加を示し、依然として入滿支那苦力の增加を物語り、全滿土建企業の躍進の反映とも見られてゐる、なほ歸航者の總數は一二、五三六人であつた乘船地別左の如し

乘船地	人數
天津及塘沽	三、七四五
龍口	三、二六三
芝罘	一〇、〇五七
青島	一二、二五二
威海衛	一、二七〇
其他	五六一
合計	三一、一四八

聲明發表で
日蘭會商波瀾豫想

【東京特電四日發】長岡代表が蘭印消費階級に訴へる聲明書を發表したのは、蘭印側の一方的意志により纏められた日蘭兩國の立場を會商開始前に是正し、日本側が對等條件の下に於て討議すべき基礎を作らんとする意圖に出たものであるが、右聲明は餘りに調子強く蘭印政府の土人に對する面目を考慮せざるものなりとの意見が多いから會議は劈頭より緊張し波瀾を生むものと見られてゐる

錢鈔信託決算
一割三分配當申請

大連錢鈔信託會社では二日重役會を開き本年上期決算の査定を了し目下關東廳に對し決算に關する認可申請中であるが、當期業績をみるに米國における銀價吊上策等によつて可なり市況の變化をみせたので、錢鈔の取引も相當活況を呈し、賣買手數料の如きも前期に比較すると約五萬圓の增收を示したが、金融方面不振のため金利收入が減少、純益金としては結局前期より約二萬圓の增收を示したので、重役會においては株主配當を年一割三分に增配の年一割三分配當を希望し目下關東廳の認可申請中であるが當期損益計算書を示せば左の如し（單位圓）

利益の部

▲賣買手數料二一四、一〇七▲現物受渡手數料八、一九三▲諸預ケ金利息三八、九二九▲貸付金利息三、五二一▲有價證券配當金四、八四一▲株式名義書換手數料七〇▲雜損益五、八六八▲合計二七五、五三一

損失の部

▲諸稅五一、七〇六▲取引人身元保證金利息六、四九二▲社員積立金利息一▲營業費四七、二九四▲當期益金一七〇、〇三七▲合計二七五、五三一

硫安配給組合
外品五千噸購入

【東京特電四日發】硫安配給組合は市價抑壓策としてアーレンス會社より五千噸を噸當り八十八圓受渡六月中の條件で契約成立したが組合はこの損失二萬二千圓を負擔して組合建値を以て賣出すことに決定した

五月中手形交換

大連手形交換所における五月中の手形交換高は金勘定枚數三萬七千九百九十二枚、金額一億四千九百四十三圓、銀勘定は枚數一萬一千六百八十四枚、金額六千九百四十七萬一千四百六十七圓でこれを前月に比較すると（單位圓）

	枚數	金額
金	三、四七七增	一、六六六、三八六增
銀	六三三增	一七、三五九、三〇六增

右の通り金銀兩勘定の枚數金額共增加を示してゐるが、更にこれを昨年同期に比較すると

	枚數	金額
金	三、三六六增	四〇、四四一、九〇三增
銀	二、〇三三增	二、三五六、一四增

右の通り增加を示してゐるは滿洲國の經濟的建設事業の進捗につれ財界各方面共活況を呈してゐる反映と見られてゐる

朝鮮向粟發送高

【奉天特電四日發】五月中旬における朝鮮向の發送高は合計二百三十五車、一日平均二十一車にして前年と殆ど同數量である

◇…大阪府貿易館の提唱で大阪に滿蒙資源館設置計畫をたて、その資料提供方を滿鐵に要望したのは一年ばかり前のことだが、今以て何の沙汰がないとて、昨今關係筋がいさゝか焦れ込んで居るといふはなしだ。

◇…日本の都市中でも滿洲と最も緊密な經濟關係を持つてるのは無論大阪で、最近この地の財界人の滿洲に對する知識も頗る豐富になり、おのづから一段關心を持つて來てるだけ、この種の計畫の實現にも異常な希望を持つてるといふ、滿鐵でも考慮してやつたらどうです。

◇…北鮮同盟加入會社から盛んに吼えられて居た表日本仕向積荷問題も、この程國際の築島專務や小川海運課長が行つて對手側と折衝將來の考慮を條件に圓滿解決したといふ、畢竟多數社の參加は共倒れの結果を招來することが明白になつたからだとはいへ、事實の前には無理強ひも出來ないか。

市況（四日）

特產　大豆弱含
銀高と買氣薄に

今朝の定期は大豆は人氣引立たず折柄の銀高を眺めて弱合を示し豆粕も相伴つて軟調を辿り、豆油は買氣ありて強調、高粱は一般氣乘薄に保合を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
七月末	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
八月末	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
九月末	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇

出來高　百二十七車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇
六月末	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇
七月限	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇

出來高　一萬七千枚

▲豆油（強調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
七月限	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
八月限	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇
九月限	九〇〇	九〇〇	九〇〇	九〇〇

出來高　一萬五千五百箱

▲高粱（强保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
八月末	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
九月末	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇

出來高　十五車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）	三七三〇	三七一〇
出來高	百二十車	
普通大豆（袋込）	三六〇〇	三六一〇
出來高	十車	
豆粕	一一八〇	一一八〇
出來高	五千枚	
豆油	九三〇	九三五
出來高	一萬三千函	
高粱	一七八〇	一七八〇
出來高	九車	
包米	出來不申	

銀

海外銀塊は倫敦十五分一安、紐育八分一安、孟買十六分三安を入れ▲當市も現物は百九圓四十五錢と安寄りしたが定期に廻り上五錢高に止めた

錢鈔

錢鈔信託の手數料は前期に比し約五萬圓の增收であつたが金利收入減で結局純益は二萬圓の增加▲重役會では一步增配を內定し關東廳の認可申請中である。

株

大阪前場は諸株共一二圓方安東京短期の新東六圓寄日產二圓落と軟弱を入れ▲當市五品新豆は保合乍ら內地株はヂリ安商狀を辿つた▲昨今定期延の地株はサッパリ人氣なく焦付商狀を呈してゐるが鞘取引は可なり活況を呈し▲殊に東亞土木に人氣集中し猛烈な仕手戰が展開されてゐる▲同社は業績著しく好轉し殊に建築事業の活況にある今日ます〳〵有望視されてゐるが餘りに現實の採算を無視して買ふは考へものであらう。

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇

出來高　期近　百六十一萬圓

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一〇三	一〇八	一三〇
十時	一〇四	一〇九	一三〇
十一時	一〇三	一〇九	一三〇

買銀塊十六分三高、米支爲替十三仙安、米日爲替六仙安、神戸日米同事、滙申九八元〇五、滙煙九七元五五、滙水百八圓臺、上海標金保合を入れ當市現物は軟弱に寄つたがアト標金の小安を眺め小確りとなり結局前日より十五錢高に止めた

株式
內地株ヂリ安
地株閑散

北濱定期の前場寄は大株、大新五十錢安、鐘紡一圓九十錢安、鐘新十錢安、引は大株一圓十錢安、鐘新一圓安と軟調を辿り東京短期の新東は五、六十錢安、日產一圓安を入れ當市の五品、新豆保合ながら日產四十錢安、新東七十錢安に大引

十時半　一〇五・二　一〇四・一〇　一三〇・二
出來高（銀對金）五十一萬八千圓（銀對洋）三萬五千圓

前場

◇定期（單位十錢）

銘柄	當限	先限
五品	二五二	二五六
寄	二五二	二五六

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一二三	一二三	一二三	一二三

滿鐵株（保合）

東短前場	不申
大阪短期	不申
滿鐵舊株	六十六圓八十錢

◇羅取引

銘柄	當	中	先
新豆	二五	二五	二五
日產	一一一	一一一	一一一
大新	一一二	一一二	一一二
東新	一五〇	一五〇	一五〇
滿鐵二新	一	一	一

商取二三五、土木企業一六四、一七五

○爲替及受渡日歩

	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	一三〇	五八〇	一二〇	一二五	
新豆	三一五	一	一〇〇	一二五	
錢鈔	一一〇	一	一〇	一二五	
大新	一八〇	一	一〇	一二五	
東新	三二〇	一	一〇	一二五	
鐘新	三三〇	一	一〇	一二五	
滿鐵新	三三〇	一	一〇	一二五	
電々	一五〇	一	一〇	一二五	
日產	一〇五	一	一〇	一二五	

株式出來高（二日）

定期	二、七〇〇枚
延	四、七〇〇枚
羅	一、七七〇枚
合計	四、九四〇枚

商品
綿糸保合
麻袋變らず

●綿糸　米棉現物十五ポイント高先限十二、三高、印棉三留比高、大阪三品は寄高引安で結局保合を入れ當市は氣乘薄閑散にて出合なく見送る引際氣配は現物三十七錢五厘、先限三十六錢五、六厘見當

●麻袋　產地織元爲替共同事、當市は氣乘薄閑散にて出合なし

銘柄	約定期	値段	梱數
顧助	九月限	一二三〇	

出來高　二十梱

上海爲替情報

【上海四日發】標金は稍堅調味の所一般は利喰賣人氣、弗は八月物三二、八分の七仕旗銀行買の後ベルギーの賣手あつた程度にて閑散圓は北方筋の賣と日米安の爲稍強くなりしも大した商內なし

上海標金　寄値　一〇二六元一

市場電報（四日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊 現物	一九片二六分七
同 先物	一九片二分一
紐育銀塊	四四仙二分一
孟買銀塊	四留比三分一
スチール	六弗八分七
アナコンダ	一三弗二分一
英米爲替	五弗〇六仙二分一
米日爲替	三〇弗三仙
米支爲替	三三弗六二仙

神戸日米

第一回	三〇弗〇分〇
第二回	三〇弗〇分〇
第三回	三〇弗〇分〇

棉花

●米棉

現物	一一仙九五
七月	一一仙七五
十月	一一仙九九
十二月	一一仙一〇
一月	一一仙一六
三月	一一仙二六
五月	一一仙三六

●印棉

ベンゴール	一四二留比
ブローチ	二一〇留比

大阪株式

オムラ　一八〇留比

銘柄	前場寄	前場引
大株	二〇〇〇	一八九〇
大新	一八九〇	一八九〇
鐘紡	二〇八〇	二〇八〇
鐘新	一三九〇	一三九〇
日糖	一三〇〇	一三〇〇
郵船	一五一〇	一五一〇
滿鐵	六八〇	六八〇
滿鐵新	一	一
東株	一六九〇	一六九〇
東新	一	一

（短期）大新　東新　鐘新　日產　帝人　滿鐵

寄値	一八八〇	一二三〇	一三四〇	一二八〇	一〇〇〇	六八〇
引値	一八八〇	一二三〇	一三四〇	一二八〇	一〇〇〇	六八〇
高値	一八八〇	一二三〇	一三四〇	一二八〇	一〇〇〇	六八〇
安値	一八八〇	一二三〇	一三四〇	一二八〇	一〇〇〇	六八〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	一八〇〇	一八八〇
東新	一六三〇	一六三〇
五品 當	二五〇	二五〇
五品 先	二五〇	二五〇
新豆 當	一二〇	一二〇
新豆 先	一二〇	一二〇

（短期）東新　鐘新　日產　滿鐵新

寄値	一六三〇	一三四〇	一二八〇	六八〇
引値	一六三〇	一三四〇	一二八〇	六八〇
高値	一六三〇	一三四〇	一二八〇	六八〇
安値	一六三〇	一三四〇	一二八〇	六八〇

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	三二三一	三二一六
中限	三二六八	三二五六
先限	三二七〇	三二七〇

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	三二三一	三二一六
中限	三二六九	三二五七
先限	三二七〇	三二七〇

東京期米

	前場寄	前場引
當限	三二〇〇	三二〇〇
中限	三二六〇	三二六〇
先限	三二七〇	三二七〇

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
當限	一三〇〇	一三〇〇
中限	一三二〇	一三二〇
先限	一三〇〇	一三〇〇
六月	一三三〇	一三三〇
七月	一三三〇	一三三〇
八月	一三三〇	一三三〇
九月	一三三〇	一三三〇
十月	一三三〇	一三三〇
十一月	一三三〇	一三三〇
十二月	一三三〇	一三三〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	六六〇	六六〇
先限	六六五	六六五

横濱生糸

限月	前一節	前二節
六月	五四〇〇	五四〇〇
七月	五五〇〇	五五〇〇
八月	五五〇〇	五五〇〇
九月	五五〇〇	五五〇〇
十月	五五〇〇	五五〇〇
十一月	五五〇〇	五五〇〇

印度麻袋

蔴筋直積	一三留比三分一
青筋直積	一六留比六分一
爲替相場	一志六片八分三

手形交換高（四日）

	枚	金額
金	一、七九一枚	四、〇〇〇、六三三圓
銀	四四四枚	一、一九一、七六一圓

爲替相場

高値	一〇二六元七
安値	一〇二四元三
止値	一〇二五元一

鮮銀

倫敦向電賣（圓）	一志二片八分一
紐育向電賣（金票圓）	三〇弗〇分一
同上海電賣（百弗）	一〇五圓
同　賣（銀百圓）	九八圓
日本向電賣（同）	一二四圓
同　一日拂買（同）	一二三圓

奧地相場

錢鈔

	寄付	大引
金票對國幣票（奉天）現物	一〇八、四〇〇	一
國幣對金票（奉天）現物	一〇四、四〇	一〇四、四〇
金票對國幣（奉天）現物	一〇八、〇〇	一〇八、〇〇
金票對國幣（先物）	一〇四、二〇	一〇四、二〇
開原國幣對金（現物）	一〇四、二五	一〇四、二五
新京國幣對金（現物）	一〇八、〇〇	一〇八、〇〇
哈爾濱國幣對金票（現物）	一〇八、一〇	一〇八、一〇
安東鎮平銀（當限）	一〇二三〇	
安東鎮平銀（先限）	一〇二三〇	

特產

▲大豆

	寄付	大引
哈爾濱 六月限	五七五	五七〇
七月限	五七五	五七〇
八月限	五九五	五九五
九月限	六〇〇	六〇五

▲小麥

	寄付	大引
哈爾濱 六月限	一、三三〇	一、三三〇
七月限	一、三三五	一、三三五
八月限	一、二六〇	一、二六五
九月限	一、二八〇	一、二八〇

滿洲日報

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

秩父宮殿下隨員

林式部長官

植田陸軍中將

津田海軍少將

桑島亞細亞局長

武井式部官

滿洲國接伴員

沈宮內府大臣

許總務處長

張掌禮處長

高木尙書府秘書長

加藤宮內府秘書官

蔡掌禮官　張掌禮官　遠藤總務廳長　前田宮內事務官　高山拓務書記官　山下步兵大佐

奉迎・秩父宮殿下

秩父宮雍仁親王殿下には五日大連に御入港遊ばされ、六日御上陸、一路新京へ向はせられる。我聖上陛下の御名代として、滿洲國皇帝陛下御卽位のお祝ひを申さるゝ爲めである。抑々滿洲國は創立當時より我邦とは同胞も啻ならざる關係にある。日滿議定書によりて政治的並に法律的に共存共榮を規定されたのであるが、實は政治や條約を離れて、實際上の不可分關係が始めから出來上つてゐる。元來滿洲の土地は、古來日本と深い關係を持つのであるが、特に關係の深くなつたのは三十七八年戰役後である。此時實際上の不可分の關係が出來て、それから年々密接の度を增した。滿洲國の創立を見るに及んで、その關係は愈々不可分のものとなつた。日滿議定書によりて更にそれが法律的關係となり、共存共榮といふよりも更に深い關係になつた。

されば我聖上陛下に於かせられては、滿洲國々家の確立發育に關して、極めて深い御思召を掛けさせられることは申すまでもない。此事は建國當時の聖勅にも表現され、滿洲國の獨立を尊重し、その隆昌を謀るのが我帝國の國策たるべき旨を宣明し給うてある。是の故を以て帝政になりては、此の關係深き國土に君臨し給ふ滿洲國皇室に對せられて、特に御親密なる御思召を抱かせらるゝことは申すまでもない。殊に滿洲國皇室は嘗て友邦淸國の君主として、我皇室と御交誼深厚なりし御關係もあらせられる。特に立國の精神に於て、一は皇道、一は王道。均しく東洋精神に基準して國を治め、世界の平和に寄與せんとする宏謨に於て相通ずるものがある。是を以て、去る三月一日、滿洲國皇帝御卽位の際には、我聖上陛下より御鄭重なる御祝電を寄せさせられ、之れに對して、滿洲國皇帝陛下の御返電には、殊に「陛下の愛助を佑荷し」と宣はせられてある。その後、滿洲國皇帝陛下より、鄭、熙兩特使の御差遣ありて、我皇室に御禮を申され、兩特使は我皇室より特別の御優遇を賜はつたなど、兩皇室御親睦の狀を拜察し奉るに餘りある。

今次秩父宮殿下が、御名代として御訪問あらせられるによりて、兩皇室の御親睦は更に益々强化さるゝは申すまでもない。而して兩皇室の御親睦は滿洲國皇室の無窮御繁榮の因ともなり、皇室の無窮御繁榮は、滿洲國永久隆昌の保障ともなる。卽ちそれが東洋和平の基礎を固めることにもなり、世界平和の實現を期し給ふ神祖以來の我皇室の洪謨に副ふ所以ともなる。斯樣に考へて來ると、吾人はそれからそれへと、はてしなき瑞祥を期待す可く、東西將來の光明赫耀たるを想見し得る。曩に殿下御渡滿の議が決定されたとの快報を拜して、在滿邦人並に滿洲國人一同、欣喜雀躍措く能はざりしもの、誠にその故あることである。之れによりて爾來各方面共、熱誠を籠めて御歡迎の準備を調へ、一日千秋の思ひにてお待ち申し上げたが、今や愈々その佳日を迎へた。在滿邦人並に滿洲國人一同の歡喜想望するに餘りある。吾人亦謹みて、茲に御歡迎の微意を表し奉る。

軍人の龜鑑と仰ぐ 勤務の御精勵
秩父宮殿下御逸話

秩父宮殿下は士官候補生として麻布の第三聯隊に御勤務遊ばされてから永らく同隊勤務として御精勵遊ばされ、その御高德は軍人の龜鑑として既に東京兵書刊行會から「噫戴」秩父宮殿下御高德集が發行されてゐる程である、いま殿下の麻布聯隊御勤務中の御逸話の一つ二つを紹介して如何に殿下が軍人としても立派な御勤務振りを示させられたかを明らかにする

演習を御督勵

大正十一年八月三十日麻布聯隊の將士が下志津廠營中のことである、第二大隊は櫻並木附近に集合し前進を開始したが、殿下の屬し給ふ第六中隊は更に千五、六百米を迂廻して敵の左翼に迫るべく命を受けた、時に暑熱灼くが如く驅歩また驅歩の追擊に、中隊の將士は流汗淋漓、士卒の行動また漸く鈍つたが、殿下には常に隊の先頭に立たれ御督勵遊ばされた、演習終了後兵士は我を爭つて水筒を傾け、しかもなほ頻に水を求めてゐる姿を御覽になつた殿下には御自身の水筒を兵卒に分ち給ひ遂に御自らは一滴だに御口に遊ばされなかつた、この時のことを一兵卒は日記に左の如く記してゐる

水筒の水無くなりし時、殿下には御自身の水筒の水を兵卒に分たれ、殿下には一滴も御飮みにならざりき、殿下のこの御心を自分は深く〱頭に納め日々の演習を熱心に勵まずには居られません

御用務には 休暇を御利用

殿下は萬已むを得ない御用の他は全く休暇をお取りにはならない、各種運動に御興味をお持ち遊ばされる殿下ではあらせられるが、これも日曜公休を御利用されてのことであり、先年赤坂表町御殿へ御移りの際の如きも、岡崎中佐が途中御歸京を御勸めしたが御聽入れがなく、下志津廠營演習から御歸京まで御延期遊ばされ、その演習の慰勞休暇として聯隊休日があるのを御利用遊ばされて御移轉になつた、また已むを得ない場合の休暇の御實施に際しても必ず御自身願書を御認めになり、中隊長を經て聯隊長に御提出遊ばされ聯隊長から「願の通り許可」の朱色奧書を御取りになるまでは決して御實施遊ばされなかつたのである

【御寫眞說明】（上）演習に御參加の秩父宮殿下（中）御遠乘りに御參加の殿下（下）學生聯盟御檢閱の殿下

御親切で御氣輕

大正十二年一月十日、初年兵入隊の日のことである、殿下には入營兵一般の狀況御視察のため體操場に向はせられる時入營兵附添人の帽子が折柄の烈風に吹き飛ばされたのを御覽になるや、殿下は御自らこれを追かけてお拾ひになり莞爾として附添人にお渡しになつた御親切なしかも御氣輕な殿下の御心がこゝにもよく現れてゐる

特務曹長の感激

またかうした話もある、永らく殿下の部下として精勵した某特務曹長が最先任の故を以て待命となつた、殿下にはこれを惜まれて記念品を下賜され、また軍旗祭の日、殿下御自身彼をその愛兒と共に御撮影遊ばされこれを御下賜になつた、特務曹長の感激が眼の前に浮んで來るではないか

責任感御強く 職責御遂行
永田鐵山少將謹話

殿下はどんな御任務でも又如何なる場合でも最も積極的に、又極めて強い責任感を以て職責を御遂行になられます、富士の裾野の演習場に東宮塚といふ岡があります、その東南側の稜線には一帶に野バラが密生してゐます、そしてこの東宮塚に防禦してゐる敵を東の方から攻擊する場合、攻擊軍はどうしてもこの野バラの地帶へ斥候を進めないと防禦陣地の樣子を十分に偵察することは出來ません、しかし野バラの密生してゐる中へ入り込むことがなみ大抵の苦しみでないことは誰にも想像が出來ませう、そのために斥候なども多くはその中へ入り込むことを躊躇いたします、或る日、この地點で攻防演習が行はれた時殿下には將校斥候の命を受けさせられて敵情偵察に出向かはれました、時は夜でした、中空に懸つてゐる明月は水銀の樣な光を敵の上にも味方の上にも投げかけ闇にかくれて自由の行動を取ることは出來ませんでした、殿下には兵士などをある叢の中へお止めになり、單身野バラの地帶へ御進み遊ばされ敵に發見されぬやう地面にヒタ伏になられたまゝ野バラの中を匍匐前進遊ばされました、それから二時間の後攻擊軍は勇敢にこの野バラの稜線を乘越えて東宮塚の陣地を占領しました、その中に殿下のおいで遊ばしたことは勿論でありますが、かたく指揮刀を持たれた右の御手と輕く鞘を握つてゐらせられた左の御手の處々に針で刺したやうに血の滲んだ個所のあることは月の光の下でさへ判つきりと御見受け申すことが出來たといふことで御座います

禮儀に御厚き殿下

殿下が禮儀に御厚いことも非常なもので、上官に對しては常に道路の右側を讓り給ひ、朝な朝なの御出勤に際して必ず隊長の室に來られて「お早うございます」と御挨拶遊ばしたと、當時中隊長であつた友成大尉が感激して謹話してゐる、又殿下は御出勤は晴雨に拘らず御徒步であつたが御通路の子供達は「あゝ宮樣がお通りになる」と口々に叫びながら列を正して最敬禮をすると、殿下は莞爾として御答禮を賜はるのであつた、殿下の御禮讓について北野中佐は左の如く謹話してゐる

殿下が陸軍大學校御入校の時でありました、態々大隊長室に御越しになられ、一般將校がすると同樣の御態度と御言葉で御申告遊ばされました、又私が所用のため時々殿下の中隊の將校室へ參りますと、その都度殿下には直ぐ樣御起立不動の姿勢をおとりになられて敬禮をなさいます、そして私が先づ椅子に腰掛けてからでないと決してお腰をかけられません、又夏季一般中隊附將校と同樣に上衣を脫して居られます時など必ず上衣を御召になられてそれから御敬禮なされるのでありました

御觀察力 優れさせ給ふ
牛島少將謹話

申すも畏多いことながら殿下が如何に總ての點に優れた觀察力を御持ち遊ばされるか、適切な例として牛島少將は左の如く謹話してゐる

殿下は內務の實施に關しても隊長の希望を一番良く徹底的に御實行遊ばされました、大正十二年の震災の爲兵舍はバラックになつて將校以下不自由な生活をいたしました、その年の冬は非常に寒いだらうとの豫想でしたが、それ程でもありませんでした、けれどもその翌年の夏になつたところが室の中は殺人的の熱氣で將兵共に可なり苦しみました、そこで取敢ず各中隊に溫度の統計をとつてそれを報告する樣に要求いたしました、けれども餘り適切なものは出て來ません、然るに次の週になつて第六中隊から出されたのを見ると自分の豫想以上に精密に時期と溫度との關係が明瞭になつてゐました、自分はこれを基礎に上司に報告して應急防暑設備をしてもらつたのでありました

青年の心理を 御理解
横山少尉謹話

殿下は或る時は思想問題に、或る時は國民教育問題に、或る時は[illegible]問題に、日夜御研鑽遊ばされ御嘉納を傾け給うて愉快氣に御談笑遊ばされた、特に地方小學校教育の現狀、青年團處女會等の問題には御興味を持たれ御下問を賜つたことも幾度かあつた「青年の心理を知るものは青年なり、宜しく地方青年團の指導者は元氣潑剌たる青年たるべし」とは地方青年團長の問題に觸れた時の殿下の御言葉である

公私の別を御 明らかに

その他殿下の御勇氣、御仁德、御質素について書くべきことは餘りにも多いが、殿下が如何に公私の別を明かにし給へるかを記してこの項を終る

山口縣下で演習のあつた時のことである、戰中の村落露營に殿下が御泊りになられるといふので官民共にその町の役場を掃除して、大隊本部即ち殿下の御假泊所に準備してゐた、そして夕刻戰終つて副官等が「大隊本部です」と申上げて其處に御案內すると「何だか樣子が一寸變だ然し大隊本部なら」といふ樣な御面持で二階にお上りになつた其處には町の人達が丹精こめた調度が用意されてあつたが、これを御覽になつた殿下はそのまゝ踵を返され、その側の間口の狹い格子の入つた薄汚い家をのぞかれ「こゝが好い」とつかつかと御入りになつた、勿論大隊長も後から來て家人に一宿を請うた、これなどは殿下は町民の眞心を御承知であらせられたのであるが、演習といふ公務をお考へになつてこの御處置をされたもので並居るものを心から感激させたといふことである

奉天の獻上品

秩父宮殿下に奉天市民より御獻上申上げる品物については種々考究中であつたが、滿洲產特殊毛皮を獻上する事に決定した

日滿兩國親善史上に 更に輝く歡びの記錄
擧國奉迎、御名代宮殿下

新興滿洲帝國は建國尚日淺きにも拘らず列國驚異の裡に目覺しき成長を遂げ、去る三月一日を以て輝かしき皇帝御卽位並に帝制實施の大典を擧行するに至つた、依つて滿洲國皇帝陛下にはその御挨拶として曩に親く訪日修聘特使鄭、熙の兩大臣を我が國に御差遣遊ばされ、兩特使はわが皇室に對し奉り、皇帝の御親書を捧呈した、右に對し我が皇室に於かせられては、今回特に秩父宮殿下を御名代として御差遣遊ばされ、御卽位並に帝制實施に慶祝の御意を表せられる事になつたが、去る二日帝都を御出發遊ばされた御名代宮殿下には御旅路御恙なく、愈々今五日御召艦足柄にて大連に御入港遊ばされ、六日御上陸直に御召列車にて國都新京に向はせられる御豫定である、いふまでもなく日滿兩國は遠き古より脣齒輔車の關係にあり、政治、經濟、軍事その他の上に於て密接な關係を有ち、所謂共存共榮の責務を相互に負擔するものであるが彼の滿洲事變を契機として新滿洲國出現するやその關係は一層緊密の度を加へ、今後益々相依存して東亞の平和保持、文化の復興に努めなければならぬ實情にある、その重大な折柄兩國の帝室が著るしく御親密を加へさせられ、以て兩國民融和の範を垂れさせ給ふことは申すも畏れ多き極みながら洵に意義深き御事で、今や御名代宮殿下御坐乘の御召艦滿洲に近づくに伴れ、滿洲國官民をはじめ日滿兩國民を含む在滿三千萬民衆は多大の感激を以て御待ち申上げ、殊に淸々しく新粧を凝らした國都新京を初め御召列車御通過の沿線各地並に御上陸第一步を印せられる大連の日滿兩國民はいづれも誠意を籠めて奉迎の準備を整へて居る、大連港口御召艦の勇姿に接するは今五日の午後であり、御名代宮殿下の颯爽たる御英姿を仰ぐは六日の早朝である、今や滿らんばかりの新綠に掩はれて居る大連の天地は、重き御使命を帶びさせ給ふ秩父宮殿下を奉迎して空前の榮光に輝くであらう

御召艦"足柄"一路平安 けふ午後大連に入港
奉迎驅逐艦が登舷禮式

日滿兩國の靑史を飾る輝かしき御使命を帶びさせられて、二日午後六時四十分わが帝都を御出發遊ばされた秩父御名代宮殿下には三日午後三時下關に御到着、同三時半御召艦足柄に御乘艦、同五時下關を御出發遊ばされたが折柄季節の關係で海上は濃霧深けれど老巧なる槇山艦長以下乘員の懸命なる奉仕によりて海路極めて平穩、御恙なく航行を續けられた、斯くて康德皇帝陛下を始め日滿朝野の要人並に三千萬民衆が鶴首して御待ち申上ぐる御名代宮殿下の御召艦足柄は愈々今五日午後大連港外にその勇姿を現はすことゝなつたが、これより先旅順要港部より派遣されて居る驅逐艦藤、蔦、蓼、萩の四隻は當日南三山島附近まで奉迎し、各艦とも御召艦足柄と四十五度の角度となるや登舷禮式を行ひ且つそれ〲艦長の發聲にて萬歲を三唱、御名代宮殿下の御安泰を祝し奉る事になつて居る、御召艦の御先導は藤が承はり約一〇〇米の間隔を置いて御誘導申上げ、御召艦に續いて蔦以下の三隻が埠頭東口まで御警衞申上ぐる豫定である、また港內に於ては天龍及び淀が奉迎し就中天龍には將官旗を揭げて枝原司令官以下の要港部幕僚が奉迎申上げる事になつて居るが

御召艦は 入港するや一番ブイに碇泊、二番三番ブイには天龍、第二埠頭突端には淀、同蔦、藤、第一埠頭萩、蓼の順に橫づけして御警衞申上ぐる筈である、御名代宮殿下には同夜は御召艦に於て御休息遊ばされる御豫定になつて居るので枝原司令官は御召艦碇泊後直に幕僚並に所轄長（艦長）を隨行して御召艦に伺候して御機嫌を奉伺し、なほ六日御上陸前に一般伺候者と共に伺候する筈であるといふ

新京御滯在中の御日程

秩父宮殿下には六日大連御上陸、同日午後新京に御着、新京御滯在中の御日程は左の如くであらせられる

六月六日

午前大連御上陸、午後新京御着、夜提灯行列（日本人）台覽

奉迎の提灯行列 御着京當日の夜各學校團體一般市民約七千の大提灯行列を行ふべく關係者間に協議の結果、西公園前より中央通りに集合滿鐵より配られる提灯を手に市民の赤誠を七千個の提灯に籠めて御宿舍前に到り萬歲を唱和後、市內を練り廻り南廣場に到り散會することに決定したが、全市を火の海と化する七千人の大提灯行列の盛觀はさこそと推せらる

六月七日

午前滿洲國皇帝に御會見、御親書並に勳章御贈進、滿洲國皇帝御答訪、宮廷における御午餐會に御成、午後新京神社、關東軍司令部、駐滿海軍部司令部、駐滿大使館、國務總理大臣官邸へ御成

司令部御成次第 秩父宮殿下軍司令部御成の次第左の如し

一、殿下御着になるや軍司令官御案內で御休憩室に入らせられ御小憩後單獨拜謁者に謁を賜ふ
二、次で軍司令官室に御成、軍司令官より軍狀を奏上す
三、右終つて列立拜謁を賜ひ軍司令官は殿下を奉庭に御案內申上ぐ、殿下御座に御着席あらせられるや、塚田大佐の合圖で一同擧手注目の禮を行ふ（文官は最敬禮を行ふ）終つて殿下には軍司令官の御案內で玄關に御着、御歸還遊ばされる
四、この時單獨拜謁者は玄關左側に整列殿下を奉送申上ぐ
五、單獨拜謁者は親任官、勅任官及び同待遇者（菱刈大將、西尾參謀長、田代憲兵司令官、大村交通監督部長、佐野飛行隊長、岡村參謀副長、多田少將、梶井軍醫部長、渡邊獸醫部長、高屋少將、後宮少將、梅谷囑託、庄田作輔氏、植木壽雄氏）以上十四名で殿下御成の際軍司令部玄關右側で御迎へ申上ぐ
六、列立拜謁者は（高等官並びに同待遇及び判任官中の有位有勳者）で殿下御成りの際は玄關に向つて右側に堵列しその他は左側に御迎へ申上げる

なほ當日の服裝は武官は軍禮裝、文官は正服乃至フロックコートを着用し、勳章、記章は正服者は全部佩用のこと

海軍部御成次第

一、殿下御着遊ばされるや司令官初め職員一同は玄關に、その他當部勤務者は玄關前庭に御迎へ申上げ司令官御先導階上の公室に御案內申上ぐ
二、殿下には公室において司令官に單獨拜謁を賜はり、次で會議室に御成遊ばされ當部勤務の判任官以上のもの一同に列立拜謁を賜る
三、次に殿下を公室に御案內申上げ司令官軍狀を奏上す
四、右終つて司令官の御先導にて玄關に御案內申上げ殿下は御退出遊ばされる、司令官以下一同玄關及び玄關前に整列御見送り申上ぐ

六月八日

午前滿洲國觀兵式御成、賜謁及一般奉拜、特命全權大使主催の午餐會へ御成、滿洲國皇帝御親臨、午後御歡談、新京衞戍病院、關東軍司令官主催の晚餐會（日滿要人）へ御成

奉迎觀兵式次第 秩父宮殿下奉迎觀兵式は八日、新京附屬地中央通において擧行されるが、この光榮に浴する參加部隊は禁衞步兵團、新京地區警備軍、吉林步兵第四旅第十三團、騎兵第一旅第一、第二、第三團等在京部隊約一千名は徒步編成にて新京停車場より西公園前に至る道路兩側に整列して殿下を御待ち申上げる、この日皇帝陛下には大元帥の御正裝に燦く數々の勳章を御佩用遊ばされ自動車鹵簿にて新京停車場前廣場の幄舍に着御あらせられる、この時軍樂隊は國歌を奏し參加部隊はラッパを吹奏して敬禮を行ひ參列諸員も亦最敬禮を行ひ、程なく秩父宮殿下には陸軍御正裝を召させ給ひ同じく自動車鹵簿にて御旅館より式場に御着、軍樂隊の君ケ代吹奏裡に諸部隊及び參列諸員の最敬禮を受けさせ給ひ幄舍に入らせられ給ひ、やがて陛下と御同列にて御座の上に立たせ給へば諸兵指揮官王靜修中將恭々しく參加人員を御報告し奉る、次で閱兵式に移り皇帝陛下には秩父宮殿下と自動車に御同乘、金侍從武官の御先導にて御車を進ませられ植田中將、山下大佐以下隨員武官並びに王靜修指揮官、張侍從武官長馬を列ねて近く扈從し奉る、やゝ距離を置いて關東軍司令官菱刈大將を初め西尾同參謀長、張軍政部大臣等隨行、かくて禁衞步兵團より順次吉林第一旅への各部隊の御閱兵を遊ばされ、終つて新京神社前の御座に御起立遊ばされ軍樂隊の莊重なる樂の音につれて堂々分列行進を始める、禁衞團初め各隊の敬禮を受けさせ給ひ日滿帝國々交上意義深き觀兵式はこゝに滯りなく終了し、秩父宮殿下には諸隊及び參列諸員奉送裡に御旅館に向はせられ次で皇帝陛下には還御あらせられる、なほこの日滿洲國簡任官以上及び日滿兩國將校、大使館員等に謁を賜ふ由に承はる

六月九日

午前國都建設狀況御視察

六月十一日

午後滿洲國側運動會へ御成

陸上競技等台覽 御旅情を御慰め申上げ且つ滿洲スポーツ界の現狀を台覽に供する趣旨から滿洲體協主催で西公園において野球、ラグビー、排球、陸上競技及びマスゲームを盛大に擧行する筈

六月十二日

宮廷御午餐會に御成、午後日滿合同の園遊會へ御成、宮殿下御主催の晚餐會（接伴關係）夜提灯行列（滿洲人）台覽

六月十三日

午前新京御發

秩父宮殿下奉迎の辭
滿鐵總裁　伯爵　林博太郎

本日茲に御差遣の宮として、畏くも御皇弟秩父宮殿下の御來滿を仰ぎ奉りますことは、誠に恐懼感激に堪へない次第であります。

今回秩父宮殿下御來滿の御使命は、申すも畏きことながら、先に滿洲國皇帝より親く、鄭熙兩訪日修聘特使を御差遣遊ばされたるに對し、我が皇室よりは帝政實施並に滿洲國皇帝御卽位慶祝の御意を表させ給はむが爲に特に秩父宮殿下を御差遣遊ばされたるものと拜承致して居ります、由來日滿兩國は政治上、經濟上並軍事上最密接なる關係を有する許りでなく、又相互に相依存して東亞の和平復興の聖業に任じつゝあるの事實に鑑み、兩國の交情は更に更に親密なるを要するのでありまして、兩國帝室が斯の如く御親密を加へさせ給ふことは、謂ふまでもなく兩國兩民融和の範を垂れ給ふ所以と拜察するのであります。

今や方に建設期に入りたる滿洲國が、內に庶政を整備致し、外に國威を伸張しまするには、今後尙我が國との共力を必要とするもの多きことを信ずるのであります。斯かる重大時局に際して、殿下の御來滿遊ばされますことは、寔に深遠なる大御心によるものと拜察致します。殿下には、これより親く滿洲の官民に接せられ、その奉迎の熱誠を御見聞遊ばされますと同時に、各般產業及び文化の御視察を遂げさせらるゝことゝ拜察するのでありますが、殿下今次の御來滿により兩國帝室は固より兩國民の交情益々鞏固を加へ、敦厚を增すに至るべきことを信じて疑はないのであります。

今や殿下には、海路御平安裡に滿洲國の門口たる大連に御到着相成り、颯爽たる御英姿を拜しまするとは、異邦[illegible]の民として、誠に欣幸に堪へないのであります。殊に我が滿鐵が、御差遣の宮殿下御乘用の光榮に浴しまするとは、我が帝國の大陸經營以來未曾有の盛事でありまして、四萬社員と共に洵に感激に堪へない次第であります。茲に、殿下御滯滿中諸事御意に適はせられむことを祈願し奉ると共に、大御心の存する所を體しまして、兩國帝室並兩國繁榮の爲に一層の至誠を竭さむことを誓ひ、謹んで奉迎の辭と致します。

日本皇室に對し 康德皇帝御感謝
沈宮內府大臣謹話

秩父御名代宮東京御出發の報を齎せば宮內府大臣沈瑞麟氏は謹んで語る

今回畏くも日本天皇陛下よりわが滿洲國皇帝陛下御登極の大典を慶賀遊ばされる爲め、皇弟秩父宮殿下を御名代としてわが國首都に御差遣あらせられましたことは我國朝野上下を擧げて欣慶に堪へざる所であります、その上わが皇帝、皇后兩陛下に夫々勳章を御贈進遊ばされる旨承つて居りますが、わが皇帝陛下におかせられては殊のほか御喜悅、友邦日本國皇室に對し深く感謝遊ばされて居ります、不肖今回首席接伴員を仰付けられました事は非常に光榮と存ずる次第でありまして、他の接伴員と協力、特に愼重に準備を致し以てわが滿洲國皇帝陛下の御誠意に副ひ奉り度いと存じます、日滿兩國政府は今後益々協力し、國民も上に倣ひ東洋平和及び眞の日滿共存共榮の實を擧げ得るに至ると確信致します

御會見の日を 康德皇帝御待兼ね
御歡迎に御心遣ひ

【新京特電四日發】新興滿洲帝國は天皇陛下の畏き御思召しを奉ぜらるゝ秩父宮殿下を奉迎して空前の榮光に輝かうとしてゐる、康德皇帝陛下には滿洲建國以來日本帝國よりの深甚なる同情と支援とを感謝しゐられるが、特に我皇室の御殊遇に對し絕大なる感謝を表されて居る、また初めて御會見遊ばされる秩父宮殿下の御事については豫て側近奉仕者より種々御聞に達してゐるのみならず、新聞雜誌等にても既に御承知あらせられるが愈々御名代宮として御渡滿の儀決定するや、更に側近奉仕者に對し殆ど連日に亘り御下問あり、また國賓としての殿下御歡迎について萬遺憾なきやう御自ら親しく御下命の模樣と洩れ承る、皇帝陛下が如何に殿下との御會見を樂しみに御待ちかねかといふ事は拜察するだに畏き極みである

新京六萬市民 奉迎の熱誠
荒木地事所長

新京滿鐵地方事務所長荒木章氏は歡喜に面を輝かしながら重責を擔ふ附屬地市民代表として眉宇に緊張の色をひらめかし、謹んで語る

滿洲國皇帝登極慶祝の御名代として御差遣の秩父宮殿下の御旅路一路平安、御前途に光あれかしと祈念し奉るのみであります、殿下が新裝の國都新京に御越し遊ばされるといふことは、滿洲國にとつては勿論、我々新京附屬地市民にとつても限りなき歡喜と力強さと尊さとを感ぜしめらるゝ次第でありまして、我々は感激の外ありません、之により日滿兩國は益々固く結盟せらるべく、東亞の和平今後一段と豐かなるべきを確信するものであります、我々新京附屬地六萬市民は、意義深き空前の御盛儀に對し奉り、一意赤誠をこめて御歡迎の準備に萬遺漏なきを期して居ります

奉迎に歡喜の新京
官民擧つて準備を整ふ

【新京特電四日發】滿洲國建國以來最初の國賓として秩父宮殿下を御迎へ申上げる滿洲國首都新京では既に奉迎の準備全く整ひ、日滿官民擧つて感激しつゝ御來京の日を御待ち申上げて居る、國賓殿下が國都に

第一步を 印せらるゝ新京驛は貴賓室、皇族室の設備終り、その他ホームの塗り替へ待合所の淸掃等も十分行はれ、殊に御小憩を仰ぐ皇族室にはテーブル、椅子等淸々しく裝はれ、室內の趣きを添へるため新綠の楓が靑磁の鉢に生き〲と飾られ、これが金無地の四双屛風に照り映えてゐる、一步驛を出づれば附屬地市民の赤誠になる大奉迎塔が紅白の彩りの中に「奉迎　秩父宮殿下」の七文字を電飾に浮き出し塔の周圍は綠滴る植込みで驛前を飾つて居る、なほ殿下奉迎の大園遊會場たる西公園もまたあづまや、ベンチ、柵等いづれも淸々しく塗り替へられ、池の浚渫、散步道の補修等悉く遺憾なく行はれ、一方當日會場に於て殿下の

御旅情を 慰め奉るため特に選定したる滿洲獨特の高脚踊りや芝居の準備も着々整ひ出演者も既に全部入京、その練習に餘念がない、更に滿洲國官吏や民間代表の榮ある賜謁場たる新京商業學校に於ても既に總ての改修なり、御休憩遊ばされる校長室の調度品も亦全部新規に整ひ、斯くて國都新京は今や、殿下の御着京を感激の裡に只管御待ち申上げて居る

滿鐵資料獻上

滿鐵では秩父御名代宮殿下の御渡滿に際し滿鐵の組織および事業槪況を示した刊行物を御內意を伺つたうへ獻上することゝなつたが、最近急速に膨脹して來た滿鐵の現狀を御說明申し上げるためには現在のものを多少補正する必要があるので總務部資料課では目下新編輯を急いでなり正確最新なものを印刷することゝなつた

奉迎の歌
南滿洲教科書編輯部作歌

一
薰風萬里初夏の
光かゞよふ滿洲に
かしこき宮の御姿を
拜がみまつるめでたさよ

二
友邦永久の慶びに
大君の詔を傳ふべく
五百重の潮路はるばると
いでまし給ふ尊さよ

三
豐榮昇る日の本の
竹の園生の御榮を
いのる心の一すぢに
いざや謳はん聲高く

日本刀獻上
大連市民から

大連市役所では御名代宮殿下御來滿を衷心奉迎する市民の赤誠を披瀝し奉るため滿洲產の原料を以て鍛へ上げたる著名なる特殊鋼で製作された見事な日本刀一振を獻上する筈である、なほ遞信局においては日露戰爭當時の野戰郵便所時代以後、管內で使用した記念スタンプ七十六種の印影を畫帖に作成して獻上することになつてゐる

御盛事に 眞に感激
遠藤總務廳長

今日いよいよ秩父御名代宮殿下には內地御出發、我滿洲國御訪問の御途に上らせられるに當り我々奉迎接伴員一同襟を正して殿下の無事御着滿を御待ち申上げる次第です、思へば親交愈々固き滿日兩國に斯る未曾有の御盛事を控へ、我々一同眞に感激に堪へませぬ

關東廳滿鐵の 扈從者

秩父御差遣宮殿下に對し關東廳からは大場警務局長及藤原秘書官が御在滿中扈從申上げることに決定、御召列車御乘車に際しての滿鐵側扈從者は左の如く決定したがなほ總監司令部員資格において滿鐵囑託將校一名が職務乘車する筈である

總裁　林博太郎
理事　村上義一
鐵道部長　羽田公司

御上陸當日は 國旗を揭揚

御召艦足柄入港當日たる五日の大連市は各戶奉迎旗を揭げ且つ提灯行列をなして遙かに御旅情を慰め奉るべき豫定であつたが當日は恰も故東郷元帥國葬日に決定したのでこれを取り止め當日は大正元年勅令第二號に依り歌舞音曲を總て停止し弔旗を揭げて遙かに弔意を表することになつた、然し六日は御名代宮殿下御上陸新京に向はせられる當日であるから各戶一齊に奉迎旗を揭げて重き御使命を帶びさせ給ふ殿下の御無事を祈り奉る事になつて居る

奉迎者心得

御差遣宮殿下の大連御上陸當日の一般奉迎者心得は左の如くである

一、不體裁に亘らざる服裝をなすこと
二、「ステッキ」類は携帶せざること 雨天の外傘を携帶せざること
三、一般奉迎送の者は警察官の指揮により一定の場所に集合整列すること
四、殿下御通過の際は脫帽敬禮をなすこと
五、酒氣を帶び又は喧騷の言動は愼まること
六、屋上、階上、車馬上、板塀、欄、樹木等の高所より奉拜せざること
七、奉拜者は他人に迷惑を及ぼす物件を所持し又は犬等を連行せざること
八、御沿道の飼犬者は當日犬の繫留を嚴にすること
九、沿道奉拜者は小旗を打振り又は萬歲を奉唱することは遠慮せられたきこと
一〇、沿道居住者は窓を閉鎖し、階下に下り尙奉拜せんとする者は一般奉拜者の列に加はること
一一、特に許可を受けたるもの、外寫眞（活動寫眞を含む）の撮影せざること從つて寫眞機を携帶せざること

日滿修交の概觀

難波勝治

今や新興滿洲國の基礎漸く固く、本春溥儀執政が輿望を納れて九五の位に登り、元を改めて康德の大御代をひらかせ給ふた事は、獨り東洋史上に於てのみでなく、世界近世史に特筆さるべき一大洪讃である、之に對してわが皇室におかせられては、畏くも今次皇弟秩父宮雍仁親王殿下を、國都新京に御差遣遊ばされ親しく慶祝の聖旨を御傳達あらせられる、かくの如きは光彩奕々たる滿洲肇國の劈頭に於ける前代未聞の盛儀である。惟ふに滿洲國の獨立に就ては環堵の列强なほ未だその眞因を解せず、率先して之を承認したるわが日本帝國の外、僅かに最近中米サルヴァドル共和國の確認を見たのみだ、それは滿洲が久しく東北亞細亞に蟄在し、前清愛親覺羅氏發祥の地なりといふのみにて、未だ國際的に何等確乎たる面目を發揮しなかつた爲であるが、而も彼等諸外國もそこに數千年來の原有種族があつて、別箇の史的變遷を經たことを思はぬからであらう、就中近世文明の中樞を以て自任する歐米諸國民と、夙に居然たる輪奐を備へ居たる滿洲諸民族の歷史とは之まで全く沒交涉であつた、日淸戰役の當時まで日本の東洋に於ける史的位置さへ知らなかつた彼等には、滿洲最近の獨立は地から湧き出た蜃氣樓の如く感ぜられやう、それもその筈だ、肝胥の支那民國すら久しく化外の邊域として滿洲を取扱ひ、その化外たる所以は、或る獨自の史的源流を有した點にあることを顧みないのだ、夫の辛亥武漢の革命勃發當時、彼等が驅つて內外に呼び懸けた標語は「滅滿興漢」の四字であつた、而もこの運動はそれ自體滿洲の特殊性を表白したもので、最近の獨立宣言を民國への反逆視したのは大なる矛盾である、さはれ、この種の議論は今更之を繰返す必要もない、寧ろ問題は滿洲帝國出現の事實が、今後の東洋全般に如何の役割を有するかを靜觀すべき點にある。それにはこの新興地域の過去を檢討して、內外諸國民に嚮ふ所を知らしめることが急務だ、それは滿洲國の責任であり、同時に日本善隣の大義である。

滿洲との交涉
高勾麗の時代に始まる

[illegible]

國祖 東明王の登祚は西紀前三十七年、今を距る約千九百年の昔であつた、最後の寶藏王が唐の李勣に降服したまで、二十八世七百五年間の唱覇は何といつても比類ない一大偉業であつた、勿論高勾麗建國前においても滿洲と周圍との交涉あり、それに先だつて箕子の北朝鮮入も傳說に遺つて居る、殊に前漢武帝が道を今の遼陽京諸城に假り、懸軍萬里、威を鮮西半の大部に振ふたこともあるが、實質的には概ね黃渤の瀕海諸貢の便をひらき、一時の貢物を奉納させたぐらゐで、居然たる自の王業を確立したのは高勾麗に及ぶ者はない、少くとも日本と滿洲との交涉はこの東扶餘であつた、國史の語る所によれば、わが開化の御代は各地に爭亂が紛起して相當

多事 であつた、それが崇神天皇の英邁なる御方略に依つて定され、垂仁帝を經て景行帝、成務帝の御代には復び關東及九州の物情騷然を見、仲哀帝に至つては九州方面の統治策に大御心を惱まされたやうだ、當時は支那に於ても三國の分裂を合併した司馬晉の統制亂れ、中原を擧げて五胡の爭奪に委せられたが、その影響は滿洲及び朝鮮半島に大なる波紋を描かせた、慕容部の侵略に困憊した高勾麗及び百濟は、國勢一跌し、新羅をして隣邦の釁隙に乘じて蠶食を縱にさせ、更にわが筑紫熊襲と結んで邊疆を亂さんとさせた、日本武尊の血を享け給ふ仲哀天皇が、奮起して筑紫へ遠征を試み給ふたのは之が爲である、しかしその海外事情に通じ給ふ點に於て、神功皇后の御坤德は最も明徹し宏遠なものであつた、不幸その御勸告を容れさせ給はずて仲哀帝の崩御に會ふたが、この危急の際に於て皇后は決然新羅膺懲の志を定め、神籌鬼策、海を渡つて强敵を挫き新羅、百濟、高麗の諸族を鎭撫し筑紫を平定してその後三百年の

隆運 を啓かせ給ふたのだ、日本と滿洲との交涉は、間接的ではあるが、この時を嚆矢とすると斷言し得るであらう。

渤海修交の眞意
大陸の平和を基調

百濟が始めて來附したのは新羅內屬後六十餘年のことだが、當時最も富强であつた同國は、高勾麗の衰運に乘じて爲す所あらんと欲し歡をわが國に通じて北伐したが、之が動機となつて高勾麗も眞に協調の情を日本に寄せるやうになつた、その後わが國の對半島政策は常に重きを右の

三國 に置いたが、高勾麗との外交には特に硬軟兩面の諸現象が反映されて居る、高勾麗百濟も同じく扶餘族であり、わが外交問題は一に半島の內に利害範圍を局限されたが、支那及び印度の文化を最も早く攝取したものが高勾麗であつたゞけ、後者から寄與された工藝的影響は頗る大であつた

從來わが國と滿洲諸族との往來は日本海を通じて夙に盛に行はれたやうだが、神功皇后西征以後に於て高勾麗人の來仕者は一層多くなつた、勿論新羅及百濟は殿平たるわが附庸であり、その地域また相近接する關係上、彼我の交通最も深廣ではあつたが、事の滿洲に關する者より見て高勾麗と我國との國交は特筆に値する、仁德紀に日鷹吉士を高麗に遣はして技工を召させられたことや、高麗王の裔孫が本朝に投歸したことや、更にその沒落後亡民の投歸するもの多く靈龜年間千八百人を收容して武藏に置き、高麗郡を建てしめられた史實の如きその一斑を推想するに足りる、高勾麗征服後の南滿洲一帶は、約四十餘年間唐の行政下に支配されたが、高勾麗の遺臣大祚榮が渤海郡王となるに及んで、

渤海 國二百十五年間の基礎は据ゑられた、而してその版圖は殆んど高勾麗故地に均しといはれ、聖武帝の神龜五年武藝は始めて禮を具へて聘を我國に通じたが、その際の貢進物は名產人參などであつた、之はその後の數世間絕えず、往々にして使節船が北陸蝦夷の境に到着したことがある、さればわが朝廷に於ても常に藩國を以て之を待遇し、屢々親書を傳達して獎諭し給ふた、孝謙帝の時の皇翰に「來啓を見るに臣名を稱するなし、仍て高麗舊記を檢したるが高氏上表はいふ、親はこれ兄弟にして義は則ち君臣なりと、或は援兵を請ひ、或は踐祚を賀し、朝聘の儀式を修し、忠款の懇誠を效せり、禮を以て進退するは彼此共同なり、王熟ら之を思へ」とあるが如きそれだ、想ふに渤海修交の眞意は「隣交を訂し、聲援を假つて貿易の利を興し、嘗て高勾麗の舊誼を保續せんと欲した」のであらうがそれは同時に契丹その他强隣の間に伍して國力の强化を圖つた爲でもあらう、兎に角渤海と日本とのその通交ほど、大陸關係の

平和 に截然に續けられた例は稀であり、それだけ彼我の文物工藝を相補益したことは確だ、醍醐帝の時唐亡び次ぐに五代の亂を以てしたが、渤海が强隣契丹に併呑されてからはこの方面との通聘は斷絕した、渤海の滅亡は同時に滿洲に於る種族の消長であつた、契丹即ち後の遼も、それに續いた元も蒙古族である、曾て女眞系の諸族就中扶餘の掌裡に收攬された滿洲は、今や鮮卑即ち蒙古族に依つて霸權を把握されたのだ、これはその後の日本に取つても非常に影響ある變化で、東部滿洲及び朝鮮に緣故深い種族と、西北の沙漠地帶に崛起した種族とには、民情傳統自づから親疎の別があつた、この蒙元に代つて支那の宗主權を掌握した明にも、純滿洲諸族との間に融致されたほどの接近力はなかつた、殊に元の如きは放漫無智の遊牧人種を以て成つた爲か、飽まで慓悍强暴な偏武方針を縱にした、道を朝鮮東北部の王氏高麗に假つてわが博多に入寇したが、之に對して國民上下の嘗めた苦楚は實に言語に絕する者があつた、幸ひに君民一致の奮鬪に依つてこの國難を擺脫することを得たが、擧國の人心は之が爲に北方の强族に對する傳統的警戒心を植ゑられた

【寫眞說明】向つて(右)好太王碑の一部(中)契丹文字(左)滿洲文字

元に代つた明は漸次中原の文化に陶冶され、力めて前朝の覆轍を鑑としたやうだが、わが國

足利 の方針また力めて迎合主義で押通された、しかしそれは我國と明との直接關係であつて滿洲の孰れの種族とも最早連繫はなかつた、これは永い將來に色々な國際事故の遠因を醞釀させたが、その中最も著るしい障礙は滿洲と他の諸域就中日本とを隔絕させたことだ、若し各部扶餘族君臨當時に於ける通交狀態が繼續されたらその後の東洋史は餘程變つた面目を發揮したであらう

豐太閤の征韓は
清朝の中原進出促進

而してこの滿洲と他諸域との絕緣時代を來さしめたのは元である、偏武主義を以て急激に勃興した同國は、また同じ主義方針の爲に衰頹し斷滅した、而して彼女が後代に貽した業蹟は、滿洲大陸を外界から封鎖して發達の步武を鈍らし日本をして北方民族に對する深怨を懷かしめたのである、一代の英雄豐太閤が斷然

征韓 射明の師を起したのはその趣旨一に戰亂後の內國不平を外に轉ぜしめ、かれて英雄兒に有り勝ちな四方の志を成すにあつたが、而も北夷の南下、遂に如何なる國難を將來に惹起するや測られぬことを默識した爲でもある、有體にいへば戰國時代の雰圍氣中に育つた秀吉の壯擧は、それ自體忽必烈の南侵と同じく、何等見るべき功果を齎さなかつた、しかしそこに永い將來に跡附けられた民族移動の新基調があり、滿洲が支那本部と對比して特異の事情を有した歷史的地理的素因がある、かくて滿洲は對外的に忘れられると共に、對內的にはその特異の地方事情に復歸しつゝあつた、それはこの地原住種族たる女眞部の勃興であつて支那中原における朱明の漸衰狀態に反し、その釁隙に乘ぜんとする諸胡の勢力を强化しつゝあつた、就中最も顯著なのは愛親覺羅氏の發達振りだ、滿洲全土を統一した餘威を以て淸朝二百五十年の國礎を奠めたが、偶然な奇緣ともいふべきは、明末に於ける滿洲族活動の際に方り、わが國豐太閤兩次の朝鮮經略が決行されたことだ、半島の征服は直に壤を接する

滿洲 への脅威であるが、それは結果において卻て愛親覺羅氏の中原進出を手傳ふた形である、それは日滿兩國の直接關係に何等の影響ないが、豐臣氏滅後の德川幕府が、明朝を顚覆させた初期の淸廷に對して、國交恢復を策する上に或る口實を寄與したと評されぬこともない。

滿洲の特殊性
漢民族の對滿政策

爾來風霜二百有餘年間、東洋自體の國際的形勢は無風狀態を持續したが、歐洲文明の東漸に依つて日本も大陸も均しく多事多端となつた、地方的に忘れられて居た滿洲は露國の進出に刺戟されて一大風雲を捲起し、歐洲大戰後の世界事情は、遂に東北亞細亞の廣域を國際治亂の焦點たらしむるに至つた、その間の經過は事新しく茲に述ぶるに及ばぬが、それは總て二千年來の史蹟に起因したと言ひたい、何となれば滿洲の自然が昔から重大なる特異點を有したからだ、人種學より見た東北亞細亞は人類移動の一廣衢である、ツラニアン種族が東進し初めてから、東洋に於ける彼等分散の大域は西比利及び滿蒙に約束されて居た、就中滿洲は彼等の生を營むに適した廣袤と富源と地形とを有し、滿洲の

獨自 性は既にその時に胚胎して居た、所謂特殊地域なる所以は其處にある、支那大陸歷代の史蹟を回顧しても、漢民族の絕えず努力したのは北方胡狄の防禦であつた、周末秦初から四圍を傾注して築造された長城は、世界の何處にも比類ない大工事であるが、して積極的にはそれを根據として征服の步武を進め、消極的には中原の豐資を擁護する四夷の守であつた、しかしさうした關外に放遺された東北亞細亞殊に滿洲は、それが特異の獨自性あることを語るものだ、漢民族の對滿政策は力めて放任主義であつた、必ずしも滿洲の富源如何を問はずして、その民族の關內に侵入せざらんことを之れ念とした、隨つて彼等の政治は滿洲の開發に寄與する所實に少なかつた、しかしさうした自利的見解は益々滿洲在住種族を窮乏させ勢ひ武力に依つて中原の富源を覬覦せざるを得ざらしめた、それを漢人種は

文治 的に同化させ、この同化力に因る懷柔技術を誇りとした、そこに漢民族文明の偉大さがあつて、數百千年に亘つて好成績を擧げさせたが、而も同時に最初中原を望んで侵入した樸訥粗剛の武力主義者を、何時しか文弱化させて他の侵入者に乘ずべき罅隙を與へた、漢人種はこの輪廻の間に安逸を僥倖したと評して差支ない、しかし安んぞ知らんさうした生硬な外來者は、一面陸離たる漢族文明の素地を破壞し、その生々發達すべき進運を停頓させた、支那大陸を擧つて爛熟頽敗の風潮を濃厚ならしめたのは之が爲だ、更に考ふべきは世界の各隅から寄せ來る新しい刺戟だ、地大に物博き豐滿振を誇つた漢民族は、近世文明の浸潤に依つて漸次窮境に陷つた、彼等が長城外に放置した化外の邊域には、何時しか四圍の外力が殺到して開拓の基礎を固うした、特殊地域滿洲の如きはその著るしい例證の一つだ

獨立の必然性
滿洲民族にとつて

かうした大勢に喫驚した漢民族は一意外力の排除に力めたが、それは啻に對外關係を攪亂するのみでなく、更にその地に安住する內外民の生活を脅かすに過ぎない、況んや滿洲の如き

特殊 地域は、環堵の列强が、擅に之を掩有せんとすることは准されない、それは直に關係諸國の利害に大影響するからだ、換言すれば滿洲は獨り日本の生命線なるのみならず、それと境を接する總ゆる民族の生命線となつた、かくて滿洲の獨自性は益々强化され、必然的に獨立の國礎を要求せねばならなくなつたのだ、ただ滿洲民族にはなほ遍くこの意義が徹底して居ない、從來とても獨自性と依存性とが並有されて居た、これは孰の民族にも共通する現象だが、しかし獨自性が主で依存性は飽まで從であらねばならぬ、從來の依存主義が竟に永く國際平和の禍源たる所以は其處にある、隨つて最近の獨立と帝制實施とは、この傳統的缺陷に對する根本的立直しであり、更に新興滿洲の帝基は決して前淸の復活を意味しない理由なのだ、處が問題はこの獨立後の建設である、由來滿洲がアレ程永い年處を有し、而も特に文化の見るべきものがなかつた理由は、勿論風土氣候の自然的原因や、地域の北方に偏在した結果でもあるが、しかし、そこに生息した民族の大部が

外來 文化を攝取し活用し得なかつた爲でもある、彼等代々の興亡史を通觀すれば、その勇武敏慧決して魯鈍を以て論ずべきでない、氣候は寒冷だが土地は肥沃だ、林產礦產の蓄積亦到底日本の能く比肩し得る所でない、然るにこの富源は久しく未開發の儘に放棄され、數百年來著るしい經濟的進步を見なかつた、朔北沍寒の氣候が城外移民者を誘致し難かつた例は、支那本部歷代の史籍にも散見するが、人口の增加遲々思ふに任せぬとすれば、天輿の資源も容易に之を開拓するに由ない、[illegible]住民は勢ひ境を越えて他郷の富を掠取せざるを得ぬ、この經路は滿洲ばかりでなく北支も同樣だ、それは進取力に乏しく攝取に專念したためではなからうか、支那文明が黃河々谷に興隆した當時は、茂草豐樹は到る處に繁生して居た、それが漸次需給の不定狀態を捻出させたのは、人口增加に伴ふ自然情勢であつても、更に

資源 開拓の方法を無視し遲緩保守の積勢を本能化したのではなからうか、氣候的寒澤の一層少ない滿洲には、この缺陷が一層廣汎に發見されるやうだ、就中今後の國礎は單なる農本主義だけでは鞏固ならしめ難い、農業自體が機械化し科學化しつゝある、東洋文明は總ゆる博物的智識を基礎附けて居る、然るにそれは或る程度以上に伸張して居ない、例へば冶金鑛術の如きも夙に支那にあつた、それが滿洲に輸入されたのは決して遲くなかつた、然るに僅かに新羅を通じて敎へられた日本が驚くべき速度と精密さとを以て發得進步させたるに拘はらず、滿洲では寧ろ退步こそすれ更に發達して居らぬ、勿論

日本 文化の培養者は、その四通八達の國土の位置に於て、古今東西總ゆる方面から往返來往した、併しさうした刺戟に對する適應性に於て、攝取力に於て、渙然他の諸國民とその選を異にするものがあつた、この傳統觀からいへば滿洲が彼れほどの獨自性を有しながら、更にその資源の多種多樣なるに拘らず、最近まで舊態を墨守して居たことは痛惜する、これは蓋し今後建設上の要點であるが、私はこの偉業の完成を滿洲國と諸外國との協同に依つて期待し得ると思ふ、そこに獨立に就て唯一の支持者であり、衷心より共存主義の必要を唱道して來た日本の責任もある譯だ、今次皇弟殿下御渡滿の御趣旨を深く玩味し、日滿兩國の過去を追懷し、併せて將來の光明を仰止してこの言をなす譯である

白頭山頂の聖池に三女沐浴の圖(滿朝發祥の神話に因む)

輯安所在の好太王碑

輯安所在の將軍塚(高句麗東明王陵)

光榮の隨員

林權助男

首席隨員たる林男はいふまでもなく我外交界の耆宿であり、又元關東長官として我關東州及滿洲の人々には親みが多い。男は關東長官退官後、駐英大使を最後として外交官生活を打切り、大正十四年秩父宮殿下の御渡英に際し宮內省御用掛となり御輔導役として功勞少からず、今回の御渡滿に際し又も首席隨員として供奉したことは男にとつて重ね重ねの光榮である。昭和四年以來式部長官の要職にあ[illegible]仕精勵し、七十五歲の高齡にも拘はらず尙ほ矍鑠として今回の重大御使命を御輔導申上げることに精進してゐる

植田謙吉中將

陸軍中將、參謀次長の要職にある。昭和五年末第九師團長となり、七年二月上海事變に際し同師團を基幹とする部隊を率ゐ出征して軍功あり同年四月二十九日天長節祝賀會席上兇漢のために遭難脚部に負傷す、八年夏眞崎氏の後をついで參謀次長となり今日に及ぶ、[illegible]

津田靜枝少將

海軍少將、現に海軍々令部第三部長である。多年支那に駐在し事變前後第二遣外艦隊司令官として各種の要務に參畫し旅順要港部司令官となり昨年現職に轉した、海軍部內きつての支那、滿洲通として聞えてゐる

桑島主計氏

外務省亞細亞局長である。明治四十四年外交官となつて以來、奉天、漢口、桑港、孟買、シカゴ、ワシントン等の領事、總領事に歷任し昭和五年天津總領事となり八年亞細亞局長の要職に就任す

武井守成男

武井守正男の二男、大正十五年家督を繼ぎ昭和二年襲爵東京外語伊太利語科卒業後、伊太利に留學、音樂の素養深く、宮中に入り內大臣秘書官、大禮使事務官等に歷任し現に式部官、儀式課長である

前田利男伯

秩父宮附の宮內事務官である、前田家は舊富山藩主の後裔であるが利男伯は瀧口直亮伯の弟で大正十年先代利同伯の後を繼いで前田家に入つた、帝大農科の出身、大正四年大隈內閣の總理大臣秘書官となり六年皇子傅育官に任ぜられて以來、秩父宮殿下の側近に奉仕し宮內事務官となつても依然秩父宮殿下に奉仕して今日に至る

高山三平氏

拓務書記官秘書課長の職にある、農商務事務官、特許局登錄課長等に歷任し「國有財產法及國有林野法」「日本森林法」等の著書あり拓務省內の俊才を以て目せられ滿鐵監理官候補者に擬せられてゐる

山下奉文氏

步兵大佐陸軍省軍務局軍事課長である、陸軍中央部樞軸の要職にあり、殊に滿蒙延の直接の首腦者として滿洲問題に最も關係のある人其の才能は夙に部內に定評がある

光榮の隨員

御名代宮殿下御差遣に際し光榮ある隨員は左の如くである

式部長官男爵 林 權助
陸軍中將 植田 謙吉
海軍少將 津田 靜枝
外務省亞細亞局長 桑島 主計
式部官男爵 武井 守成
宮內事務官伯爵 前田 利男
拓務書記官 高山 三平
陸軍步兵大佐 山下 奉文
式部官子爵 相馬 孟胤
陸軍航空兵中佐 田副 登
海軍少佐 桑原 重遠
外務事務官 北澤 直吉
皇族附武官 寺倉小四郎
式部官 中根 信尾

滿洲國接伴員

滿洲國政府の秩父宮殿下接伴員は左の如くである

宮內府大臣 沈 瑞麟
同總務處長 許 寶蘅
同掌禮處長 張 允愷
尙書府秘書長 [illegible]木三郎
宮內府秘書官 加藤內藏助
同 掌禮官 蔡 法平
同 張 格
國務院總務廳長 遠藤 柳作
同 次長 阪谷 希一
同 秘書長 神尾 弌春
宮內府需用處長 小泉 三郎
國務總理大臣秘書官 鄭 禹
文敎部 郭 恩林
外交部總務司 朱 之正
同 庶務科長 田中 正一

宮相等御出迎

秩父宮殿下お出迎へのため滿洲國政府の沈宮相、劉宮相秘書官、張掌禮處長、湯藤總務廳長、關口秘書官、田中外交部庶務科長、中島需用處總務科長、渡邊供給係長の[illegible]

祝創刊第壹萬號並三十周年記念

秩父御名代宮殿下 けふ大連港に御着

今夜艦内御假泊 〔關東廳發表〕六日早朝御上陸

秩父御名代宮殿下御召艦足柄は五日午後七時大連港に入港するが關東廳は四日午後三時左の如く發表した

秩父宮殿下におかせられては六月五日（火曜日）午後七時御召艦足柄にて大連御入港、當夜は艦内に御假泊遊ばさる翌六日（水曜日）午前五時三十分御召艦甲埠頭岸壁御着、菱刈長官及び滿洲國接伴員伺候、續いて有資格者單獨賜謁、午前七時十五分大連驛御着、七時三十分特別列車にて大連驛御出發新京に向はせらる、追つて濃霧の場合は六月六日（水曜日）御召艦より汽動艇に御移乗遊ばされ午前六時五十分第二埠頭第十一區浮棧橋御着、御上陸の上埠頭貴賓室に於て菱刈長官及び滿洲國接伴員伺候、續いて有資格者單獨賜謁、七時五分埠頭貴賓室御發、七時十分埠頭支關御發、七時二十分大連驛御着、七時三十分大連驛御發新京に向はせらる

六日午後六時新京御着

關東軍司令部發表

【新京特電四日發】四日午後三時關東軍司令部發表＝秩父宮殿下には六日午前七時三十分大連御發、同日午後六時新京御着の御豫定にあらせらる

單獨賜謁豫定者

關東廳〔四日午後三時〕發表

六月六日の單獨賜謁豫定者左の如し

記

關東長官陸軍大將正三位勳一等功五級　菱刈隆

旅順工科大學學長從四位勳三等　野田清一郎

旅順要港部司令官海軍中將從四位勳二等　枝原百合一

陸軍中將正四位勳二等功二級　高柳保太郎

海軍造兵中將正四位勳二等　伍堂卓雄

陸軍中將正四位勳二等　山内靜夫

旅順要塞司令官陸軍少將從四位勳三等功五級　鏡山巖

關東廳警務局長正五位勳四等　大場鑑次郎

關東廳高等法院長關東廳法院判官正五位勳四等　杉浦忠雄

關東廳内務局長正五位勳四等　日下辰太

關東廳高等法院檢察官長關東廳法院檢察官正五位勳四等　下田勝久

大連民政署長關東廳事務官正五位勳四等

關東廳財務局長正五位勳五等　御影池辰雄

關東廳地方法院長關東廳法院判官從四位勳四等　中村孝次郎

陸軍少將從四位勳二等功四級　岩井勘六

海軍少將從四位勳三等功五級　牧野豐助

陸軍少將正五位勳三等功四級　長谷部照俉

陸軍少將正四位勳三等　井上乙彦

秩父宮殿下東京驛御發

二日夕刻東京驛にて謹寫、東京福岡間電送、福岡大連間空輸

交通の注意

大連警察署は六日秩父宮殿下埠頭御發より大連驛御發車迄の間奉送者及び列車乘降客に對し次の如き方針で取締る旨發表した

一、奉迎送者

（イ）單獨賜謁を終へたる人にして驛構内に於いて奉迎送せんとする人（約二十名の豫定）は（一）御列に先行せる場合は驛前下廣場より構内に入り午前七時二十分迄に所定の位置に整列せられたし（二）御列に隨從せる場合は殿下及び御隨員に隨從し驛構内に入り所定の位置に整列せられたし

（ロ）列立奉迎送者（約二百六十名の豫定）は列車の入替發等の關係上午前七時までに美濃町小荷物取扱所（美濃町交番の横）より驛構内に入り所定の位置に整列せられたし

御奉送申上げたる後においては美濃町方面に自動車を待たせある者は美濃町小荷物取扱所出口より退出しその他は驛表玄關より退出するものとす

二、列車乘降客

（イ）午前七時〇分大連驛着列車の乘客は午前七時十分迄に全部入船町「瓦斯タンク」南道路に出でしめ西方「ガード」下を通過せしめ車中に入らしむ、但し御召列車發車二十分前に至れば「ガード」下通行を禁止し諸車歩行者は榮町方面に退避せしむるものとす

（ロ）午前七時四十五分及同七時五十分大連驛發列車に乘車せんとする者は前夜迄乘車券の購入手荷物の委託等の諸準備を爲し置くを便利とす

三、諸車

（一）一般諸車にして午前七時以後驛方面より日本橋方面へ往かんとするものは總て其の通行を禁止す

（二）午前七時以後驛附近に於て駐車せんとする諸車は左記に依らしむ

イ、自動車（A）大連驛に到着せる御列自動車は御召列車發車迄は其儘とし移動せざるものとす（B）單獨賜謁者用自動車は（一）埠頭の御賜謁が艦内なる場合は御道筋を先行大連驛前下廣場に到り到着順に縱列駐車を爲すものとす（C）列立奉迎送者用の自動車は美濃町交番南側及交番前より岩代町電車停留所に至る間及榮町入口に至る間並に入船町「ガード」通路に至る間に一列縱列駐車を爲し待ち合はすものとす（D）其の他の一般自動車は驛前下廣場より入船町「瓦斯タンク」南道路に入り北側に西方に向け一列縱列駐車を爲す

ロ、乘合自動車　入船町「瓦斯タンク」南道路南側に一列縱列駐車を爲す

ハ、乘合馬車　入船町「瓦斯タンク」南道路西方北側に一列縱列駐車を爲す

ニ、人力車　入船町「瓦斯タンク」南道路南側に一列縱列駐車を爲す

四、電車

（一）午前七時迄に御道筋には一臺の電車をも殘留せしめざる事（二）御道筋より其の車體が見得ざる地點に於て待避のこと

秩父宮へ大連市の獻上品

滿洲産の特殊鋼で製作した名刀

慘澹たる苦心の結晶

大連市においては御名代秩父宮殿下に奉迎の微意を表し獻上品を以て奉迎の微意を表し奉るべく市理事者並に市會の緊急協議會を開いて愼重凝議した結果市内榮町二、大華電氣冶金公司社長上島慶篤氏が牛心臺鐵鑛山の産鑛を以て日本で初めて完成したる特殊鋼で鍛へた日本刀を獻上することが最も意義があるであらうと内議纏まり其旨上島氏に通じたところ上島氏はいたく感激し即刻

秘藏の名刀

一口を持參して大連市に寄贈した、かくて大連市においては獻上の準備に取りかゝつた、此の刀は刀身二尺二寸五分、上島氏兄弟と有名なる刀匠美濃の關孫六の後裔兼永氏とのトリオにより成つた逸品であるが、その間には血の出るやうな苦闘哀話が秘められてゐる

即ち上島慶篤氏は十數年前、安奉線牛心臺において純鐵に近い富鑛の片鱗を發見したが、舊軍閥壓迫に禍され無處のうちに十數年を經過した、滿洲事變後該鑛鑛の再調査に着手し、苦闘努力して探索を續けた結果は遂に酬いられ昨夏大鑛脈を發見するに至つた、これより先き令弟工學士上島明一氏は刀工として身を立つべく日本刀の科學的研究に沒頭してゐたが

故東郷元帥國葬 けふ

甘露寺侍從を侯爵邸に御差遣

特に御誄を賜はる

【東京四日發國通】畏くも天皇陛下には故東郷元帥國葬儀に先だち生前の功を思召され人臣光榮の極ともすべき御誄を賜はる旨御沙汰あり、本朝十時甘露寺侍從を東郷邸に御差遣遊ばされたが

此の日東郷邸では九時より遺骸の安置された奥大廣間に白づくめの装飾せる靈柩の兩側には紅白の旗、楯一對、鉾一對等を飾り、彪氏をはじめ正副委員長は大禮服に喪章をつけ加藤、吉田正副司祭長はじめ司祭一同装ひ凡正し、百合子夫人はじめ婦人はおすべらかしに袿袴或は黒紋服姿その他諸員一同禮裝勅使御着を御待申上ぐれば

斯て正十時勅使甘露寺侍從は陛下より御下賜の御榊一對、神饌、幣帛等の幣帛並に御誄を奉じて到着喪主彪氏に對し恩賜の幣帛を傳達一同聖恩に感泣する裡に吉田司祭副長幣帛を奉奠し終つて甘露寺侍從は坊城式部官の先導で靈前に恭々しく一揖の後、玉串を捧げ御誄を捧讀すれば一同功臣に寄せたまふ陛下の御仁慈に感涙に咽んだ、かくて勅使を御見送り申上げた諸員は更に十時十五分皇后陛下御使黒田事務官を、同三十分皇太后陛下御使清閑寺事務官をお迎へし彌増す光榮に感激した

故元帥に誄を賜ふ

【東京四日發國通】故東郷元帥に賜つた誄左の如し

至誠神ニ通シテ成敗ノ先幾ヲ制シ沈勇事ニ臨ミテ安危ノ大局ヲ決ス國難ニ當リ功海戰ニ嵩シ朕ノ東宮ニ在ル羽翼是レ倚リ卿ノ三朝ニ仕フル股肱是レ效ス、德望城宙ニ充チ聲華海外ニ溢ル、洵ニ是レ武人ノ典型實ニ邦家ノ柱石タリ、遽ニ溘亡ヲ聞ク、曷ソ軫悼ニ堪ヘム、玆ニ侍臣ヲ遣シ賻ヲ齎ラシ以テ弔セシム

ドレーヤ大將

【東京四日發國通】東郷元帥國葬に參列の英國軍艦サフォーク號に坐乘の英國支那艦隊司令長官ドレーヤ大將は四日午後三時三十分元帥邸に弔問した

王提督東上

【下關十四日發國通】支那聯合艦隊司令官王提督は東郷元帥の葬儀に列席のため三日門司入港四日朝幕僚四名、兵員四十名と共に下關に上陸同九時發急行で東上した

歌舞音曲停止

東郷元帥國葬當日の五日、關東廳では大正元年の勅令第二號により花柳界、映畫館、ダンスホール、カフエー其の他に對し歌舞音曲の停止命令を出した、從つて映畫館ダンスホールの如く絶對に歌舞音曲を必要とする營業は當日休業しなければならない

各國海軍儀仗兵

將校十二、水兵二百名

【東京四日發國通】東郷元帥に弔意を表するため各國海軍から派遣する軍艦はフランス軍艦プリモーゲ號を最後に全部四日中に勢揃ひをなすが各國武裝海兵の儀仗兵は五日元帥國葬の際我が儀仗兵の後に續いて英、米、佛、支、伊の順序で參列各々將校二名、水兵四十名、五ケ國合計將校十二名、水兵二百名で斯かる多數の外國軍人が儀仗兵として參加するは我國に於ける空前の事である

駐日暹羅公使

【東京四日發國通】駐日シャム公使ミトラアム・ラクサ氏は夫人書記官等同伴し三日午後九時二十分東京驛着入京した

政黨主義の政友會 〝總裁〟を首班に推さぬ

不思議なる政獲運動

【東京特電四日發】政局の急迫と次期政權の混迷に對し政友會首腦部の觀測は東事件の轉回はもはや政府の責任を免れざること明瞭となり近く齋藤首相が進退を明らかにする、これとともに現内閣は總辭職の外ない、次期政權は平沼樞府副議長落密以來絶望となり、宇垣氏は軍部方面の根強き反對に依り出現困難、清浦伯は今更出る意思がなく、結局憲政常道に依る内閣が出現することが當然であると然し政友會内でも反鈴木派、中立派等は政權が鈴木總裁に大命降下するものとは觀測されず寧ろそれを期待し希望してゐる有樣で、かゝる黨内の不統制は元老重臣方面の政局轉觀を見る上に政友會に取りて非常に不利益となつてゐる、而も鈴木氏に政權が來ない場合は黨内は鈴木排斥運動が熾烈となること明らかで今より内部の抗爭の深刻化が豫想される、なほ黨内多數の意向は清浦伯を歡迎し床次氏を副總理格で入閣せしめその後の政權を狙ひ鈴木氏を排斥せんとする者が多い

民政黨も總裁を置いてけぼり

多數は宇垣氏を推す

【東京四日發國通】民政黨では政黨内閣の出現はこの際所詮不可能なりと諦め又政友會との聯立内閣運動にも何等の關心を拂つてゐない、只最も注目すべきは民政黨が從來關係淺からぬ宇垣總督の擁立運動で民政黨の首腦部が擧げて宇垣氏を擁護してゐる、尤も民政黨では始め宇垣内閣の實現に徹底的に努力をして居たがその後の軍部關係等より幾分疑念が出て來たので一部では第二段の策として清浦伯を推さんとする運動も行はれてゐるが、宇垣擁立運動が民政黨の主流をなしてゐる

貴族院視察團

【奉天四日發國通】昨夜チチハルより來奉した貴族院議員滿洲視察團裏松子爵一行は昨夜ヤマトホテルに一泊四日奉天神社忠靈塔に參拜、市内見物をなし五日はさにて大連に赴く

お召列車の機關車決定

秩父御名代宮殿下御召列車の機關車は滿鐵が今冬から超高速度列車試運轉用に使用してゐる機關車（現在はその機關車を改造したもの）を用ひることに決定したが本機關車は現在滿鐵にあるもののうち最高級のもので既に今日まで幾度か「はと」に取つけて試驗を行ひ萬端の整備を終つて居り光榮ある各機關士、機關方も謹みのうちに張り切れるやうな元氣を見せてゐる

鶯茶の袋緒

一方研ぎは刀劍會の附屬研師鈴木蛇堂氏が六月一日の吉日を選び磨き始め四日午前までに研ぎ上げたが、細身の刀身二尺二寸五分、直刀に近く灼いひ匂ひの申分ないといはれてゐる（寫眞は大連神社の祓式）

謹製を委囑

された滿洲刀劍會においては上島四郎氏夫妻を初め無上の光榮に感激、齋戒沐浴して萬端の準備に精進した結果四日總て滯りなく出來上り大連神社にて祓式を執行のうへ同社に安置されたが朴の白鞘、滿洲産の總模樣もすがすがしく、内袋は大連神社御内殿にて使用された紅白綾の幣帛で謹製され外袋は滿洲産の柴の模樣繻子に鶯茶の袋緒が添へられてゐる

互に全精魂

を傾倒して鍛刀に精進すること前後二ケ年、この間數百口の日本刀を鍛へ上げたが、それらは陸軍省、偕行社などにおいて數十回の嚴格な實驗の結果素晴らしい出來榮だと折紙をつけられた、而して明一氏は會心の二口を完成するや急死したため右二口を令弟の遺作として一ケ月前慶篤氏の許に贈り屆けられたが今回の獻上品はそのうちの一口である、市役所より研ぎや鞘、裝等の

井上英語講義錄

爽涼の六月

青少年諸君

今こそ英語

征服の好機

ABCの讀方から

日本商品が世界の市場を風靡した今日、世界語『英語』は益々處世に必要な武器となつた。今や英語を知らずしては毎日の新聞の一頁をも完全に了解する事が出來ない。併し未だ遲くない、我國英學界の父井上十吉先生の執筆にかゝる有名な講義錄と英人吹込の附錄レコードで毎日一時間獨習すれば、ABCの讀方から英語會話に上達する迄僅か數ケ月で充分。

新學期開講

學生募集

九大附錄贈呈

講義月二回配布　壹ケ年廿四冊
左の附錄圖書附錄を無代進呈

(1) 英語リーダー　全六卷
(2) 英和小辭典　全六卷
(3) 英文復習帳　全六卷
(4) 英習字帳　全一冊
(5) 英語受驗カード　月二回
(6) 英語會話カード　月八〇枚
(7) 英語雜誌　月一回
(8) 英字小新聞　月二回
(9) 英語レコード　十二面

本校創立者　井上十吉先生

（申込所）

東京市麴町區富士見町三丁目十四番地

井上通信英語學校

振替東京參〇貳八八番

ハガキで左記へ申込次第

内容見本急送

産科　婦人科
大連市佐渡町四
木村醫院
電話六三九六番
入院應需

社説

東郷元帥の國葬を輓す

故元帥海軍大將從一位大勳位功一級東郷侯爵薨去の後、時は流れて早くも初七日に達し、愈々本日を以て轜骸を多摩の淨域に埋葬することゝなつた。畏くも今上陛下、その生前の偉勳を追賞して國葬の禮を賜ひ、天使誄を奉じて親しく軫悼の聖意を傳ふ。皇恩無量、元帥死して餘榮ありといふべし。吾人亦た涙を新たにして遙に元臣に對する追悼の情に堪へぬ。

◇

古來英雄豪傑の傳記を概觀すれば、事と人との動靜は最も密接な關係を有する。卽ち英雄は時代を生み、時代は英雄を造るの語、東西その揆を一にする。この意味に於て故元帥の時代は日本が曾て見た最も絢爛陸離たる世運であつた。明治の大御代は上に不世出の聖主を奉戴し、皇謨下に名將賢輔の輩出して、皇謨の進運に貢獻したもの多かつたが、就中最も重大な事蹟は三十七八年戰役であり、その事蹟中の最も緊要なる活動は日本海々戰であつた。旅順の包圍、奉天の攻略、孰れ劣らぬ鬪場爭劇であつたが、國家の精鋭を盡して相搏逐した對馬海戰は、この大役の死命を制するに於て最後の止めを刺した出來事であつた。

◇

之れ恰も十九世紀初頭の奈翁戰爭時に方り、ウオトルローの一戰が英佛の輸贏を決し、兼て歐洲の風雲を戡定したと同樣、バルチック艦隊の覆滅は、軈て東洋の運命を收攬し、延いて世界大にその影響を擴充した。之固より明治大帝の叡智乾德、赫々として光輝を煥發させ給ふた爲であるが、而も亦た東郷元帥の勇決果敢、能く全艦隊の威力を發揮させた爲でもある。切言すれば日本海々戰てふ千載の大事故は、英雄東郷元帥の英器を益々明確に内外に知らしめたものだ。

◇

唯夫れ東郷元帥の眞價は、その非常時に於けると常時に於けるとを問はず、終始一貫して國民の師表になつた所にある。昔から偉人の一生は太陽の如く、その日出時と日沒時とに於いて特に萬人に仰止せしめるといひ更に亂世の英雄淸平の奸臣などの語もある。卽ち非常時の大人物は必ずしも常時の偉材でないとの意だが、故東郷元帥の如きは總ての時と事とを一貫してその聲譽を失はなかつた。それは畢竟元帥の純誠愿恪なるその性に出で、事と處とを論ぜずして自然に發露したからだ。

◇

今や滔々たる世風、動もすれば物力を過信して精神力を輕視し、蹄口の滌濯たるものあつて却つて甚だしく實行に吝であり、忠誠を人に强ひ、目前の事功を之れ爭ふ。而も退いてその私を見れば强悍巧介、以て他を承服するに足るもの頗ぶる稀だ。之に反して故元帥の一生は總てが忠實、總てが謙譲であつた。偉勳秀績も深く緘默して語らず、而も一たび善しとする所は果敢邁進して遺す所ない。常時念とする所は義勇奉公に在り樸實忠信、之く處として包備風化せざるはなかつた。所謂大きく叩けば大きく響き、小さく觸るれば小さく響く。そこに紛々時流と異なる眞英雄の面目が生動した。

◇

かくの如きは故元帥が英傑として驚天動地の大勳を奏し、兼て一武人として國民上下に敬重退は生前に於ても、死後に於ても、一として賢愚老少の採つて以て模範とすべからざるものはない。これ所謂人逝くと雖も而もの。今や國葬の盛儀を具へて樞車の轅轢たるべきを思ひ、吾人は遙かに無量の感慨を表するの情に堪へない。

陸軍豫算減ぜず
明年は空軍充實
白兵一本槍は過去の夢

【東京三日發國通】我陸軍の裝備は列强に比し歷史的に劣惡で今日まで日淸、日露兩戰役に赫々たる皇軍の威武を耀かした事は大和魂の發露に外ならぬといはれてゐるが、從來の如く肉彈戰一點張りで列强に迫る事が不可能視されるに至つたので陸軍中央部でも本年度から空軍の充實を圖る事になつたこのためには既に來年度豫算編成期に直面してゐるので航空本部、陸軍省、參謀本部各方面協力具體的方法を考究中であるが勿論我が財政の現狀を充分考慮するが我が空軍の劣勢は爭はれぬ事實である以上、相當大なる充實計畫となることは止むを得ざるべく當局が如何に苦慮するとも來年度に於ける陸軍總豫算額は本年度に比し減額不可能と見られてゐる

防空警備演習
海軍省發表

【東京四日發國通】海軍省發表によれば來る七月下旬阪神方面を中心として陸海兩面の防空警備演習が行はれるが、これと同時に我海軍では軍需工業動員演習の一部を實施し一旦緩急の場合に應ずる各部の警備情況を調査すると共に官民一般の連絡協調を圖ることゝなつた

米新航空母艦

【東京特電四日發】某所着報によれば米國新航空母艦レージャン號の艤裝完成し三日就役せしめることになつた、レージャン號は一萬三千八百噸で飛行機七十二機を登載する性能を有し米國最初の航空母艦である

草間採金會社副理事長

【新京特電四日發】滿洲採金會社副理事長草間秀雄氏同專務理事小菅常三郎氏は四日午前十一時皇帝陛下に謁見を賜はり、優渥なる御言葉を

噸稅輕減
國務院會議

【新京特電四日發】第十四次國務院會議に上程の議案は左の如くである

一、噸稅に關する法規の統一整理と稅率低下の件

二、大同二年度第二準備金の件(極東關係)

臨濟宗の軍隊慰問使

名古屋市德源寺の長縄義龍師は臨濟宗大本山妙心寺より在滿軍隊慰問使として四日來連した、旅順戰蹟參拜忠靈の後北上の筈、北滿では關東軍司令部附軍政部顧問の河崎思郎中佐が、かねて德源寺道場に參禪した緣故により師の嚮導を爲す由

撫遠縣の仙境

【ハルビン特電四日發】松花江下流撫遠縣から來哈した藤吉參事官の土產話

烏蘇里河に近く撫遠縣下にある大平鎭に仙境ともいふべき珍らしい鮮人部落がある、戶數約五十戶は全村民眞面目なクリスチヤンで粗末な教會があり、年一回ハルビンから英人宣教師が來る、滿人からは神の使徒とあがめられ保護されてゐる、阿片、煙草、酒は一切作らず米、麥、大豆を作り味噌、醬油を副業に造つて地方人に賣出してゐる、昨年共產黨員が入込むと滿人と協力して排斥し滿洲國に對しては絕對の信賴を寄せてゐる、昨年江防艦隊砲艦二隻が烏蘇里に遡行した時は全村民泣いて喜んだ程だ村政は完全な自治に依り紛爭を起したことのない珍らしい模範村である

滿洲國船射擊事件で
逆襲的警告を寄す
ソ聯側より共同調査を提議

【モスクワ四日發國通】滿洲國政府は黑龍江岸ソ聯國境警備隊が先月數次に亙り滿洲國汽船を狙擊せる事件につき最近ソ聯政府に抗議を發したが、ソ政府はハルビン滿洲國外交部代表を通じて滿洲國政府に左の如き嚴重なる反駁的警告書を提出した旨三日夜公表した

ソ聯の國境警備隊は滿洲汽船を狙擊したのでなく警告のため單に汽船の煙突の上空に向ひ射擊したに過ぎぬ、紀堅號に二名の死傷者を出したのは偶々滿洲國側沿岸から匪賊が發砲したのである、國際法に依れば國境警備隊は警告が顧みられざる時は狙擊する權利を有するが、ソ聯政府は平和のため事件の眞相を調査すべき委員會の任命を提議する、尙ほソ聯政府は最近滿洲國汽船三隻が組織的にソ聯國境地點を撮影する不法行爲に出た結果國境警備隊との間に不祥事を起した事を遺憾とする、かゝる行爲は隣接國間の關係を害するもの故互ひに不祥事の再發せぬやう注意せねばならぬ、ソ聯政府は國境警備隊に對し將來かゝる場合に銃器を使用せぬ樣命令したが、滿洲國政府も自國汽船に對しソウエートの法律を侵害せぬ樣訓令されん事を切望する

鄧鐵梅奉天へ

【奉天特電四日發】安奉線三家子で逮捕された反滿抗日軍の首魁鄧鐵梅は四日午後二時二十五分奉天警備司令部より身柄引取りに向つた赤尾參謀の手で奉天へ護送されて來た

匪賊の蠢動に軍警の協力

【吉林四日發國通】吉林地區司令部では各地匪賊の蠢動頻々たるに鑑み駐軍及び警察自衞團協力向ふ一ケ月に亙り之が肅淸を期する事となつた

關東軍に中間給與令

【東京三日發國通】陸軍では滿洲事變の一段落に伴ひ關東軍の諸制度を漸進的に平年化すべく考究中であつたがこの問題は結局給與問題が中心を爲し現在行はれてゐる戰時給與を平時給與に復するか、卽ち關東軍の場合事變前の外地給與令に引き戾すかと云ふにあるが滿洲の實情から見れば關東軍の一部はなほ戰時給與を繼續しなければならぬ所もあり單なる外地給與では不充分なる所もあり複雜極まるので近く新たに關東軍に關する限りの新給與令を制定、實施したき意向を有してゐる、新給與令は戰時平時兩給與令を兩極として數階段に分つ制度とし本年四月一日から實施の豫定だつたが兵舍の築造、將兵被服等一時的に經費の增加を見るので財務當局と折衝困難を極め勅令改正に俟たねばならず法制局の審議を要する爲め意外に遲延したもので陸軍當局としては七月一日から實施したき意向だが結局七月末或ひは八月初め陸軍定期異動と平行實施される模樣である

上野博士昨日虹退治に北上

滿鐵々道建設局では二日上野博士を迎へ

哈市海關長一行
大阪商議と懇談
双方意見希望を開陳

【大阪特電三日發】ハルビン稅關長ら十四名を迎へて二日午後大阪商議樓上で意見交換會が開催された、支那海關の稅率そのまゝを踏襲して幾多の不合理と矛盾を持つ滿洲國稅制の改正運動が各地にあげられてゐる折から關係業者二百三十名の多數參會をみて手續の不敏速、事務澁滯、商品評價の亂雜無統制などのために受けた苦い經驗を述べて率直に意見と希望を開陳

これに對し海關回收により熟練者を失ひ技術的に幾多の矛盾缺陷あるところは一層の努力をなし公正と正確を期したい、稅率低減のことは國策に屬し我々は意見を述べることが出來ないが出來るだけ貴意に副ふやう歸國のうへ復命すると述べて熱誠裡に有益な懇談を遂げた

田邊次長以下各課長參集、上野博士を中心に「虹退治」の評定を開いたがこの結果上野博士は工事課員技術員を案内役に四日午前九時發の急行で龍鎭に向つた、博士は龍鎭で石村ハルビン建設事務所長と落合ひ北黑線の實地を檢分のうへ六月中旬一先づ歸連するが、その調査の結果によつていよ〳〵具體的虹退治策を立てることになつてゐる

廣島縣議の滿鮮視察團

廣島縣々會議員三上序一氏以下十四名の滿鮮視察團四日入港あめりか丸で來滿したが同縣出產物の滿鮮方面進出に資すべく約十四日間の豫定で各地の產業狀態視察後歸廣すると(寫眞は視察團)

道路の撒水
D・K生

◇近頃の樣に日射の强い時に日中いくら撒水しても三十分たたぬ内に乾いて仕舞ひそれこそ燒石に水だ。

◇市民としては朝と夕方うんと撒水してもらひ度い、どうせかう乾燥し風が吹く日中は多少ほこりのするのは止むを得ないが朝夕方の散步位はすが〳〵しい氣分を味ひ度い、殊に繁繞滿ゐるこの頃の夕つくづくさう考へる撒水丈は勤務時間なぞといはず市民にサービスして貰ひたい。

◇傅家屯行きの馬鐵が今年より撤去され、その代りに滿電バスが運轉してゐるがその爲沿道住民の迷惑こそお察しする、原始的の道路は土ほこりが一寸位積つてゐて一度バスが通ると砂塵濛々、風のない時は十分位消えない、吹きつけられたら尙酷い、夕方子供の頭を見るとほこりで眞白だ、折角の郊外住宅もなんにもならない、滿電も市もなんとか考へないものか知ら、歎願書を待つまでもなく。

市營住宅の修繕
一居住者

◇近頃市社會課は貸家拂底のためか小修繕に就て非常に不親切になつたと思はれます、抑々釘一本の修繕と雖も建物の體裁上は勿論のこと命數にも大きな影響の有るものではないか、然るに此の頃の修理は修繕道を沒却したやり方の樣だ。

◇其れに其の態度に於て全く不親切で非常識も甚だしい、尙書間何處の家も其の殆どが婦人の方が多いと思ひますが、今少し親切丁寧に御願ひしないと良い加減でやられては市自身もまた建物自體も大きな御損ではないかと思ふ、社會課の猛省を促す次第です。

電報賴信紙の改正案を求む
電々會社懸賞で

滿洲電信電話會社では從來使用し來つた和文電報賴信紙樣式に取扱上不便な點や非能率的な點はなかつたかあれば公衆が十分滿足するやう改めたいから改正案を示してほしい、場合によつては具體案でなくとも不便非能率的な點を指摘して貰ふだけでもよいといふので左の要領によつて懸賞募集をなすことになつた

▲用紙 寸法日本標準規程、A列五號、縱二一〇ミリ、橫一四八ミリ、但し切取るべき紙片がつく場合は本寸法以外とす

▲宛名 大連市大山通八〇番地電々會社規格統一委員會

▲締切 七月十五日

▲發表 八月十五日電々會社々報

▲賞金 一等一名百圓、二等一名五十圓、三等一名二十圓、四等十名各萬年筆一本

忠靈塔建設基金(本社寄託)
寄附者芳名(六月四日夕刻迄の分)

▲金五十圓也 北安鎭福昌公司出張所一同

▲金三十圓也大連伏見町奧山光茂

▲金二十六圓七十錢也 大連汽船甘井子丸一同

▲金二十圓也熊岳城婦人會員一同

▲金十圓也大正小學校谷澤美津子同紀代子

▲金五圓也 大連奧町鑫華樓楊竹香、同松林町興懋東叢魂五、同奧町永源利李隆宋、愛宕町永源利王傑章、同山縣通山本錢莊王益軒

▲金二圓也 大連楓町 奧村妙子

▲金二圓也 大連伏見臺小林先三

計 百四十五圓七十錢

累計 一萬四千六百九十一圓四十四錢

防空知識(5)
警報

敵機が我が關東州を目標にして空襲しつゝあるといふことは我々關東州に住む者は何人を問はず晝夜とも豫め知つてゐなければ燈火管制を行ふなど完全な消極防空に當ることは出來ない、また敵機が關東州から退却した場合も成るだけ早く確實に一般住民に安全になつたこと(解除といふ)を知らせれば住民が迷惑するであらう

◇

さて大連市防護團の警報班はどんなことをするかと云へば、空襲警報並に防護警報を傳達し併せて燈火管制の實施を監督するものであつて、その編成、業務は左の如くなつており、班員は全員防護面をつけることになつてゐる

▲本部 各係の指揮統制及び外部との連絡に任ず

▲警報係 地區內關係官公吏を援助して警報の傳達普及に任ず、(地區の大小、傳達機關の種類を考慮して一地區內に數組を編成し各組の要員は通常、長以下數名とし外に交代要員を準備す)

▲燈火管制係 地區內關係官公吏及び電氣業者を援助して燈火管制實施の普及徹底に任ず(編成は概ね警報係に準ず)

◇

一般市民に對し發せられる警報
こんな方法で知らす

どんな風に警報されるかといへば空襲警報においては左の通りであつて我々關東州住民は悉く、それが如何なる方法で傳はつてもその意味を豫め充分呑み込んでおいて直に命令に從はねばならぬ

・警戒燈火管制警報・

▲サイレン ブー(十五秒)と續けて十五秒間鳴らす

▲警鐘 ジヤン、ジヤン……と一分間打つ

▲交番 揭示を出す

▲ラヂオ 「只今關東州警戒警報が發せられました」と放送す

・非常燈火管制警報・

▲サイレン ブー(十秒) ブー(十秒)……と十回鳴らす

▲警鐘 ジヤン〳〵……と續けさまに二分間打つ

▲交番 揭示を出す

▲ラヂオ 「只今關東州に非常管制警報が發せられました」と放送す

▲電燈點滅 消す(二秒)點ける(三秒)點ける消すと三回以上點滅する

▲無線電信 船舶に傳へる

・解除・

▲サイレン ブーと續けて一分間鳴らす

▲警鐘 ジヤン(五秒)ジヤン(五秒)とゆるく二分間鳴らす

▲ラヂオ 「只今關東州の警報が解除されました」と放送す、夜は「今から警戒管制の狀態に戾して下さい」と附加へる

▲電燈 變電所で一齊に消した電燈をつける

▲無線電信 船舶に傳へる

なほ警報班員が口頭で觸れる時には〃空襲〃と略して觸れ、警報を解く時には「警報解除」と云ひ夜間は更に「今より警戒管制」と附加へる、また水上生活者に對する空襲警報の傳達は極めて困難であるから豫め煙花、烽火等一般に目視通信によることも考へておかればなるまい

◇

次に防護警報は官民に對し防護の實施を要求するものにして火災に對するものとガスに對するものとあるが空襲に際し防護各班は火災に對し監視を嚴重にしてゐるから火災に對しては特に警報を發しないのを通常とするが、ガスに對する防護警報は通常小型サイレン、太鼓、空罐、拍子木、小笛、旗、燈火、テープ等で之を表示する、海上における防護警報は火災又はガス災害を受けた船舶自らが通常汽笛(火災)ドラ(ガス)を以て表示することになつてゐる、而して防護警報の解除は口傳による、最後に燈火管制實施の監督は燈火管制の實施をして迅速確實ならしむるため豫め地區內住民に對し管制實施の方法、手段並に警報規定を普及徹底せしむると共に管制施設をして狀況に適合せしめんとするものである(寫眞はカムフラージユした通信班)

大觀小觀

東郷元帥の國葬に、外國儀仗兵の參列する者、英、米、佛、支、伊の五國で、將校十名、水兵二百名▲元帥の勳績德望の然らしむる所であるがこれによりても我國力伸張の大なるを見る▲忠誠なる元帥の靈、最も滿足する所であらう▲ハバロフスクで非常演習をやつたら、民衆が日軍の進攻と誤認して大騷動、火藥庫まで爆發させた▲水鳥の羽音に驚いた以上のあわてかた、平生戰爭を宣傳してゐた祟り▲宣傳も、よい加減になすべきを思ひ知つたであらう▲歐米列國相競ひて飛行機を支那に賣り込む、商賣上の事ではあるが、支那の空軍充實には日本も無關心なる能はざるは當然▲山東主席韓復榘氏の南京行南京內政部長黃紹雄氏の香港廣東行、鬪騷するものではないが、夫々の意味に於て注意さる▲支那國民黨中央執行委員會が、孔子降誕の八月二十七日を國祭日と爲す事を決議した▲左傾國民黨の優勢だつた時、儒教排斥が最も激烈だつたが、最近は右傾的になつたのだ▲本來の東洋思想を捨てゝはならぬことを覺とつて來たので、滿洲國獨立が大きな刺戟を與へた結果たるは爭はれない。

市況(四日)

株式
株式ヂリ安

內地新東日產共ヂリ安商狀を入れ當市五品新豆保合なるも新東六十錢安日產寄四五十錢安引はパイカイにて十錢高他株は概ね見送つた

◇後場

◇定期(單位十錢)

銘柄	當限	先限
五品 寄	二五二	二五五
中	—	—
引	—	—

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	三三一	三三一	三三一	三三一
新豆	三三五	三三五	三三五	三三五
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇實取引

銘柄	代行
化學工業	三〇九
土木企業	三二五
[illegible]	一七一

特產
豆油强含
品薄を眺め

後場大豆は仕手薄に弱保合閑散を示し豆粕も人氣なく保合、豆油は買氣なく不申概して閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四十九車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇

出來高 一千枚

▲豆油(强含)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千五百箱

▲高粱 出來不申

▲包米 出來不申

◇現物後場(銀建)

品目	寄付	大引
混保(袋込)	三七三〇	三七〇〇
大豆(裸物)	三六〇〇	三六〇〇
普通大豆(裸物)	—	—

出來高 四十車

品目	寄付	大引
豆粕	一一七五	一一七五

出來高 六千枚

品目	寄付	大引
豆油	九四〇	九四〇

出來高 六百箱

▲高粱 出來不申

▲包米 出來不申

錢鈔
鈔票保合

後場材料薄で氣乘薄く閑散裡の保合であつた

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	一二一〇	一二一〇	一一〇九	一一〇九

出來高 期近四十二萬圓

◇現物後場(單位錢)

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時	一一〇〇	一四〇〇	一二三五
二時	一一〇〇	一四〇五	一二三五
三時	一一〇〇	一四〇〇	一二三五

出來高(銀對金二十萬二千圓 銀對洋八萬一千圓)

商品
奧地市況

商品後場 出來不申

品目	寄付	大引
▲奉天奉票對金票 現物	五、七〇〇	五七〇〇
▲奉天國幣對金票 現物	一〇五、九五	一〇六、〇〇
先限	九四、三〇	九四、三〇
▲奉天國幣對鈔票 現物	一〇四、四〇	一〇四、五〇
▲新京國幣對金票 現物	一〇六、〇〇	一〇六、〇〇
▲哈爾濱國幣對金票 現物	一〇六、一二	一〇六、一二
▲安東鎭平銀 當限	一、五一〇	[illegible]
先限	一、五一一	[illegible]
▲哈爾濱大豆 六月	五七二五	五七〇〇
七月	五八〇〇	五八〇〇
八月	五八七五	五八七五
九月	五九七五	五九〇〇
▲哈爾濱小麥 六月	一、三一〇〇	一、三一〇〇
七月	一、三〇〇〇	一、三〇五〇
八月	一、二八二五	一、二八二五
九月	一、一八〇〇	一、一八二五

市場電報

大阪株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
大株	一一八五〇	一一八六〇
大新	一一九〇〇	一一八八〇
鐘紡	二三四五〇	二三四三〇
鐘新	二二八五〇	二二九〇〇
日糖	—	—
郵船	—	—
滿鐵	—	—
滿鐵新	—	—
東株	—	—
東新	一六八〇〇	一六七九〇

大阪株式(短期)

	大新	東新	鐘紡	日產
寄値	一一七二〇	一六五六〇	二二七五〇	一三一九〇
引値	一一六九〇	一六六〇〇	二二七七〇	一三一九〇
高値	一一七三〇	一六六二〇	二二八五〇	一三二二〇
安値	一一六八〇	一六五四〇	二二七四〇	一三一七〇

東京株式(長期)

	帝人	滿鐵
寄値	七三六〇	六六五〇
引値	七三八〇	六六四〇
高値	七四二〇	六六五〇
安値	七三六〇	六六四〇

銘柄	後場寄	後場引
東株	一五五二〇	一五五一〇
東新	一六八四〇	一六八〇〇
五品 當	—	—
中	—	—
先	—	—
豆新 當	—	—
中	—	—
先	二四四〇	二四二〇

東京株式(短期)

	東新	鐘新	日產	滿鐵新
寄値	一六六〇〇	一二七九〇	一三一九〇	六六五〇
引値	一六六〇〇	一二八〇〇	一三二二〇	六六五〇
高値	一六六一〇	一二八〇〇	一三二二〇	六六五〇
安値	一六五五〇	一二七五〇	一三一七〇	六六五〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
當限	二五三九	二五三八
中限	二五七七	二五七八
先限	二五八九	二五九〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

横濱生糸

限月	後場寄	後場引
六月	二三四三〇	二三五九〇
七月	二三一七〇	二三二八〇
八月	二二七一〇	二二七五〇
九月	二二三六〇	二二一五〇
十月	二一九〇〇	二一九八〇
十一月	二一〇七〇	二一〇九〇
十二月	二一〇七〇	二一〇七〇

神戸特產

限月	後場一節	後場二節
六月	五一六〇	五二〇〇
七月	五二〇〇	五一九〇
八月	四九〇〇	四九〇〇
九月	五一九〇	五二〇〇
十月	五一七〇	五二〇〇
十一月	五一八〇	五一九〇

品目	値
大豆現物	五二〇
先物	四二〇
豆粕現物	一四七
先物	三〇〇
滿洲小麥	四六〇

家庭

限りなき哀悼
半國旗を掲げ謹愼しませう
けふ故元帥の國葬儀

九千萬同胞の悲歎と全世界の哀惜のうちに薨去した故東郷元帥の國葬儀は、本日日比谷公園でいと嚴かに擧げられますが、吾々滿洲にある同胞も謹愼の態度を以て半國旗を掲げ遙かに哀悼の意を表さればなりません。尚本五日午後二時から大連中央公園内滿倶グラウンドで市主催の〃東郷元帥追悼祭〃が催される筈です。

半國旗掲揚法
かうするのが正しい方法

半國旗(半擧ともいふ)といふのは竿の頂(球)と旗の上縁との間を國旗のやうに密着させずに、旗の縦幅の二分の一の間隙を取つて掲げるのです。學校、官署、大建築の屋上などにあるやうな常設の旗竿でしたらその竿の中間に掲げてもかまひません、半擧の場合には球は黒布で包むか取去るかして、國旗と反對に家に向つて左方に掲げるのが正しい掲揚法なのです。

【圖は正しい半國旗の掲げ方】

秩父宮殿下 奉拜者心得
是非お守り下さい

秩父宮殿下にはいよいよ明六日大連御上陸の御豫定と承りますが、當日殿下を奉迎しやうとする市民は必ず左の奉拜者心得を守られたいとのことです。

一、不體裁にわたらぬ服裝をすること

二、ステッキ類を携帯しないこと、雨天の外は傘を持たぬこと、婦人のパラソルや日傘も遠慮されたい

三、一般奉迎者は警察官の指圖に從つて一定の場所に集合し整列すること

四、殿下が御通過遊ばされる際は脱帽して敬禮すること

五、酒に醉つぱらつたり、騒動をおこしたりして御通行をおさわがせ申さぬこと

六、屋上、階上、車馬の上、坂塀、欄、樹木の上など高い所から奉拜しないこと

七、他人に迷惑をかけるやうな物品を持つたり、犬を連れたりして奉迎せぬこと

八、御沿道で犬を飼つてゐる者は當日特に犬を嚴重に繋ぐか出られないやうにしておくこと

九、沿道奉拜者は小旗を打振つたり萬歳を奉唱することは遠慮されたい

十、沿道居住者は窓を閉鎖して階下に下り、奉拜したい者は戸口からのぞいたり家の前に立つたりしないで一般奉拜者の列に加つて奉拜すること

十一、特に其筋の許可を受けた者以外は寫眞や活動寫眞の撮影をしないこと、從つて寫眞機を携帶しないこと

婦聯の奉迎

秩父御差遣宮殿下の大連御上陸は六日と決定しましたので、當日大連婦人團體聯合會では會員約一千名が白衿紋付の正裝で奉迎申上るさうです。

風雅な
折細工風呂敷

用途のひろい風呂敷に應用した「折細工風呂敷」です。

◇…日の本の、昔懐しい國風手藝の一つに折紙細工があります。有職故實に源を發した雅びな折紙細工をそのまゝ贈答品として最も

◇…引寄せてたゝめば御慶事、金銀婚式の重ね扇、高砂の尉と姥、お節句の雛や冑、喜の字や賀の祝の海老、さては法要の蓮華など總て形の上によくその趣を表現し乍ら、解けば優美な風呂敷になるといふ重寶なものです。不二絹製縮入一圓六十錢(三越調べ)

神明高女が 高射砲獻納
生徒の淨財で

防空週間が近づいて市内各中等學校ではそれぞれ生徒の手によつて防空獻金の企てがあるやうですが神明高女では生徒等の赤誠を何等かの形あるものにして獻じたいといふので近く一千六百圓の豫算で高射砲一門を獻納することになりました。事變以來同校生徒が或はその學用品やお小遣を節約し或は國旗や玩具、クリーム等を拵へそれを賣つて集めた金額は既に六千數百圓に上り、この中から國防獻金、軍隊慰問等に五千餘圓を費し尚現在殘つてゐる淨財が一千圓餘りありますので、不足額は今年一ぱいまでの節約獻金によつて埋めることにして一先づ高射砲をといふことになつたのです。

光明婦人會
三日發會式擧行

譚家屯方面に住む婦人だちの親睦を計り併せて各自の家庭生活や社會的活動に便ならしめやうといふ目的で今度新に光明婦人會なるものが生れ三日午後零時半から桔梗町技藝女學校講堂で、盛んな發會式が擧げられ第一回役員として左の七夫人が選ばれました

▲會長増田大連汽船専務夫人▲副會長田村滿洲ドック専務夫人▲關根行商組合長夫人▲顧問大槻博士夫人、岸本赤十字病院長夫人、高塚市會議員夫人、芦刈市會議員夫人

スポーツ用語辭典

スラッガー(野球) 物凄い力強い當りの球を打ち飛ばす打者のことをいふ

スランプ(全競) 如何なる競技者も長い間には或期間中不思議に成績が惡くなる、これをスランプに陷つたといふ

スローイング(蹴球) ボールをタッチ・ラインから出した時ボールを競技狀態に戻す方法で外に出たボールに最後に觸れた者の反對側のものがタッチ・ラインに直角に立ち兩足をタッチ・ラインの上におき競技場に面して投げ入れる

防空家庭教科書 第四課
僅かに廿分の餘裕
滿洲電信電話會社總裁 山内靜夫氏談

恐慌の損害 都市が空襲を受けた實例は、ヨーロッパ戰爭においてロンドン、パリでありませう、これらの街は高層建築でありまして、アメリカのやうではありませんけれども、六、七階位は普通でありますので、空襲の當初は各階の家族が非常口へ逃げ出したりするために恰度京都の停車場で起つたやうな大恐慌が起り、又家庭の人がやたらに外へ逃げ出して、地下停車場の入口だとか、大きな地下室の入口に向つて殺到したために空襲そのものから受けた損害よりも、この恐慌のために起つた怪我人、死人が非常に多かつたのです、そこで何回もにがい經驗をなめた後に都市が防護團を開いて、その指導をするやうになりだんだん訓練されましたから終ひにはさういふことが無くなりました、主要な家庭では入口等に柵を置いたり、鐵板で窓を塞いだりして破片の飛込むのを防いだりした寫眞なあちらで能く見ました。

安全地帶は 爆彈が高層の建物に當りますと、屋根から各階の床を突抜けて下の方に參りますから、これは爆彈の大きさに依つて何處迄通るかといふことが決るのですから、何處に居つたら一番安全かといふことは一寸申しかねますが、まあ下程安全だらうと思ひます、殊に將來の建築においてこのことを考へて地下室を成るべく廣くして地下室の上のコンクリートの厚さを十分に厚くしたらいゝだらうと、土木學者や、建築學者が研究して居るのであります、パリでも、ロンドンでも山の手の方面では地下鐵がありまして、可成りの廣場の停車場もありますし中には數十呎の地下に在るところもありますから、さういふところは靜かに逃げ込みさへすれば隨分澤山の人が收容されるのでありま す、ロンドンやパリで空襲の警報をやるのに色々苦心したやうです

警報と準備 今日の軍用技術では敵襲三、四十分前に警報が出來ないといふと、敵襲に對抗する飛行機や高射砲の準備が出來ないのです、一時間に百粁飛行機が飛んで來るとすると、警報が來てから飛行機が現れる迄一時間しかない、そこで四十分準備に掛かるとすると後二十分しか餘裕がない、家庭の隅々迄警報が行亘つて燈を消す、戸締をする、これは二十分では餘程落着いてしなければ出來ないといふことが、その當時の雜誌に書いてありました。(寫眞は爆彈の彈痕、數機編隊による空襲において一臺の飛行機が六發宛一秒間隔に投下するのでこの位の彈痕はみるみる内に出來るのです)

學藝
文藝時評(一)
大宅壯一

一、純文藝の發狂

川端康成氏の「作家と作品」と題する感想(中央公論)は「文藝復興」といふ合言葉によつて鼓舞されたかの如く見える近頃の純文藝の動向を知る上に、甚だ興味のあるものである。

川端氏によると、一般性のものを缺如した作家として、極めて特殊な存在と見なされてゐる瀧井孝作氏と内田百閒氏とは、現文壇における「最高の作家」といふ讃め言葉を「安心して用ひられる」作家なのである。これと反對に、川端氏は作家的内包の廣くかつ豐な點では、純文學派中稀に見る谷崎潤一郎氏に對し「かれて尊敬しるとすれば、なかなかの痛みである」のだ。

それから更に川端氏は、この人たちに「もし作家としての幸福がありとすれば、それは童話であつて」昔から童話だといはれてゐる武者小路實篤氏の作品はもちろんのこと、問題の林房雄氏の「青年」にしても、徹頭徹尾童話だといつてゐる。宇野浩二氏のものもやはりさうで、彼の「作品の一つの特長は、好人物の多いことで」その點では、横光利一氏の代表作「寢園」や「紋章」も、やはり同じである。この見方をもつてすると、いはゆる「文藝復興」を代表するすぐれた作家のすべては、童話作家であり、その代表的な「傑作」は、ことごとく童話だといふことになる。

もちろん私は、この「童話」といふ言葉の意味を通俗的に低く解釋して、川端氏及び氏の推奬おくあたはざる一群の「童話作家」たちを傷つけようとする意志は、毛頭ない。或る意味において、藝術をして藝術たらしむるものは常識への反逆にあるのだから、すべての藝術が童話性を帶びてゐるといへるであらう。この場合の「童話」といふ意味は、常識的習性と卑俗性の支配から完全に脱却したところの、哲學上のいはゆる「純粹經驗」に近いもので「童話」といふ言葉が、或る程度適切にそれをいひ表してゐることはいふまでもない。

だが、藝術は、文學は、それだけでいゝものだらうか。常識と卑俗を排するために、一切の普遍性から蟬脱することが「純文藝」の「純」なる所以であらうか。特殊性の病的な追求「驚きに似た恐怖」は、結局つひに「狂氣」にまで到達すべきものではなからうか。

川端氏はこれを「既に怪異や神秘の領域を越えた、一種の無氣味な恐怖、半ば狂氣への共感」といふ言葉で表現してゐる。

つまり「狂氣」に到達して初めて「純文藝」はゴール・インしたといへるのである。

ゐたこの作家のつまらなさにあきれて、夢のさめたしらじらしさ」を感じたといふのである。谷崎氏の「厖大な作品集の中で、私が傑作と見たものはただ一篇しかなかつた」といふのだ。

では、瀧井氏や内田氏は、作家として何故そんなに素晴らしいかといふに、この二人が十年一日の如く「よくまあ寂しくもなく同じことばかりやつてゐられるものだといふ、驚きに似た恐れ」からきてゐるのである。その故にこそ、「作家として瀧井、内田の二氏でさへ、死んだ芥川龍之介氏でさへ到底及びもつかぬ點があつたのである。」その自らを知るところから、二氏に對する芥川氏の賞讃が生れてゐる

化學の五發見

アイオワ大學化學部の教授エドワード・バートウ教授は近代の化學的發見として人類の福祉に最も貢獻したものとして次の五つを擧げてゐる

○人絹製法の發見
○原油から石油を分解精製する方法の發見
○人工冷凍法の發見
○糖尿病患者に有効な特效藥インスラン(動物の膵臓から抽出したもの)の發見
○手術として肝臟を抽出する方法の發見

滿日柳壇
夏服 編輯局選

夏の服妻と思へぬ姿なり　綏化　熊岡　狂夢
未だ濟まぬ夏服へ見る汗の跡　錦州　小笠　白峰
夏の服去年の折目を見せて出る　普蘭店　河本登志緒
夏服になつて子供は家にゐず　大連　上河邊よし坊
夏の服夜店半値にねぎられる　奉天　岡田　初郎
夏服の月賦も延べる無駄遣ひ　大連　尾道九十八
俄か雨白いズボンを皆泣かせ　山海關　南家　忍子
熱帶の寫眞夏服ぬいで立ち　撫順　松浦　蝶古
夏服も用意しておく旅に立ち　山海關　吉田　甲子
夏痩せへ服の釦もゆるくなり　同　上倉　都一
都から下車した客の夏の服　同　小黒三原女
制服は破れて夏の風もよし　同　高杉無智庵
夏服のボタンが合はぬ日がつゞき　大連　三谷　一伸

○三才

(人)規定まだ夏服着れぬ暑氣へ立ち　山海關　松尾小女郎
(地)夏服となつて新入やつと慣れ　大連　寺山青々庵
(天)生活苦子をすかしてる夏の服　新京　山本　紅村

新刊紹介

・拓務評論(六月號) 峰岸清之氏の「日滿ブロックの進展」をはじめ滿洲關係會社の解剖等滿洲關係の記事を滿載(發行所東京澁谷區千駄ヶ谷二丁目共社、價五十錢)

・國際パンフレット通信(世界日誌第六十輯)發行所東京市麴町區有樂町二丁目タイムス通信社、價廿五錢

・東邦經濟(六月號) 發行所東京市麴町區内幸町一ノ三共社、價卅錢

・教育時論(五月廿五日號) 明治十八年創刊の古い歴史を有する同誌は本號を以て廢刊することゝなつたが發刊以來五十年に亘る同誌のわが教育界に齎した貢獻は多大である(發行所東京市麴町九段四丁目開發社、價十八錢)

・愛知の貿易(六月號) 發行所愛知縣廳商工課内愛知輸出協會、價十五錢

・日本講演通信(五月廿五日號) 本號は北聆吉氏の「强力内閣と新政治經濟機構」を掲げてゐる(發行所東京市赤坂區青山高樹町一二ノ一其社、價二十錢)

・上海(五月二十日號) 上旬下旬號を合併した滿洲事情紹介號である(發行所上海海寧路三〇〇號上海雜誌社、價八十仙)

・東方之國(六月號) 發行所東京麻布區笄町其社、價三十錢

・金曜會パンフレット(第百二十號) 發行所上海黄浦灘路上海日本商工會議所内其會

名畫物語 【12】
アテンの學苑
ラファエロ作(1483—1520)

◇花の都フイレンツエを中心とする文藝復興期の人は競つてラファエロの作を得んとし弟子達も蝟集した。

◇このアテンの學苑は其の構圖法の巧みさに於て評價されプラトーン・アリストテレースを中心にギリシヤ學界の諸星が群る狀景は壯麗である。ローマ法王の不朽の二大建築に遺したルネサンス文化の最高頂は、要するにローマ市の華さいたものでもなく、當時民衆の表現でもなかつた。たゞ法王が政治的王權に對する自已の政略上、殊にキリスト教と自已への絶對を偶像たらしめる手段にて廣く未開な下層民を搾取せるものゝ集積に過ぎない。

◇我等はそこにどれ丈の文化的價値を見出す可きか、ミケルアンジエロの力、ラファエロの色、是等の開花も實は何人の目を娯しませ、心を開かん爲めでもなく、たゞ法王の貪婪と、衆人の蠱惑と、そこに生活に關係なき空虚な幻像を現出したに過ぎない。ラファエロの陶醉的氣分を極するもまた憾なきを得ない。

諸畫も十六世紀初頭からはコテコテした装飾を好まない、人情の描寫や事件の詳細などはしく物語らうともせず、唯大づかみに戯曲的核心を捕へ、少しの無駄や道草もなく出來る丈け端正な姿に表現しやうと腐心した、マドンナの聖畫を以て有名なラファエロは聰明と温雅とを表示する彼の風貌から美しい色調と柔かい情緒を以て魅力ある畫面を作つた、ローマ法王の恩寵が導火となり其の盛名世を覆

―(河野想)―

南蠻彩船 (149)

鈴木氏亨作　布施長春畫

渦紋（七）

「お放し下さい。お放し下さい」

世音太郎は、飽くまで出て行かうとしてゐる。

「夜も遅う御座います。それにお疲勞も酷いようです。明日になさいませ、明日に！」

「あの笛が無うては、拙者魂を失つたも同様、魂がなくなつては死人も同様で御座います。如何なることがあつても、あの笛だけは取り返して參らねばならぬ……」

聲が震へてゐる。

「でも、そのお體軀では、むざむざ代官手下の者に捕はれに行くようなもので御座います。拙翁とても元は足利家に仕へ、弓矢取つての務めもいたしました者で御座います。先刻から貴方樣の御樣子を心中秘に檢察して居りましたが、御座いますか？」

「しかし、愚圖々々してゐては……」

「それに、悪代官の一味が、如何なる密計を凝して居りまするか、迂闊に手出しは出來ませぬ」

「それとても……」

「餘計なことは申上げませぬ。おさゞまりなされ」

いつの間にか、五月野も心配さうに、前方に來て手を擴げて立ち閉がつてゐる。

「折角の御言葉に背くも本意でなく、では……」

世音太郎は斷念するさ、よろけるやうに元の座に坐つた。

五月野も彌陀王も元の席へ歸つた。

「紛失された笛さやら、それにこの笈摺、何か深い秘密がなくては何かの大望を抱く仁と見受けました。話の筋に依つては、一臂の力を惜まぬものでも御座いませぬ。老人の言葉を容れて、今宵だけは、おさゞまりなされては、いかゞで御座いますか？」

ならぬと考へられますが、御差支なければ、われ〳〵に打明けて下さらぬか、誓つて他言はいたしませぬ」

「大事の生命をお助け下された恩人、申上げねでは御座いませぬが壁に耳ありさか申す譬も御座ります

「それならば、要鎭のためわが家の周圍を一廻りして參りませう」

彌陀王は、そゝくさと土間へ下りると、入口の戸を開けて戸外の闇へ消えた。

一陣の疾風が、いゝまりのやうに跳り込んで、ガタピシさせた。

風は、大分激しくなつたやうだ。

しばらくすると、戸を閉めて錠を下し、元の座へ戻つて來た。

「御心配御無用にござりまする。この上御心配でもございますれば五月野を奥へやりまして、拙翁一人で承はるさいたしませう」

「いや、それにも及びませぬ」

「父上、わたしは姉上のところへ參つて居りませう」

五月野は、遠慮らしくいつた。

「風が酷くなつて參つたから、行火に火でも入れてやつたらどうぢやな？」

「はい、さういたしませう」

五月野は、行火を持つて來て、榾火の大きいところを火箸で挾んで入れると

「御免なさいませ」

と、云つて立ち上りながら

「貴方樣、お寒くは御座いませぬか、なんなら燗などいたしてもよろしう御座いますが……」

「いゝえ、それには及びませぬ」

「おゝ、さうぢや。それはわしがいたさう」

彌陀王は立つて行つて、銚子を取つてくるさ、爐の炭の上に火を搔き寄せて載せた。

「では、承はらして下され」

日本棋院 春季大手合戰譜

先 四段 鈴木ひで子
二段 藤澤庫之助

制限時間各七時間（但し一分以内は切捨）

【5】

●八一にノ　三（5分）　○八二ほノ　四（5分）
●八五ほノ　五　○八六へノ　五（7分）
●八九そノ十三　○九〇にノ　二
●九三へノ　六　○九四ほノ　六
●九七ろノ　二　○九八はノ十七（8分）
●八三にノ　五（8分）　○八四はノ　七（1分）
●八七かノ　二（35分）　○八八つノ　六
●九一はノ　二　○九二ほノ　二
●九五さノ　五　○九六へノ　四
●九九はノ十六　○一〇〇に十七（3分）

所要時間累計（白　五時廿九分／黑　四時五十三分）

對局者の言葉

（白）八十二、八十四など、かう兩方を打たうさするのは明らかに矛盾した方針ですがこゝに來ては、これより外にありません

（黑）八十七は保留すべきでしたために、八十八さ交換してしまつたゝめに、八十九さ補はざるを得ないやうになつたのは輕率です、八十九を怠るさ白（そ十二）黑八十九白（そ十）さカケツがれ（よ八）のキリさ（そ十四）のハサミツケさそれを見られるいや味がありますさうなつた時、白八十八がなければ第一白（つ八）さハネられる工合にも譜さの間にははつきり差があるので、こゝに想到しなかつたのは慚愧にたへません、八十七では九十二にハネ白（へ二）黑九十さツイでおくべきでした

（黑）九十三、九十五は打つておいて無駄はないやうに考へました（白）百で（ろ十六）にハネても黑（ろ十五）白（ろ十八）黑（に十八）で矢張り現在何の味もなしに取られてゐます

戰の跡

◇黑八十七については對局者の言葉に明らかであるが、そればかりでなく、保留して置いても八十七の如きは早晩黑から打つ機會に惠まれたであらう事にも注意する◇白九十及び九十二さハネッグのさ、此處を黑から八十七の手でハネッグのさ、その差は實利に於いて小さくないのみならず、白六十八以下の根據に關しその六十八以下を黑はなほ攻める望みを持つ事が出來た、譜の如く白九十、九十二のハネツギを結局先手で打たれて終つたのは兎も角も大變であつた◇黑九十三、九十五は有つても白は九十の手で例へば九十三にヒイて此處を連絡して置くやうな事も打てまい

ラヂオ

大連（JQAK 六五〇KC）六月五日

午前の部

六・〇〇　ラヂオ體操
六・三〇　ラヂオ體操
七・二五（東京より）　葬送行進曲（ワグナー作曲）日本放送交響樂團
自八・二〇至一一・〇〇（東京より）東郷元帥國葬實況＝東京日比谷公園より中繼＝

午後の部

一二・〇〇　時報
〇・〇五　ニュース
三・三〇　ニュース
六・〇〇　ニュース

秩父宮殿下奉迎

六・三〇（一）奉迎之辭、大連市長小川順之助（二）秩父宮殿下奉迎の辭、大連第一中學校五年富田辰彦（三）謹みて秩父宮殿下を御迎へし奉る、大連第二中學校五年小山昇（四）秩父宮殿下奉迎之辭、大連商業學校五年横地信（五）秩父宮殿下を迎へ奉りて、市立大連中學校一年加藤福男（六）秩父宮殿下を迎へ奉りて、大連市立實業學校三年加藤正行

五・〇〇　子供の時間
五・三〇　講演（滿語）
五・五五　氣象豫報、番組豫告（滿語）
六・〇〇　全國ニュース
自六・三〇至八・三〇未定
八・三〇　時報、全國ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、番組豫告
九・〇〇　國際放送（米國より）
九・二〇　同（英國より）

新京（MTCY 五七〇KC）六月五日

午前の部

六・〇〇（東京より）ラヂオ體操
七・二五（東京より）送葬行進曲ワグナー作曲（日本放送交響樂團）
自八・二〇至一一・〇〇（東京より）東郷元帥國葬實況

午後の部

三・〇〇（東京より）ニュース
三・二〇（日滿兩語）ニュース
五・〇〇（東京より）子供の時間
五・五五　氣象豫報、プロ豫告（滿語）
六・〇〇（東京より）ニュース
六・三〇（東京より中繼）未定
八・三〇（東京より）時報、ニュース
八・四五　ニュース、氣象豫報、プロ豫告

▼國際放送

自九・一〇至九・二〇　米國より
自九・二〇至九・四〇　英吉利より

奉天（MTBY 八九〇KC）

午前の部

七・二五　葬送行進曲（ワグナー曲）
自八・二〇至一一・〇〇　東郷元帥國葬實況―東京日比谷國葬齋場より中繼―

午後の部

〇・三〇　ニュース
四・〇〇　宮廳其他公示事項、ニュース（滿語）
四・三〇　ニュース、番組豫告
四・五〇　ニュース（英語）

▲東郷元帥國葬國際放送

八・五五（東京より）國内アウンス
九・〇〇（アメリカより）哀悼の辭（未定）
九・二〇（イギリスより）哀悼の辭、海軍大臣サー・ボストン・アイリス・モンセル、通譯駐英日本大使館員
九・四〇　國内アナウンス

ラヂオ相談

大連の放送は何球位で聽取できるか

【問】一、普蘭店管内の電燈の利用不可能な爲め電池式受信機を購入したいと思ひますが大連放送局の放送は何球位なれば受信できますか
二、受信出來得る程度に組立てた受信機は値段は幾何位ですか
三、受信機以外附屬品の種類等並に値段
四、電池は幾日位使用出來ますか
五、充電するには簡單に出來ますでせうか（普蘭店M・M生）

四球で良いでせう

【答】一、電池式受信機ですと四球位で良いでせう
二、三、附屬品とも三、四十圓位です
四、經濟眞空管を使用した受信機で乾電池を電源とされた方が良いと思ひます、乾電池ですと
三、四ケ月使用できます
五、蓄電池は電燈線が無いと簡單に充電出來ません（電々會社係）

管内の電壓降下

【問】兩波整流球一八〇は管内電壓降下があるやうに承知しておりますがパワートランス交流出力三〇〇ボルツの場合球内では何ボルツ降下いたしますか（市内若狹町SY生）

整流電流で異なる

【答】整流電流によつて異なりますから一寸お答へし兼ねます（電々會社、係）

ラヂオ聽取者のご相談に應ず

相談小規

一、ラヂオに關する一切の事項
一、ハガキに限る
一、宛名　大連市東公園町滿洲日報社内「ラヂオ相談係」

昭和九年五月

滿洲日報社

本社特選 新棋戰【其三】

香角交 角落番
七段 齋藤銀次郎
四段 梶一郎

【圖は四二玉迄の局面】

△七六金　▲三二玉
△八五歩　▲六四歩
△同歩　▲同角
△六七玉・　▲四二角
△八八飛　▲八三歩
△八四歩　▲同歩

△齋藤氏持駒　歩
▲梶氏持駒　歩

△八五歩　▲同歩
△同金　累計四十三手

土居八段講評

齋藤君が六七玉と上つて八筋へ飛車を轉じ敵飛車を壓迫したのは功妙、但し八四歩の仕掛けは、たやすく破れさうに見えて案外攻め筋が重い爲に非常に手數がかゝり、その間自己の玉頭に危險を及ぼす惧れがある、大駒落の局面だけに、烈しい戰ひをやめて敵を壓迫したまゝ形の悪い金、銀を活用の目的を以て六五歩、六三銀、五八金、七四歩同歩、同銀、七五歩、六三銀、五七金、四三金なら四六金と繰り出して五筋の歩を交換し、而して七九の銀を五七へ繰り出し益々自玉を堅固にして敵の仕掛けを待つ處である。

萩原七段解說

齋藤氏の七六金は、六、七兩筋の位得を完全に保持する目的で、梶氏の三二玉は自玉の整備を圖つて、六、七筋の逆襲を窺ふものである、次の六四歩は六三銀の進出を試みる準備、齋藤氏の六七玉は譜の如く、次に八八飛と廻り逆襲を含むものであるが、これを含みに殘して、一旦五八金と上つて、次に五七金より四六金の捌きを窺ひ、然る後六七玉と上つて八八飛の趣向に出る方が態度を鮮明にしないで面白い、梶氏の八三歩は苦しい手であるが、八四歩を防ぐ意味で止むを得ない、齋藤氏の八四歩は、次に八五歩と打つて、敵の飛車頭を擊破せんとする意圖であるが、七九銀、四九金が遊び駒となつて面白くないので、評の如く四九金の活用を圖るべきである。

經濟情報社編 株式投資年鑑 九年上半期版

投資株の新陳代謝愈々激化せん！

本書を備へずして投資戰線に立つは無謀！

四十事業・八百會社の見透し

財界の大勢と今後の投資方針

能く泣くも投資家の爲に！

東京市丸の內　經濟情報社

満日案内 / 人事 / 電話と金融 / 大阪商船出帆 / 大連汽船出帆 / 食料品 / 雜件 / 日満汽船出帆 / 日本郵船出帆 / 松浦汽船出帆 / 近海郵船出帆 / 朝鮮郵船出帆 / 阿波共同汽船 / 川崎汽船出帆 / 船客及貨物 / 名古屋四日市行 / 醫院・治療・名薬 / 人事 / 島谷汽船出帆 / 教授 / 旅館 / 貸家 / 下宿 / 賣買

乳兒幼兒専門 幡井醫院

産婦人科 内科 (入院随意) 佐志医院 大連市浪速町 岩代町ノ停留所中間 電六八五〇二番

思ひ切りよく貸す ミヤ 若サ町の 博多屋 大連 電七六七七